

令和8年度津和野中学校屋内運動場LED化及び空調設備等設置工事 設 計 図

[illegible]

建築改修工事仕様書		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																																																					
I 工 事 概 要		③ 環境への配慮		本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、現行の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。		⑬ 工 事 写 真		下記のものを提出する。 仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。 <table><tr><td>品 名 ・ 仕 様</td><td>提出部数</td></tr><tr><td>* 電子データ（CD-R等） （写真管理ファイル、工事写真、完成写真、完成写真帳、参考図等）</td><td>1 部</td></tr></table>		品 名 ・ 仕 様	提出部数	* 電子データ（CD-R等） （写真管理ファイル、工事写真、完成写真、完成写真帳、参考図等）	1 部	② 仮設工事		・廃油の種別 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所 ・廃酸又は廃アルカリの種別 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 採取箇所数 部材が異なる毎に1箇所 ・ダクト類 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 採取箇所数 ・塗膜塗料に含まれる有害物質 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 有害物質の種類 ・PCB ・鉛 ・クロム 採取箇所数 採取箇所数																																																																	
品 名 ・ 仕 様	提出部数																																																																																
* 電子データ（CD-R等） （写真管理ファイル、工事写真、完成写真、完成写真帳、参考図等）	1 部																																																																																
1 工 事 場 所 島根県鹿足郡津和野町町田イ26番地		4 特別な材料の工法及び製品		改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。 ・しまね・パツ・建設ブランドに登録された下配工法又は製品を使用する。 <table><tr><td>登 録 技 術</td><td>適 用 箇 所</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		登 録 技 術	適 用 箇 所									⑭ 完成時の提出図書 [1. 9. 1]		下記のものを提出する。 <table><tr><td>品 名 ・ 仕 様</td><td>提出部数</td></tr><tr><td>* 情報共有システムで処理を行った営繕工事帳票の電子データ（CD-R等） （情報共有システムを使用した場合のみ） 電子媒体での納品が困難な場合は受発注者間協議により決定する。</td><td>1 部</td></tr></table>		品 名 ・ 仕 様	提出部数	* 情報共有システムで処理を行った営繕工事帳票の電子データ（CD-R等） （情報共有システムを使用した場合のみ） 電子媒体での納品が困難な場合は受発注者間協議により決定する。	1 部	⑤ 電気保安技術者 [1. 3. 3]		下記のものを、竣工後15日以内に提出する。 仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。 <table><tr><td>品 名 ・ 仕 様</td><td>提出部数</td></tr><tr><td>※ 竣工図 製本サイズ（ ・ A3縮小版）白焼 表装（ ・ レザック表紙（ラミネート仕上げ））</td><td>1 部</td></tr><tr><td>* 電子データ（竣工図、施工図）（CD-R等）</td><td>1 部</td></tr></table>		品 名 ・ 仕 様	提出部数	※ 竣工図 製本サイズ（ ・ A3縮小版）白焼 表装（ ・ レザック表紙（ラミネート仕上げ））	1 部	* 電子データ（竣工図、施工図）（CD-R等）	1 部	⑥ 足 場 等 [表2. 2. 1]		騒音・粉じん等の対策 [2. 1. 3] 足 場 等 [表2. 2. 1] 「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省令和5年12月策定）」による。 ○外部足場（範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 防護シート（範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ○内部足場（ ・ 脚立、足場板等 ・ ） 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）																																													
登 録 技 術	適 用 箇 所																																																																																
品 名 ・ 仕 様	提出部数																																																																																
* 情報共有システムで処理を行った営繕工事帳票の電子データ（CD-R等） （情報共有システムを使用した場合のみ） 電子媒体での納品が困難な場合は受発注者間協議により決定する。	1 部																																																																																
品 名 ・ 仕 様	提出部数																																																																																
※ 竣工図 製本サイズ（ ・ A3縮小版）白焼 表装（ ・ レザック表紙（ラミネート仕上げ））	1 部																																																																																
* 電子データ（竣工図、施工図）（CD-R等）	1 部																																																																																
5 棟 別 概 要 <table><tr><td>N o.</td><td>建 物 名 称</td><td>建築種別</td><td>構 造</td><td>階数</td><td>消防法の区分</td><td>建築面積（㎡）</td><td>延面積（㎡）</td></tr><tr><td>1</td><td>屋内運動場</td><td>改修</td><td>S</td><td>2</td><td>(7)</td><td>1,037.16</td><td>1,088.55</td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="6">合 計</td><td>1,037.16</td><td>1,088.55</td></tr></table>		N o.	建 物 名 称	建築種別	構 造	階数	消防法の区分	建築面積（㎡）	延面積（㎡）	1	屋内運動場	改修	S	2	(7)	1,037.16	1,088.55	2								3								4								5								6								7								合 計						1,037.16	1,088.55	⑦ 発生材の処理等 [1. 3. 12]		⑮ 完 成 図 [1. 9. 2]		③ 既存部分の養生 [2. 3. 1]		既存部分の養生方法 ○ビニルシート ・ 合板 ・ 図示による 既存家具等の養生方法 ・ ビニルシート等による ・ 図示による 既存ブラインド、カーテン等の養生 養生方法 ・ 取り外し ・ 図示による 保管場所： 備品等の移動 ・ 図示による	
N o.	建 物 名 称	建築種別	構 造	階数	消防法の区分	建築面積（㎡）	延面積（㎡）																																																																										
1	屋内運動場	改修	S	2	(7)	1,037.16	1,088.55																																																																										
2																																																																																	
3																																																																																	
4																																																																																	
5																																																																																	
6																																																																																	
7																																																																																	
合 計						1,037.16	1,088.55																																																																										
II 工 事 仕 様		⑧ 交通安全管理 [1. 3. 9]		以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。 配置する位置は別に図示する。 <table><tr><td>名 称</td><td>人・日数</td><td>交通安全管理の必要な作業等</td></tr><tr><td>交通誘導員A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>交通誘導員B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>交通整理員</td><td></td><td></td></tr></table>		名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等	交通誘導員A			交通誘導員B			交通整理員			⑯ 施工図及び施工計画書 [1. 2. 2, 3]		⑰ 撤 去 部 分		④ 仮設間仕切り [2. 3. 2]		4 仮設間仕切り [2. 3. 2]		仮設間仕切りの種別と材質等 <table><tr><td>種別</td><td>仕上げ（厚さmm）</td><td>塗装</td><td>充填</td></tr><tr><td>・ A種</td><td>* せっこうボード 種類（ ・ GB-R ・ ） 厚さ（ ・ 9.5mm ・ ）</td><td>* 無し ・ 片面 ・ 片面 ・ 片面</td><td>* 行う（JIS A 6301がラス ・ 繊維強化プラスチック厚50mm）</td></tr><tr><td>* B種</td><td>種類（ ・ 普通合板 ・ ） 厚さ（ ・ 9.5mm ・ ）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填	・ A種	* せっこうボード 種類（ ・ GB-R ・ ） 厚さ（ ・ 9.5mm ・ ）	* 無し ・ 片面 ・ 片面 ・ 片面	* 行う（JIS A 6301がラス ・ 繊維強化プラスチック厚50mm）	* B種	種類（ ・ 普通合板 ・ ） 厚さ（ ・ 9.5mm ・ ）			・ C種																																									
名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等																																																																															
交通誘導員A																																																																																	
交通誘導員B																																																																																	
交通整理員																																																																																	
種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填																																																																														
・ A種	* せっこうボード 種類（ ・ GB-R ・ ） 厚さ（ ・ 9.5mm ・ ）	* 無し ・ 片面 ・ 片面 ・ 片面	* 行う（JIS A 6301がラス ・ 繊維強化プラスチック厚50mm）																																																																														
* B種	種類（ ・ 普通合板 ・ ） 厚さ（ ・ 9.5mm ・ ）																																																																																
・ C種																																																																																	
章 項 目		特 記 事 項		⑨ 施工数量調査 [1. 5. 2]		20 事前調査		5 監督員事務所 [2. 4. 1]		5 監督員事務所 [2. 4. 1]		6 現場事務所																																																																					
① 一般共通事項		① 適用基準等		* 建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 * 営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 令和5年版 一般社団法人公共建築協会 編集		② 耐震措置		6 現場事務所		7 工事用電力、水、その他		7 工事用電力、水、その他																																																																					
		② 材料の品質等		本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)～6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)～6)を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6) 材料及び接着剤等の総重量に対する放散量は☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（最新版）」及び「同設備機材等評価名簿（最新版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。		⑩ 調査のための破壊部分の補修方法 [1. 6. 3]		22 耐震措置		8 仮囲い及び出入口		8 仮囲い及び出入口																																																																					
				⑪ 技能士の適用 [1. 7. 2]		23 耐荷重及び耐外力		9 養生シート		9 養生シート		10 洗 車 場																																																																					
				12 化学物質の濃度測定 [1. 7. 10] (1. 5. 10)		24 施工計画調査		10 洗 車 場		8 木製安全施設製品（県産木材製品）																																																																							

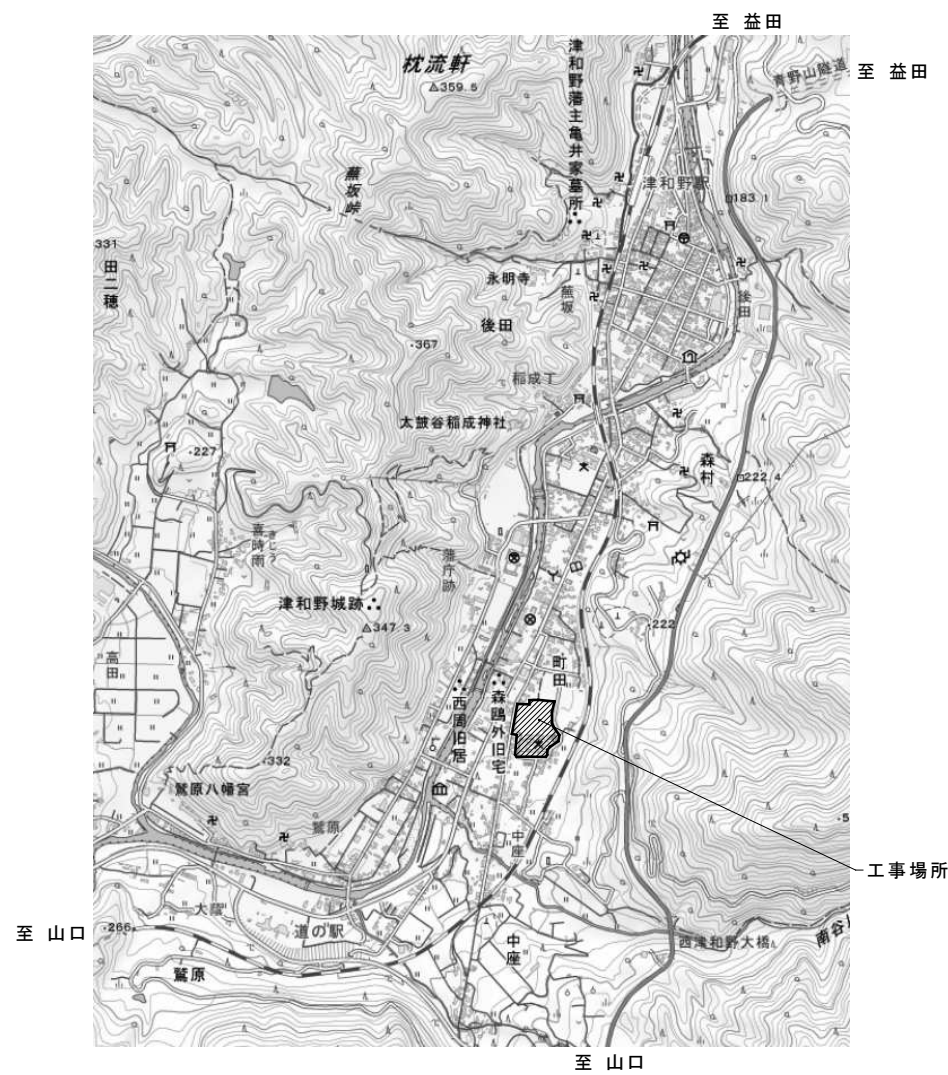
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
⑤ 建具改修工事	1 改修工法 [5. 1. 3] 2 防火戸 [5. 1. 5] 3 見本の製作等 [5. 1. 5] 4 防犯建物部品 [5. 1. 7] 5 アルミニウム製建具 [5. 2. 2～5] [表5. 2. 2] 6 網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3] 7 樹脂製建具 [5. 2. 2] [5. 3. 2～5] 8 鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表5. 4. 2]	建具の種類 ・7系製建具 ・樹脂製建具 ・鋼製建具 ・鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 かぶせ工法 ・ ・ ・ ・ 撤去工法 ・ ・ ・ ・ 適用範囲 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ・ 新築建具周囲の補修工法及び範囲 ・ 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。 ・再使用（ ・ブラインドボックス ・ ・適用する 指定箇所（ ・ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる 適用箇所（ ・ ・連動させない 建具見本の製作 ・行う 特殊な建具の仮組 ・行う ・行わない ・行わない ・適用する 適用箇所（ ・							

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																												
21	ガラス用フィルム	<table><tr><th>種類</th><th>記号</th><th>その他性能等</th></tr><tr><td>○日射調整フィルム</td><td>○G0-1 ○G0-2</td><td>日射遮蔽性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E</td></tr><tr><td>・低放射フィルム</td><td>LE</td><td>熱伝流率による区分 ・A ・B ・C ・D</td></tr><tr><td>・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td><td>・G1-1 ・G1-2</td><td></td></tr><tr><td>・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td><td>・GD-1 ・GD-2</td><td></td></tr><tr><td>・ガラス貫通防止フィルム</td><td>SF</td><td>ガラス貫通防止性能による区分 ・A ・B</td></tr></table> 品質 JIS A5759による	種類	記号	その他性能等	○日射調整フィルム	○G0-1 ○G0-2	日射遮蔽性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E	・低放射フィルム	LE	熱伝流率による区分 ・A ・B ・C ・D	・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・G1-1 ・G1-2		・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-2		・ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラス貫通防止性能による区分 ・A ・B	7	造作用単板積層材 [6. 5. 2]	・ JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td><td></td></tr><tr><td>見付け材面（面数）</td><td colspan="2">見付け材面の品質</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">＊1等 ・2等</td></tr></table> ・ JAS 1152以外の造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>＊15%以下 ・</td></tr></table> ・ JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td></tr><tr><td>見付け材面の品質</td><td>含水率</td></tr><tr><td></td><td>＊15%以下 ・</td></tr></table> ・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>寸法 (mm)</th><th>表面の化粧加工</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・有り （・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：）</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr></table> ・ JAS 0701以外の造作用単板積層材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>表面の化粧加工</th><th>防虫処理</th><th>含水率</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・有り（・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：）</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>＊14% 以下 ・</td></tr></table> ・ JAS 3079に基づく直交集成板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>強度等級 （曲げ性能）</th><th>種別</th><th>接着性能 （使用環境）</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>・異等級構成 直交集成板</td><td rowspan="2"></td><td>・A種構成</td><td rowspan="2"></td><td>・A</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・同一等級構成 直交集成板</td><td>・B種構成</td><td>・B ・C</td></tr></table> ・ JAS 0233に基づく普通合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の 程度</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理の適用</th></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">＊5. 5 ・</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">＊1類 ・2類</td><td>広葉樹 ＊2等以上 ・1等 針葉樹 ＊C-D以上 ・</td><td rowspan="2">・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td></td></tr></table> ・ JAS 0233に基づく構造用合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>等級</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">＊2級以上 ・1級</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">＊1類 ・特類</td><td rowspan="2">＊C-D以上 ・</td></tr><tr><td></td></tr></table> <table><tr><th>厚さ (mm)</th><th>防虫処理の適用</th><th>曲げ強度（強度等級）</th><th>保存処理</th></tr><tr><td rowspan="2">＊12 ・</td><td rowspan="2">・適用する（ ） ・適用しない</td><td rowspan="2">・適用する（ ） ・適用しない</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td></td></tr></table> ＊屋外又は常時湿潤常態となる場所に使用する場合は、 接着の程度を特類とする。 ・ JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の 程度</th><th>防虫処理の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>＊1類 ・2類</td><td>・適用する（ ） ・適用しない</td></tr></table> ＊屋外又は常時湿潤常態となる場所に使用する場合は、 接着の程度を特類とする。 ・ JAS 0233に基づく天然木化粧合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>化粧板に使用する 単板の樹種名</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の 程度</th><th>防虫処理の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>＊1類 ・2類</td><td>・適用する（ ） ・適用しない</td></tr></table> <td rowspan="2">9</td> <td>接合具等 [6. 5. 3]</td> <td> ・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の 程度</th><th>表面性能</th><th>化粧加工 の方法</th><th>防虫処理の適用</th></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">・1類 ・2類</td><td>・F ・FW ・W ・SW</td><td>・オパール ・プリント ・塗装</td><td>・適用する（ ） ・適用しない</td></tr></table> ・ JAS 5908に基づくハイテックボード <table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>表裏面の状態 による区分</th><th>曲げ強さ による区分</th><th>耐水性 による区分</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>＊13タイプ ・</td><td>＊P又はM ・</td><td>＊15 ・</td></tr></table> ・ JAS 0360に基づく構造用ハイテック <table><tr><th>施工箇所</th><th>曲げ性能（等級）</th><th>（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td></td><td>・1級</td><td>・2級</td><td>・3級</td><td>・4級</td><td></td></tr></table> ・ JAS A 5905に基づくMDF <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表表面の状態 による区分</th><th>曲げ強さ による区分</th><th>耐水性に による区分</th><th>難燃性 による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table><td rowspan="2">17</td><td>軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3、4] [図6. 7. 1]</td><td> 造作材化粧面の釘打ち ＊隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ＊改修標準仕様書表6. 5. 3に示す程度の市販品 ・ 図示による 座金 ＊改修標準仕様書表6. 5. 4に示す程度の市販品 ・ 図示による 箱金物、短冊金物 ＊改修標準仕様書表6. 5. 5に示す程度の市販品 ・ 図示による 工場における薬剤の加圧注入等 - 改修標準仕様書6. 5. 5(1) (a) ①による加圧注入 <table><tr><th>適用部材</th><th>保存処理性能区分</th></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr></table> ・改修標準仕様書6. 5. 5(1) (a) ②による加圧式保存処理 保存処理の性能（インジゲン） ・適用する ・適用しない ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 薬剤の種類 ＊改修標準仕様書6. 5. 5(1) (b) ①による ・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による ・ 適用部材（部位） ・ 図示による 処理方法 ＊改修標準仕様書6. 5. 5(1) (b) ②による ・薬剤の接着剤材への混入による防腐・防蟻処理 適用部材（部位） ・ 図示による ・合板、集成材、単層積層材の薬剤の加圧注入等による K3防腐・防蟻処理 適用部材（部位） ・ 図示による <td rowspan="2">19</td><td>ビニル床タイル [6. 8. 2]</td><td> 種類 ・軟質 ・硬質 高さ (mm) ＊60 ・75 ・100 厚さ (mm) ＊1. 5以上 ・ 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 （ ） 厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0 寸法 (mm) （ ） </td></td></td>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)			化粧薄板： 芯材：			見付け材面（面数）	見付け材面の品質			＊1等 ・2等		施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					＊15%以下 ・	施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)			化粧薄板： 芯材：		見付け材面の品質	含水率		＊15%以下 ・	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理				・有り （・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：）	・適用する ・適用しない	施工箇所	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率			・有り（・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：）	・適用する ・適用しない	＊14% 以下 ・	施工箇所	品名	強度等級 （曲げ性能）	種別	接着性能 （使用環境）	樹種名	寸法 (mm)		・異等級構成 直交集成板		・A種構成		・A		・同一等級構成 直交集成板	・B種構成	・B ・C	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の 程度	板面の品質	防虫処理の適用		＊5. 5 ・		＊1類 ・2類	広葉樹 ＊2等以上 ・1等 針葉樹 ＊C-D以上 ・	・適用する ・適用しない		施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質		＊2級以上 ・1級		＊1類 ・特類	＊C-D以上 ・		厚さ (mm)	防虫処理の適用	曲げ強度（強度等級）	保存処理	＊12 ・	・適用する（ ） ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない			施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の 程度	防虫処理の適用				＊1類 ・2類	・適用する（ ） ・適用しない	施工箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の 程度	防虫処理の適用				＊1類 ・2類	・適用する（ ） ・適用しない	9	接合具等 [6. 5. 3]	・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の 程度</th><th>表面性能</th><th>化粧加工 の方法</th><th>防虫処理の適用</th></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">・1類 ・2類</td><td>・F ・FW ・W ・SW</td><td>・オパール ・プリント ・塗装</td><td>・適用する（ ） ・適用しない</td></tr></table> ・ JAS 5908に基づくハイテックボード <table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>表裏面の状態 による区分</th><th>曲げ強さ による区分</th><th>耐水性 による区分</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>＊13タイプ ・</td><td>＊P又はM ・</td><td>＊15 ・</td></tr></table> ・ JAS 0360に基づく構造用ハイテック <table><tr><th>施工箇所</th><th>曲げ性能（等級）</th><th>（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td></td><td>・1級</td><td>・2級</td><td>・3級</td><td>・4級</td><td></td></tr></table> ・ JAS A 5905に基づくMDF <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表表面の状態 による区分</th><th>曲げ強さ による区分</th><th>耐水性に による区分</th><th>難燃性 による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <td rowspan="2">17</td> <td>軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3、4] [図6. 7. 1]</td> <td> 造作材化粧面の釘打ち ＊隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ＊改修標準仕様書表6. 5. 3に示す程度の市販品 ・ 図示による 座金 ＊改修標準仕様書表6. 5. 4に示す程度の市販品 ・ 図示による 箱金物、短冊金物 ＊改修標準仕様書表6. 5. 5に示す程度の市販品 ・ 図示による 工場における薬剤の加圧注入等 - 改修標準仕様書6. 5. 5(1) (a) ①による加圧注入 <table><tr><th>適用部材</th><th>保存処理性能区分</th></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr></table> ・改修標準仕様書6. 5. 5(1) (a) ②による加圧式保存処理 保存処理の性能（インジゲン） ・適用する ・適用しない ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 薬剤の種類 ＊改修標準仕様書6. 5. 5(1) (b) ①による ・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による ・ 適用部材（部位） ・ 図示による 処理方法 ＊改修標準仕様書6. 5. 5(1) (b) ②による ・薬剤の接着剤材への混入による防腐・防蟻処理 適用部材（部位） ・ 図示による ・合板、集成材、単層積層材の薬剤の加圧注入等による K3防腐・防蟻処理 適用部材（部位） ・ 図示による <td rowspan="2">19</td><td>ビニル床タイル [6. 8. 2]</td><td> 種類 ・軟質 ・硬質 高さ (mm) ＊60 ・75 ・100 厚さ (mm) ＊1. 5以上 ・ 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 （ ） 厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0 寸法 (mm) （ ） </td></td>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の 程度	表面性能	化粧加工 の方法	防虫処理の適用			・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW	・オパール ・プリント ・塗装	・適用する（ ） ・適用しない	施工箇所	種類	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	厚さ (mm)				＊13タイプ ・	＊P又はM ・	＊15 ・	施工箇所	曲げ性能（等級）	（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）	寸法 (mm)		・1級	・2級	・3級	・4級		施工箇所	厚さ (mm)	表表面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性に による区分	難燃性 による区分							17	軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3、4] [図6. 7. 1]	造作材化粧面の釘打ち ＊隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ＊改修標準仕様書表6. 5. 3に示す程度の市販品 ・ 図示による 座金 ＊改修標準仕様書表6. 5. 4に示す程度の市販品 ・ 図示による 箱金物、短冊金物 ＊改修標準仕様書表6. 5. 5に示す程度の市販品 ・ 図示による 工場における薬剤の加圧注入等 - 改修標準仕様書6. 5. 5(1) (a) ①による加圧注入 <table><tr><th>適用部材</th><th>保存処理性能区分</th></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr><tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td></tr></table> ・改修標準仕様書6. 5. 5(1) (a) ②による加圧式保存処理 保存処理の性能（インジゲン） ・適用する ・適用しない ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 薬剤の種類 ＊改修標準仕様書6. 5. 5(1) (b) ①による ・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による ・ 適用部材（部位） ・ 図示による 処理方法 ＊改修標準仕様書6. 5. 5(1) (b) ②による ・薬剤の接着剤材への混入による防腐・防蟻処理 適用部材（部位） ・ 図示による ・合板、集成材、単層積層材の薬剤の加圧注入等による K3防腐・防蟻処理 適用部材（部位） ・ 図示による <td rowspan="2">19</td> <td>ビニル床タイル [6. 8. 2]</td> <td> 種類 ・軟質 ・硬質 高さ (mm) ＊60 ・75 ・100 厚さ (mm) ＊1. 5以上 ・ 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 （ ） 厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0 寸法 (mm) （ ） </td>	適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	19	ビニル床タイル [6. 8. 2]	種類 ・軟質 ・硬質 高さ (mm) ＊60 ・75 ・100 厚さ (mm) ＊1. 5以上 ・ 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 （ ） 厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0 寸法 (mm) （ ）
	種類	記号	その他性能等																																																																																																																																																																																																																	
○日射調整フィルム	○G0-1 ○G0-2	日射遮蔽性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E																																																																																																																																																																																																																		
・低放射フィルム	LE	熱伝流率による区分 ・A ・B ・C ・D																																																																																																																																																																																																																		
・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・G1-1 ・G1-2																																																																																																																																																																																																																			
・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-2																																																																																																																																																																																																																			
・ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラス貫通防止性能による区分 ・A ・B																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																
		化粧薄板： 芯材：																																																																																																																																																																																																																		
		見付け材面（面数）	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																	
			＊1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																
				＊15%以下 ・																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																	
		化粧薄板： 芯材：																																																																																																																																																																																																																		
		見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																	
			＊15%以下 ・																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理																																																																																																																																																																																																																
			・有り （・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：）	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																
		・有り（・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し（等級：）	・適用する ・適用しない	＊14% 以下 ・																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	品名	強度等級 （曲げ性能）	種別	接着性能 （使用環境）	樹種名	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																														
	・異等級構成 直交集成板		・A種構成		・A																																																																																																																																																																																																															
	・同一等級構成 直交集成板		・B種構成		・B ・C																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の 程度	板面の品質	防虫処理の適用																																																																																																																																																																																																															
	＊5. 5 ・		＊1類 ・2類	広葉樹 ＊2等以上 ・1等 針葉樹 ＊C-D以上 ・	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質																																																																																																																																																																																																																
	＊2級以上 ・1級		＊1類 ・特類	＊C-D以上 ・																																																																																																																																																																																																																
厚さ (mm)	防虫処理の適用	曲げ強度（強度等級）	保存処理																																																																																																																																																																																																																	
＊12 ・	・適用する（ ） ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の 程度	防虫処理の適用																																																																																																																																																																																																																
			＊1類 ・2類	・適用する（ ） ・適用しない																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の 程度	防虫処理の適用																																																																																																																																																																																																																
			＊1類 ・2類	・適用する（ ） ・適用しない																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	接着の 程度	表面性能	化粧加工 の方法	防虫処理の適用																																																																																																																																																																																																															
		・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW	・オパール ・プリント ・塗装	・適用する（ ） ・適用しない																																																																																																																																																																																																															
			施工箇所	種類	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																												
			＊13タイプ ・	＊P又はM ・	＊15 ・																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	曲げ性能（等級）	（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																	
	・1級	・2級	・3級	・4級																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	表表面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性に による区分	難燃性 による区分																																																																																																																																																																																																															
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																			
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																			
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																			
20	接着剤 [6. 5. 3、4] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 11. 4、5]	材質の種類 ＊軟質 ・硬質 高さ (mm) ＊60 ・75 ・100 厚さ (mm) ＊1. 5以上 ・ 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 （ ） 厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0 寸法 (mm) （ ）																																																																																																																																																																																																																		
6	造作用集成材 [6. 5. 2]	・ JAS 1152に基づく造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面</th><th>見付け材面の品質</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>＊1等 ・2等</td></tr></table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質						＊1等 ・2等	13	窓、出入口その他 [6. 5. 7]	・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名（製材を用いる場合） ＊吊元枠、水掛りの下枠及び敷居は松、その他は杉又は松	15	壁及び天井下地 [6. 5. 9] ⑬ 軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2～4]	・ 壁間縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹木名（製材を用いる場合） ＊杉又は松 野縁等の種類 - 屋外（＊25形 ・ ） 屋内（＊19形 ・25形） ⑯ 屋外の軒天井、ビニール天井等 - 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による ・ 野縁の間隔 ・ 図示による ・ 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う（試験箇所数 ＊屋内の場合、当該階において3箇所） ・ （確認強度 ＊改修標準仕様書6. 6. 4(1) (ウ)による ・ ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 - 補強方法 ＊ 図示による ・ ・ 天井のふとところが3. 0mを超える場合 - 補強方法 ＊ 図示による ・ ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 - 補強箇所 ＊高さが6mを超える天井 ・ 図示による - 補強方法 ＊「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年国土交通省告示第771号）第3第2項第二号に適合させる。 ・ 図示による																																																																																																																																																																																																
	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																														
					＊1等 ・2等																																																																																																																																																																																																															
18	ビニル床シート [6. 8. 2、3]	<table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>特殊機能</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">＊FS ・</td><td>・無地 ・マダガスカル柄</td><td>・帯電防止 ・耐動荷重性</td><td rowspan="2">＊2. 0 ・</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・柄物</td><td>・防滑性</td></tr></table> ＊接合部の処理（工法 ＊熱溶接工法 ・ ） ＊突付け（施工箇所：） 特殊機能 - 帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1. 2以上～3. 2未満又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10⁷～1×10¹⁰Ω程度 ・	種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	＊FS ・	・無地 ・マダガスカル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	＊2. 0 ・		・柄物	・防滑性																																																																																																																																																																																																						
種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																
＊FS ・	・無地 ・マダガスカル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	＊2. 0 ・																																																																																																																																																																																																																	
	・柄物	・防滑性																																																																																																																																																																																																																		
21	ビニル幅木 [6. 8. 2]	材質の種類 ＊軟質 ・硬質 高さ (mm) ＊60 ・75 ・100 厚さ (mm) ＊1. 5以上 ・ 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 （ ） 厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0 寸法 (mm) （ ）	14	床板張り [6. 5. 8]	・ 緑甲板及び上り框に用いる木材の樹木名（製材を用いる場合） ＊ひのき																																																																																																																																																																																																															

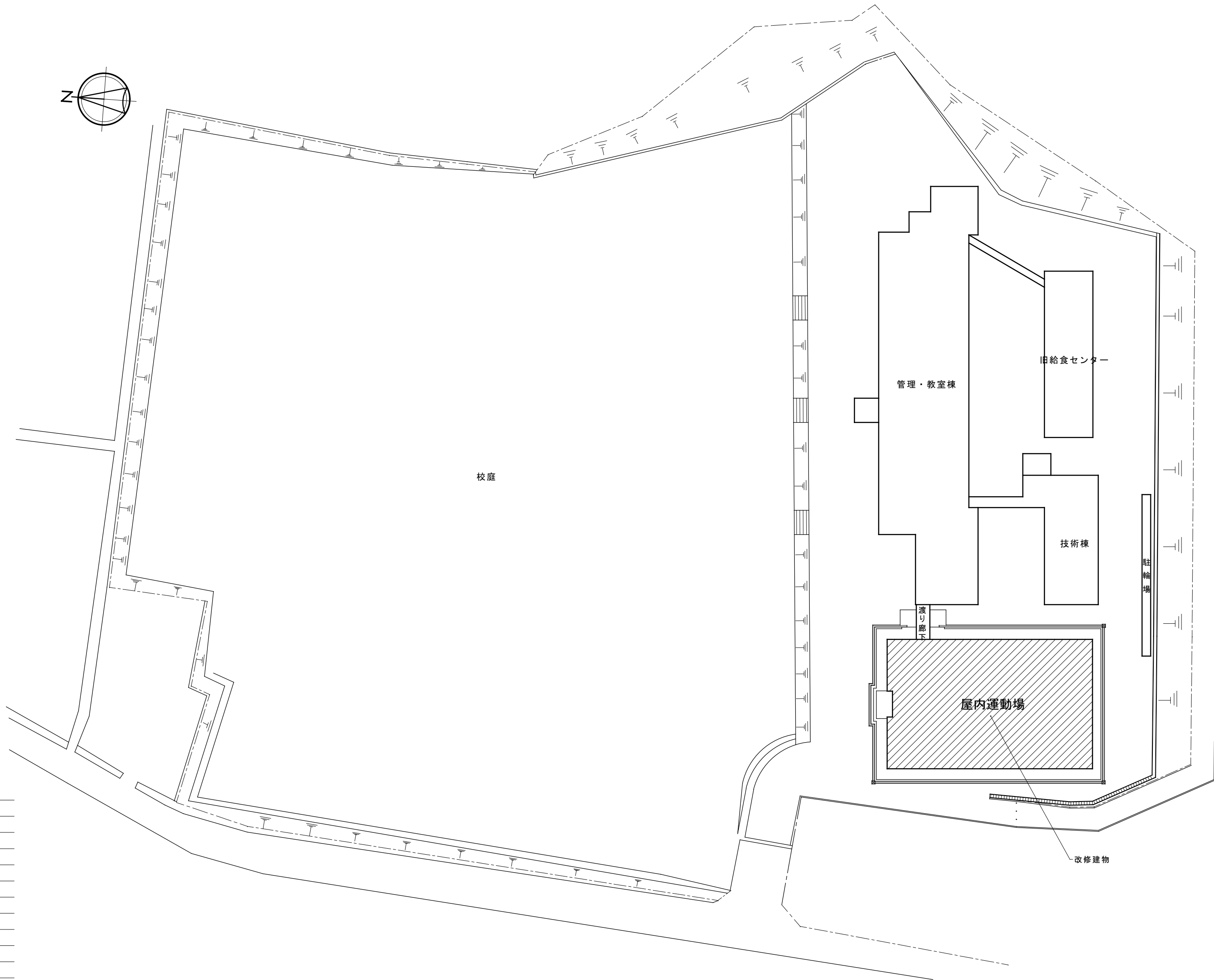
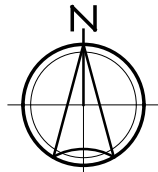
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
23	カーペット敷き [6.9.2、3] [表6.9.1]	・織じゅうたん 織り方 ・ウルトアカベツット ・ダブスカーベツット ・アタシタカベツット ・カット、ルーフ併用 ・模様のない無地 パイル糸の繊維種等 ・無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種） 織りじゅうたんの接合方法 ・ヒートボンド工法　・つづり縫い ・タフアカベツット ・パイルの形状 ・パイル長さ（mm） ・工法 ・帯電性 備考 ・カットパイル ・ルーフパイル ・カット、ルーフ併用 ・タイルカーペット ・パイルの形状 ・種類 ・施工箇所 ・寸法（mm） ・総厚さ（mm） 備考 ・カットパイル ・第一種 ・第二種 ・ルーフパイル ・第一種 ・第二種 ・カット、ルーフ併用 ・第一種 ・第二種 ・タイルカーペットの敷き方　　平場　・市松敷き　・模様流し　・階段部分　・模様流し　・市松敷き　・見切り、押え金物の材質、種類及び形状　・図示による　・下敷き材　・反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種第2号　呼び厚さ8mm　・	28	せっこうボードその他ボード及び合板張り [6.13.2、3] 合板の貼付け方法及び放散量 ・標準仕様書19.7.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか 合板の防虫処理の適用 ・行う　・行わない 種類				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																					
		機械式定着工法 ・適用する適用箇所種類 ・図示による() ・摩擦圧接結合 ・螺合がうた固定 ・嵌合がうた固定	③ セメント [8. 2. 5]	種類 ・普通 ボ ルト ン メント、高炉 セ メントA種、シリ セ メントA種又はフライアッシュ セ メントA種 普通 ボ ルト ン メントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉 セ メントB種 適用箇所 ・1FLより下部 ・1FLより立上る設備基礎、工作物基礎 ・フライアッシュ セ メントB種 適用箇所 ()	16 型枠の加工及び組立 [8. 7. 8]	シコ ネ タをセパレーターとして使用 適用箇所 * 図示による		・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 * 図示による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。 ・ JIS形高力 ボ ルトの締付け(本編め) ナット回転法の場合で、 ボ ルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 * 図示による																					
	④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) [8. 3. 5]	最小かぶり厚さ * 改修標準仕様書表8. 3. 6による ・軽量コンクリートを適用する場合 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm ・耐久性上不利な箇所がある場合(塩害を受けるおそれのある部分等)適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm	④ 骨材 [8. 2. 5]	7カリリカ反応性による区分 * A ・ B	17 コンクリートの打込み工法等 [8. 21. 8] [8. 23. 5] [8. 23. 6] [8. 23. 7]	コンクリートの打設工法の種類 <table><tr><th>補強工法</th><th>打設工法</th><th>部位</th></tr><tr><td rowspan="4">・現場打ちコンクリート 壁の増設工事</td><td>・流込み工法</td><td>・全ての増設壁 * 図示による</td></tr><tr><td>・圧入工法</td><td>・全ての増設壁 * 図示による</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="4">・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</td><td>・流込み工法</td><td>・全ての柱補強部分 * 図示による</td></tr><tr><td>・圧入工法</td><td>・全ての柱補強部分 * 図示による</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table>	補強工法	打設工法	部位	・現場打ちコンクリート 壁の増設工事	・流込み工法	・全ての増設壁 * 図示による	・圧入工法	・全ての増設壁 * 図示による	・	・	・	・	・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・流込み工法	・全ての柱補強部分 * 図示による	・圧入工法	・全ての柱補強部分 * 図示による	・	・	・	・	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8. 13. 2] [8. 20. 5]	ボ ルトの線端距離、 ボ ルト間隔、ゲージ等 * 図示による 摩擦面の処理方法 ・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)又はりん酸塩処理 ・図示による ・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 * 図示による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (7)又は(4)による摩擦面の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片で行うこと。
	補強工法	打設工法	部位																										
	・現場打ちコンクリート 壁の増設工事	・流込み工法	・全ての増設壁 * 図示による																										
・圧入工法		・全ての増設壁 * 図示による																											
・		・																											
・		・																											
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・流込み工法	・全ての柱補強部分 * 図示による																											
	・圧入工法	・全ての柱補強部分 * 図示による																											
	・	・																											
	・	・																											
5 圧接完了後の圧接部の試験 [8. 3. 8]	超音波探傷試験 * 行う(全圧接部)	⑤ 混和材料 [8. 2. 5]	・混和剤 混和剤の種類 ・改修標準仕様書8. 2. 5(4) (a)による * 図示による ・混和材 混和材の種類 ・改修標準仕様書8. 2. 5(4) (b)による * 図示による		鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 柱頭及び柱脚の隙間の寸法 * 図示による 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡プラスチック保温材等を埋込む ・図示による 既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体モルタルの厚さ * 図示による 補強後の仕上げ * 図示による	6 普通ボルト (7. 2. 3) [8. 13. 2] (7. 3. 8)	ボ ルト及びナットの材料 ・標準仕様書表7. 2. 3による * 図示による 座金 * JIS B 1256による * 構造図による ボ ルトの線端距離、 ボ ルト間隔、ゲージ等 ・図示による 母屋又は胴縁の取付けに使用する ボ ルトの孔径 ・ねじの呼び径+1.0mm ・図示による																						
6 機械式継手 [8. 4. 2]	適用箇所 * 図示による H12建告第1463号に適合する性能 * A級 () 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機がうた方式 ・有機がうた方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 ・ 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 * 全数 試験項目及び合否判定 ・改修標準仕様書表8. 4. 1～表8. 4. 3による ・評定等の評価内容による 不合格となった場合の措置 ・改修標準仕様書表8. 4. 2(5) (7) (a)～(c)による ・図示による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする ・ 試験の箇所数 1ロットに対して()箇所 ・全数 試験項目 * 挿入長さ 試験方法 * JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置 ・	6 構造体用モルタル [8. 2. 6]	圧縮強度 () フロー値 ()	⑬ あと施工アンカー [8. 2. 4]	材料等 ○金属系アンカー ・引張耐力 ・ kN ・構造図による ・せん断耐力 ・ kN ・構造図による アンカー本体の径及び埋込み長さ * 図示による セット方式 ・本体打込み式改良型 () 接合筋の種類、径、長さ * 図示による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 * 図示による ・接着系アンカー ・引張耐力 ・ kN ・構造図による ・せん断耐力 ・ kN ・構造図による アンカーの種類 * カブ レ 方式回転・打撃式 () 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ * 図示による アンカー筋の種類 () アンカー筋の新設壁内への定着の長さ * 図示による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 * 図示による	7 アンカーボルト (7. 2. 4) (7. 3. 2)	・構造用アンカー ボ ルト セットの種類 (JIS B1220) ・ABR400 ・ABR490 () ・建方用アンカー ボ ルト 種類 ・SS400 () アンカー ボ ルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標準仕様書表7. 2. 3による * 図示による ・標準仕様書7. 2. 4以外のアンカー ボ ルト 適用箇所 ・図示による() ・ 種類 ・SS400 アンカー ボ ルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標準仕様書表7. 2. 3による ・ ボ ルトの線端距離、 ボ ルト間隔、ゲージ等 * 図示による																						
7 溶接継手 [8. 4. 3]	適用箇所 * 図示による H12建告第1463号に適合する性能 * A級 () 溶接継手の工法 ・図示による() ・ 鉄筋相互のあき ・標準仕様書8. 3. 5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による() 施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 試験対象 * 全数 ・超音波測定試験 試験対象 * 全数	7 暑中コンクリート [8. 10. 2]	スラブ * 21cm 構造体強度補正值 * 改修標準仕様書表8. 10. 1による	19 穿孔 [8. 12. 4]	埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる ・()	8 溶接材料 [8. 2. 10]	溶接材料 ・改修標準仕様書8. 2. 10(1) (2)による ・図示による																						
8 割製補強筋 [8. 21. 6] [8. 22. 7]	仕様 形状 ・スライ筋 () 種類の記号 ・SR235又はSWM-P () 呼び径、曲げ直径、ピッチ * 図示による	8 マスコンクリート (6. 13. 1) (6. 13. 2)	適用箇所 * 図示による メントの種類 ・普通 ボ ルト ン メント ・中熱 ボ ルト ン メント ・低熱 ボ ルト ン メント ・高炉 セ メントB種 ・フライアッシュ セ メントB種 ・シリ セ メント ・() 混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ・標準仕様書6. 13. 2(2) (7)による * 図示による ・混和材 混和材の種類 ・標準仕様書6. 13. 2(2) (4)による * 図示による スラブ * 15cm () cm 構造体強度補正值 * 標準仕様書表6. 13. 1による * 図示による	20 施工確認試験 [8. 12. 7]	試験方法 ・引張試験機による引張試験 確認調度 * 図示による	9 スタッド [8. 2. 11]	種類等 <table><tr><th>呼び名</th><th>呼び長さ (mm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・19</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・22</td><td></td><td></td></tr></table> JIS B 1198(頭付きスタッド)	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・16			・19			・22												
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																											
・16																													
・19																													
・22																													
8-2 コンクリート工事	① コンクリートの種類 [8. 1. 3] ② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 [8. 1. 3.、4] [8. 2. 5] [8. 9. 2]	コンクリートの種別 ・I 類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II 類(I 類以外のJIS A 5308に適合したコンクリート) ・普通コンクリート <table><tr><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>スランプ (cm)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m3)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・24 ○8</td><td>・改修標準仕様書表8. 1. 2による ・</td><td>2. 3程度</td><td>図示による</td></tr></table> 構造体強度補正值 * 改修標準仕様書表8. 2. 4による * 図示による ・軽量コンクリート <table><tr><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>スランプ (cm)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m3)</th><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・24 ・</td><td>・21 ・</td><td></td><td>・1種 ・2種</td><td>図示による</td></tr></table> 構造体強度補正值 * 改修標準仕様書表8. 2. 4による * 図示による	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m3)	適用箇所	・24 ○8	・改修標準仕様書表8. 1. 2による ・	2. 3程度	図示による	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m3)	種類	適用箇所	・24 ・	・21 ・		・1種 ・2種	図示による	12 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3) [3. 7. 3]	打継ぎの位置 * 図示による() ・ 目地寸法 ・標準仕様書9. 7. 3(1) (7)による * 図示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 ・図示による() ・	21 施工管理技術者 [8. 12. 1]	(一社)日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」又は「あと施工アンカー主任技士」の資格を有する者とする。	10 製作精度 [8. 13. 3]	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しゲイアツムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・H12建告第1464号第二号イ(2)による ・図示による アンダーカットの寸法 ・H12建告第1464号第二号イ(3)による ・図示による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・図示による			
設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m3)	適用箇所																										
・24 ○8	・改修標準仕様書表8. 1. 2による ・	2. 3程度	図示による																										
設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m3)	種類	適用箇所																									
・24 ・	・21 ・		・1種 ・2種	図示による																									
		13 構造体コンクリートの仕上り [8. 1. 4]	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ * 図示による コンクリートの仕上りの平たんさ * 図示による	8-3 鉄骨工事	種類等 <table><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所 (主要な部分)</th><th>規格</th></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr></table>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格			* JIS規格による ・			* JIS規格による ・			* JIS規格による ・			* JIS規格による ・	11 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験 [8. 15. 3]	試験の要領 * 図示による							
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格																											
		* JIS規格による ・																											
		* JIS規格による ・																											
		* JIS規格による ・																											
		* JIS規格による ・																											
		14 打増し厚さ(打放し仕上げ部) [8. 7. 8]	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ()mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ()mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型枠用鋼製デッキプレート梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増を行う ・10mm ・20mm ()mm	3 鋼材 [8. 2. 8]	種類等 <table><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所 (主要な部分)</th><th>規格</th></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>* JIS規格による ・</td></tr></table>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格			* JIS規格による ・			* JIS規格による ・			* JIS規格による ・			* JIS規格による ・	12 溶接接合 [8. 15. 4] [8. 15. 7]	開先の形状 * 図示による ・鋼製エンド キャ ブの切断する部分 切断する箇所 * 図示による 切断する範囲 * 図示による ・鋼製エンド キャ ブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差点を7-ル状に加工する 切断面の仕上げ * 改修標準仕様書8. 15. 7(1) (a) (b) ②による ・図示による スカラップの形状 * 図示による							
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格																											
		* JIS規格による ・																											
		* JIS規格による ・																											
		* JIS規格による ・																											
		* JIS規格による ・																											
		⑮ 型枠 [8. 2. 7] (6. 8. 2)	せき板の材料及び厚さ ・合板(厚さ * 12mm ()mm) ・メッキ型枠(使用部位 * 図示による) ・床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 * 図示による) ・断熱材を兼用した型枠材 適用箇所 * 図示による ・MCR工法用シート 適用箇所 * 図示による 打増し厚さ ・20mm ()mm 打増し範囲 * 図示による スラブの材料・規格等 * 図示による	4 高力ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 14. 2]	高力ボルトの種類 ・トル シ 7形高力 ボ ルト 2種(S10T) ・JIS形高力 ボ ルト 2種(F10T) ・() ボ ルトの線端距離、 ボ ルト間隔、ゲージ等 ・図示による 摩擦面の処理方法 ・自然発錆(黒皮等を除去した後)に自然放置して表面に赤さびが発生した状態) ・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)	13 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 * 図示による 適用箇所 ・柱、梁、ブレースのフランジ 端部の完全溶け込み溶接部 ・図示による																						

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																		
⑩ その他	1	フリーアクセス フロア (20.2.2)	<table><tr><td>構造</td><td colspan="2">・置敷式</td><td colspan="2">・支柱調整式</td></tr><tr><td>所定荷重</td><td colspan="2">*3,000N　・5,000N</td><td colspan="2">*3,000N　・5,000N</td></tr><tr><td>耐震性能</td><td colspan="2">・1.0G　・0.6G</td><td colspan="2">・1.0G　・0.6G</td></tr><tr><td>パネル寸法(mm)</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>高さ(mm)</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>表面仕上材</td><td colspan="2">*タイルカーペット ・帯電防止床タイル</td><td colspan="2">*タイルカーペット ・帯電防止床タイル</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td colspan="2">*図示による</td><td colspan="2">*図示による</td></tr></table> 寸法精度 *標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による　・ 帯電防止性能 ・評価値 (U) ≥0.6以上　・評価値 (U) ≥1.2以上 感電防止性能 *漏えい抵抗(R) ≥1×10⁶Ω スラブ及びボート　*製造所の仕様による　・図示による 配線用取り出しパネル リアパネル全面積に対する設置割合　*製造所の仕様による ・20～30パーセント 配線取り出し開口　*製造所の仕様による ・パネル枚につき40mm×80mm程度の開孔1ヶ所以上 空調用吹出(水込み)パネル　・なし ・有(形式、施工箇所：　*図示による　・)																	構造	・置敷式		・支柱調整式		所定荷重	*3,000N　・5,000N		*3,000N　・5,000N		耐震性能	・1.0G　・0.6G		・1.0G　・0.6G		パネル寸法(mm)					高さ(mm)					表面仕上材	*タイルカーペット ・帯電防止床タイル		*タイルカーペット ・帯電防止床タイル		施工箇所	*図示による		*図示による	
			構造	・置敷式		・支柱調整式																																																
			所定荷重	*3,000N　・5,000N		*3,000N　・5,000N																																																
			耐震性能	・1.0G　・0.6G		・1.0G　・0.6G																																																
			パネル寸法(mm)																																																			
			高さ(mm)																																																			
			表面仕上材	*タイルカーペット ・帯電防止床タイル		*タイルカーペット ・帯電防止床タイル																																																
			施工箇所	*図示による		*図示による																																																
			2	表示 (20.2.11)	案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示　*消防法に適合する市販品　・																																																	
					3	ブラインド (20.2.14)	<table><tr><th>形式</th><th>操作方法</th><th>種類</th><th>スラットの材質</th><th>スラット幅 (mm)</th><th>ボックス、 レールの材質</th><th>幅、高さ 取付箇所</th></tr><tr><td rowspan="2">・横形</td><td rowspan="2">*手動 ・電動</td><td>*ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td><td rowspan="2">*アルミニウム 合金製G</td><td>*25 ・</td><td>*鋼製 ・</td><td>*図示 ・</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td rowspan="3">・縦形</td><td rowspan="3">*手動 ・電動</td><td>*2本操作 コード式 ・1本操作 コード式</td><td rowspan="2">*アルミスラット ・プラスチック</td><td>*80 ・100</td><td>*アルミニウム 合金製</td><td>*図示 ・</td></tr><tr><td>—</td></tr></table> アルミスラットの材質　焼付塗装仕上げ プラスチックの材質　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工																	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス、 レールの材質	幅、高さ 取付箇所	・横形	*手動 ・電動	*ギア式 ・コード式 ・操作棒式	*アルミニウム 合金製G	*25 ・	*鋼製 ・	*図示 ・	—	・縦形	*手動 ・電動	*2本操作 コード式 ・1本操作 コード式	*アルミスラット ・プラスチック	*80 ・100	*アルミニウム 合金製	*図示 ・	—								
形式	操作方法	種類					スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス、 レールの材質	幅、高さ 取付箇所																																												
・横形	*手動 ・電動	*ギア式 ・コード式 ・操作棒式					*アルミニウム 合金製G	*25 ・	*鋼製 ・	*図示 ・																																												
		—																																																				
・縦形	*手動 ・電動	*2本操作 コード式 ・1本操作 コード式					*アルミスラット ・プラスチック	*80 ・100	*アルミニウム 合金製	*図示 ・																																												
		—																																																				
		4					ロールスクリーン (20.2.15)	<table><tr><th>材種</th><th>操作方法</th><th>寸法(mm)</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 ・</td><td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式 ・コード式</td><td>*図示 ・</td><td>*図示 ・</td><td></td></tr></table> スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの																	材種	操作方法	寸法(mm)	取付箇所	備考	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式 ・コード式	*図示 ・	*図示 ・																					
材種	操作方法							寸法(mm)	取付箇所	備考																																												
・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式 ・コード式							*図示 ・	*図示 ・																																													
5	カーテン (20.2.16)		<table><tr><th colspan="2">形式</th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>生地の種類、品質、 特殊加工等</th><th>取付 箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・片引き ・引分け</td><td>・手引き ・ひも引き ・電動</td><td>・つまみひだ ・箱ひだ、 つまみひだ ・プレーンひだ</td><td></td><td>*図示 ・</td><td>・暗幕</td></tr></table> 生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの 暗幕カーテンの両端、上部及び小合わせの重なり　*300mm以上　・ カーテン用付属金物 フック(ひるかん) *鋼製　・樹脂製																	形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、 特殊加工等	取付 箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、 つまみひだ ・プレーンひだ		*図示 ・	・暗幕																					
			形式		開閉操作	ひだの種類		生地の種類、品質、 特殊加工等	取付 箇所	備考																																												
			・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、 つまみひだ ・プレーンひだ			*図示 ・	・暗幕																																												
			6	カーテンレール (20.2.16)	材料による区分　*アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成形材 ・ステンレス製																																																	
					強さによる区分　*10-90　・																																																	
					仕上り　*アルミイト　・																																																	
					形状　*角形　・																																																	
		7			ブラインドボックス 及び カーテンボックス	溝幅×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150 ・150×80　・図示による																																																
						材質　・集成材(仕上げ：　) ・アルミニウム製　押出型材(市販品) 表面処理　・BC-1 ・BC-2(*標準色(　)・特注色(　)) ・鋼製(仕上げ：　)																																																
						⑧	天井点検口	<table><tr><th>材種</th><th>寸法(mm)</th><th colspan="2">形式</th><th>外枠</th><th>内枠</th></tr><tr><td>*アルミニウム製</td><td>*450×450 ○600×600</td><td>*一般形</td><td>○屋内外用 *屋内用</td><td>*額縁タイプ ・目地タイプ</td><td>*額縁タイプ ・目地タイプ</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・気密形</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																	材種	寸法(mm)	形式		外枠	内枠	*アルミニウム製	*450×450 ○600×600	*一般形	○屋内外用 *屋内用	*額縁タイプ ・目地タイプ	*額縁タイプ ・目地タイプ	・	・	・気密形															
材種	寸法(mm)							形式		外枠	内枠																																											
*アルミニウム製	*450×450 ○600×600							*一般形	○屋内外用 *屋内用	*額縁タイプ ・目地タイプ	*額縁タイプ ・目地タイプ																																											
・	・							・気密形																																														
9	床点検口		<table><tr><th>材種</th><th>寸法(mm)</th><th colspan="2">形式</th><th>備考</th></tr><tr><td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td><td>・450×450 *600×600 ・</td><td>・一般形 ・密閉形</td><td>・屋内外用 ・屋内用</td><td>・鍵付き</td></tr></table> 密閉形とは、パネル、パネなどから構造にパネルを装着したものとする。																	材種	寸法(mm)	形式		備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 *600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き																									
			材種	寸法(mm)				形式		備考																																												
			・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 *600×600 ・				・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き																																												
			10	手すり				<table><tr><th>材質</th><th>表面仕上げ</th><th>直径(mm)</th><th>取付箇所</th></tr><tr><td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール</td><td>・リファイン　・ ・HL程度　・ ・SOP　・EP-G</td><td>・35　・45　・</td><td></td></tr></table>																	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・リファイン　・ ・HL程度　・ ・SOP　・EP-G	・35　・45　・																							
		材質			表面仕上げ			直径(mm)	取付箇所																																													
		・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール			・リファイン　・ ・HL程度　・ ・SOP　・EP-G			・35　・45　・																																														
		⑪			天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 *ビニル既製品　・アルミニウム既製品																																																
						12	視覚障害者用 床タイル (視覚障害者誘導用 ブロック) (11.2.2、19.2.2)	<table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="4">屋内</td><td>・塩化ビニル製</td><td>*300×300　・</td><td>・7.0　・</td></tr><tr><td>・セラミックタイル</td><td>*300×300　・</td><td>・</td></tr><tr><td>・レジンコンクリート製</td><td>*300×300　・</td><td>・</td></tr><tr><td>・コンクリート製</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">屋外</td><td>・セラミックタイル</td><td>*300×300　・</td><td>・</td></tr><tr><td>・レジンコンクリート製</td><td>*300×300　・</td><td>・</td></tr><tr><td>・コンクリート製</td><td></td><td></td></tr></table> 突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による																	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	屋内	・塩化ビニル製	*300×300　・	・7.0　・	・セラミックタイル	*300×300　・	・	・レジンコンクリート製	*300×300　・	・	・コンクリート製			屋外	・セラミックタイル	*300×300　・	・	・レジンコンクリート製	*300×300　・	・	・コンクリート製					
								施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)																																											
								屋内	・塩化ビニル製	*300×300　・	・7.0　・																																											
・セラミックタイル	*300×300　・								・																																													
・レジンコンクリート製	*300×300　・								・																																													
・コンクリート製																																																						
屋外	・セラミックタイル		*300×300　・	・																																																		
	・レジンコンクリート製		*300×300　・	・																																																		
	・コンクリート製																																																					
	13	トイレブース (20.2.5)	<table><tr><th rowspan="2">表面材の材料</th><th>脚部</th><th>ドアエッジ</th></tr><tr><th>形状</th><th>材質</th></tr><tr><td>*ポリウレタン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td><td>*幅木タイプ ・</td><td>*製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td></tr></table>																	表面材の材料	脚部	ドアエッジ	形状	材質	*ポリウレタン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	*幅木タイプ ・	*製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製																											
表面材の材料			脚部	ドアエッジ																																																		
			形状	材質																																																		
*ポリウレタン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板			*幅木タイプ ・	*製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																		
14			施工保証書	建築板金工事に係る施工保証 ・屋根の防水　10年間(保証箇所：　) ・雨どい　5年間(保証箇所：　) 上記期間の施工保証書を提出し、期間内に受注者の責任により漏水したときは、受注者の負担により直ちに補修することを確約する。																																																		



付近見取図



配置図 1:600

■工事概要

1. 建築工事

- 1) ギャラリー下、外部軒天(アクリル地下地もれどめ)剛毛引き 外装薄塗材E吹付)下地共解体撤去
- 2) 軒天新設: 軽量鉄骨天井下地 けい酸カルシウム板 厚6mm EP
- 3) フリ-1(1F)、ギャラリー(2F)窓ガラス(外部に面する建具)日射調整フィルム(日射遮蔽性能 A)貼り
- 4) 空調室内機架台(木製)、室外機基礎(コンクリート製)製作及び設置、犬走補修

2. 電気設備工事

- 1) 屋内運動場照明全般、LED照明器具に付け替え
- 2) 空調設備設置に伴う電気容量増加のためのケーブル改修工事

3. 機械設備工事

- 1) フリ-1に空調設備新設

project name

令和8年度津和野中学校屋内運動場
LED化及び空調設備等設置工事

signature

sheet name

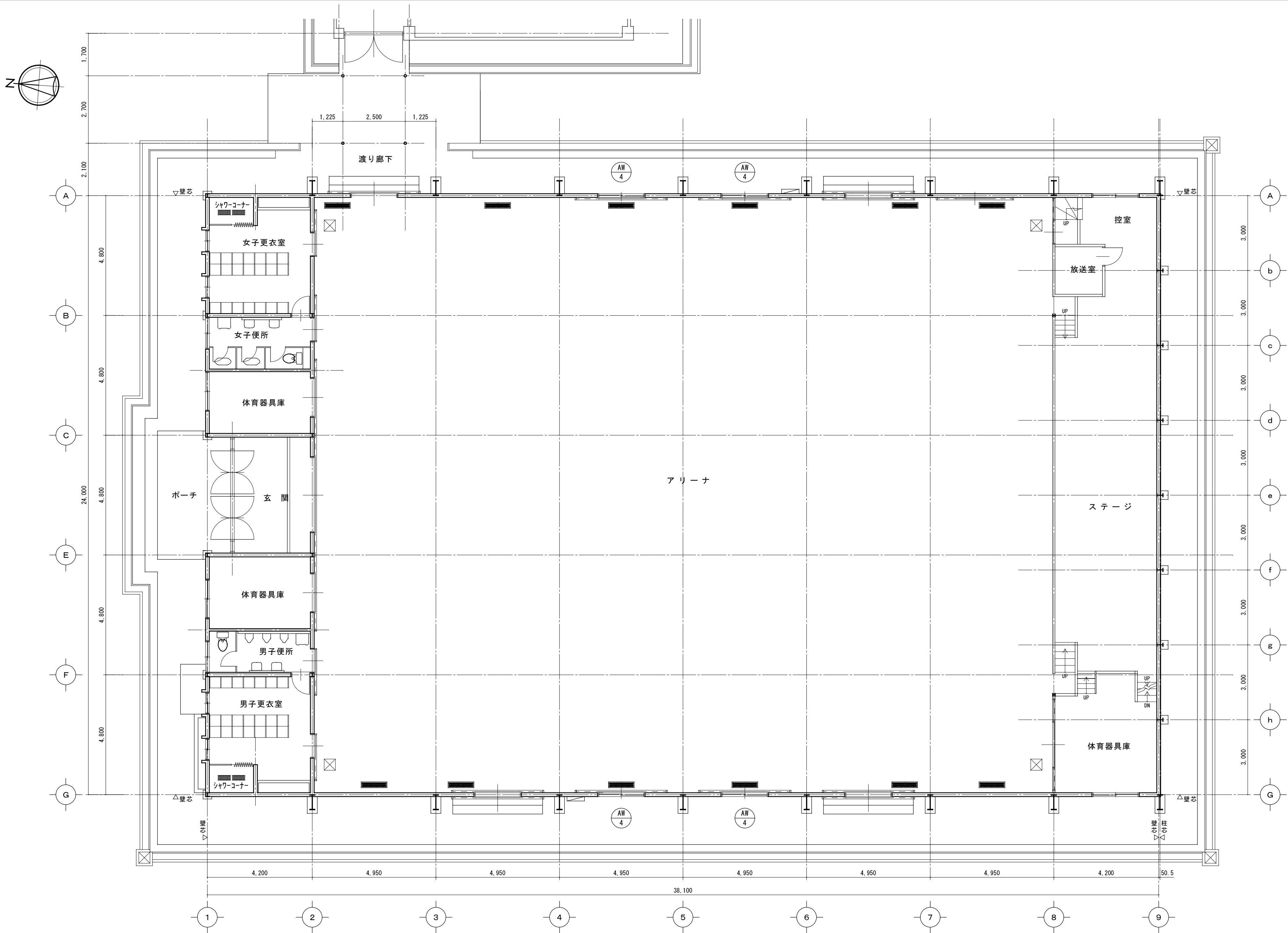
付近見取図 配置図 工事概要

scale

1:600

sheet no

A — 7



1 階平面図 1:100

project name

令和8年度津和野中学校屋内運動場
LED化及び空調設備等設置工事

signature

sheet name

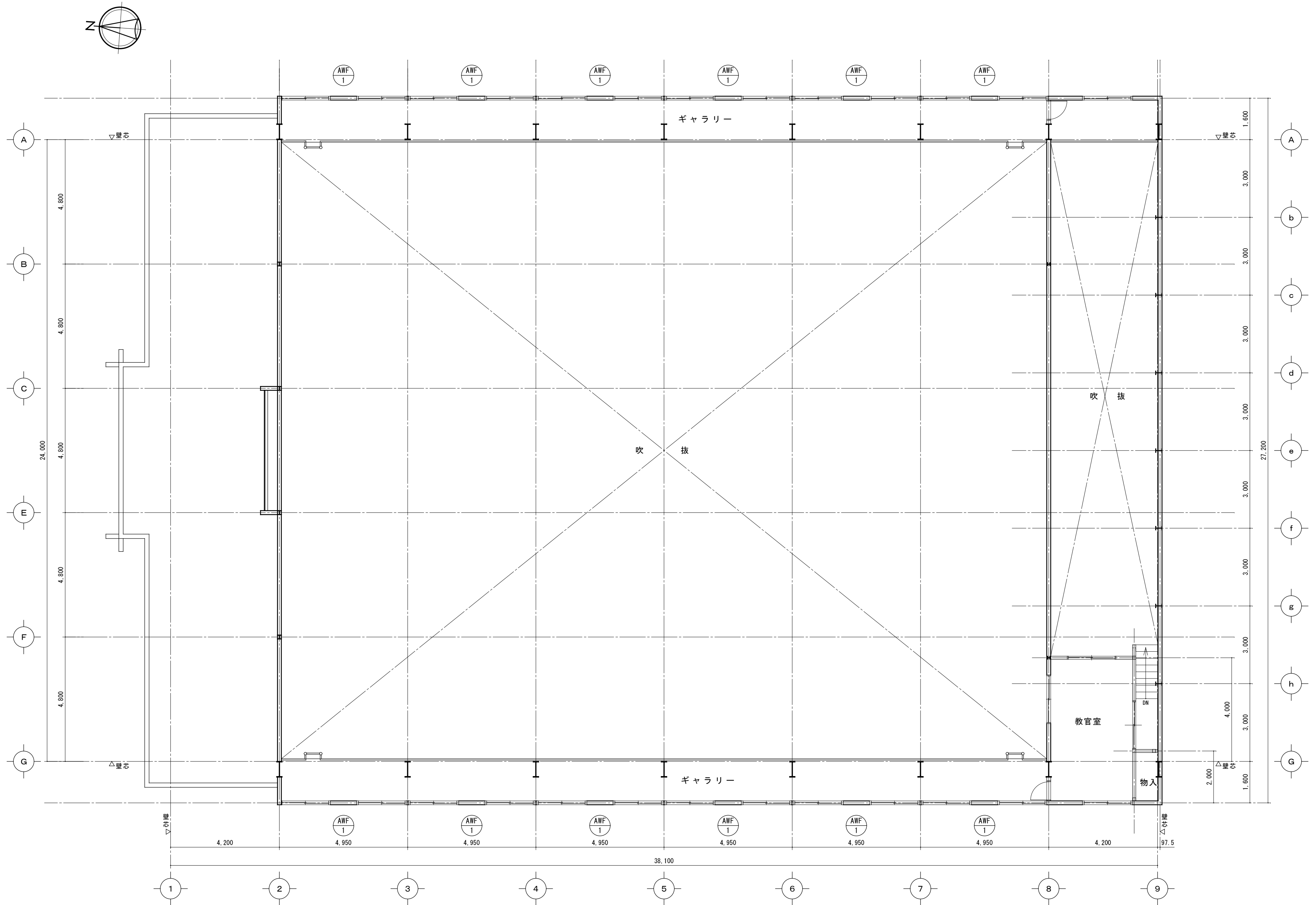
1 階平面図

scale

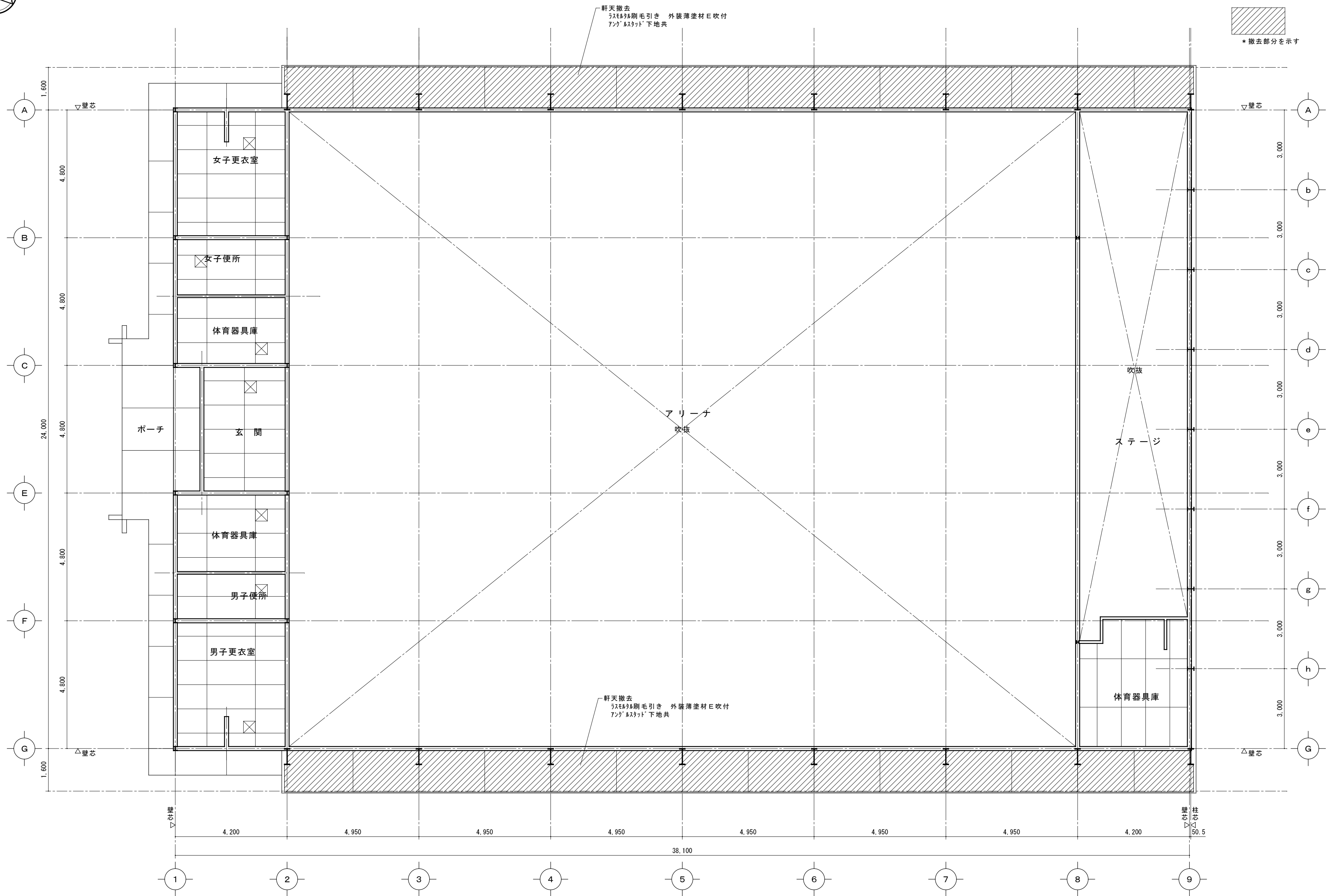
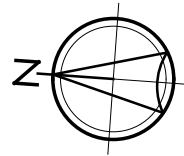
1:100

sheet no

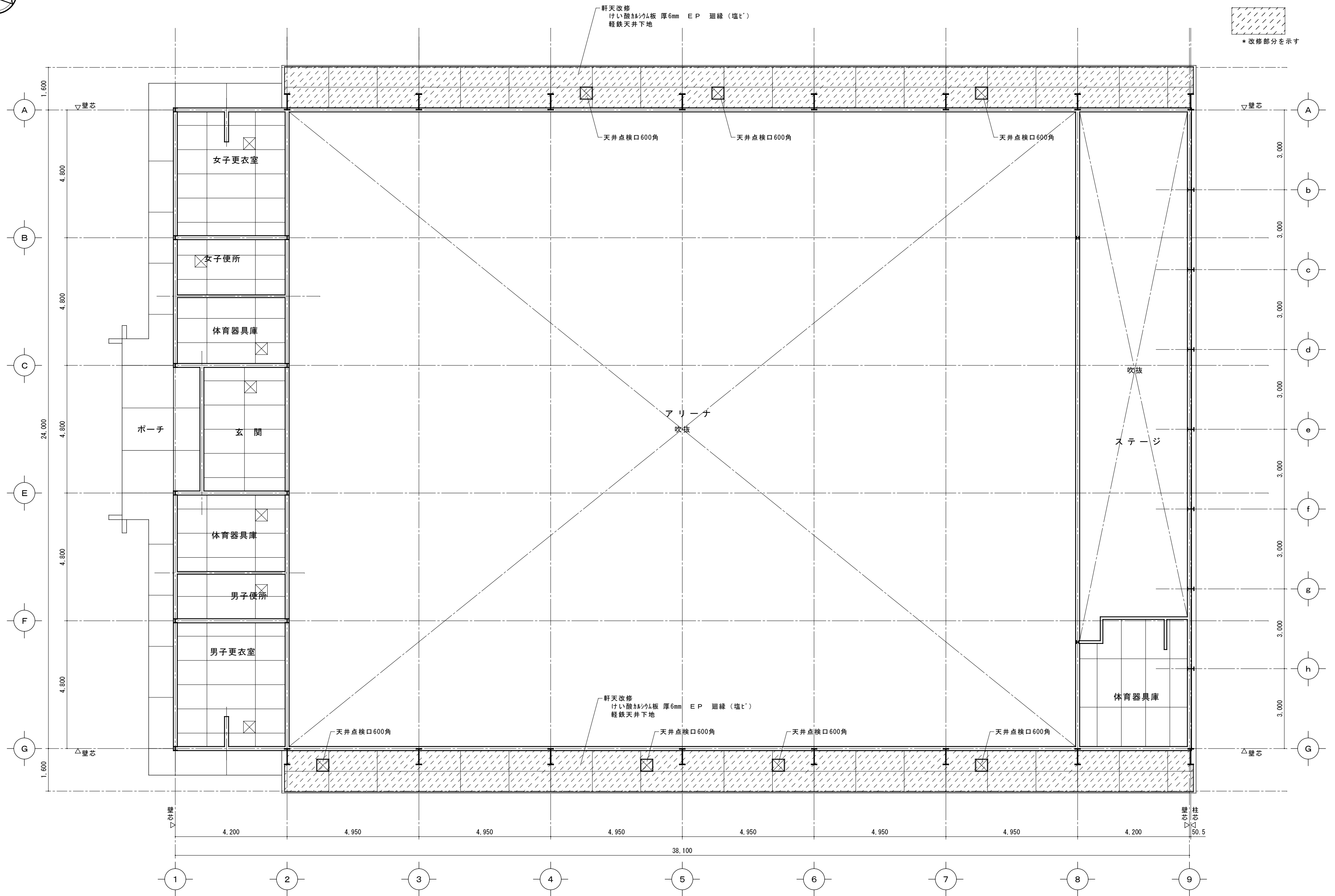
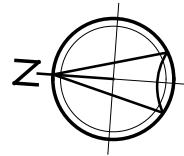
A — 8



2 階平面図 1:100



1 階天井伏図 1:100



1階天井伏図 1:100

電気設備工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

島根県鹿足郡津和野町田イ26番地

2. 地域地区

(都市計画区域内 (区域区分未設定))

3. 敷地面積

m²

4. 建物用途

中学校

5. 棟別概要

No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)	工事種別 改修・新設
1	校舎		R C	3	(7)			改修
2	屋内運動場		S	2	(7)	1,037.16	1,088.55	改修
3								
4								
5								
6								
7								
合 計						1,037.16	1,088.55	

6. 工事種目 (○印を付したものが該当)

	1	2	3	4	5	6	7
受変電設備	○						
電力貯蔵設備							
発電設備							
電灯コンセント設備		○					
動力設備		○					
構内情報通信網設備							
構内交換設備							
情報表示装置							
映像・音響設備							
拡声設備							
誘導支援装置							
テレビ共同受信設備							
テレビ電波障害調査							
防災設備							
防犯設備							
中央監視制御設備							
雷保護設備							
屋外設備							
建築工事							
機械設備工事							

II 工事仕様

1. 共通事項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 令和 4 年版」 (以下「標準仕様書」という) 及び「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) 令和 4 年版」 (以下「標準図」という) による。
ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) 令和 4 年版」 (以下「改修標準仕様書」という) による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記事項
(1) 章及び項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○ 印を適用する。
○ 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。
○ 印と ⊗ 印のある場合はともに適用する。

章項目特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等

・ 消防用設備等の技術基準 (第 8 次改訂版) (全国消防長会中国支部編)
・ 公共施設用照明器具 (2 0 2 1 年版) (一般社団法人日本照明工業会)
* 営繕工事写真撮影要領 (平成 2 8 年版) による
工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成 3 0 年版
一般社団法人公共建築協会 編集
国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修

② 機材の品質等

本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、J I S マーク表示のない機材及びその製造者等は、次の 1) ～ 6) の事項を満たすものとする。
ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の 1) ～ 6) を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。

1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。
6) 材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放散量は F ☆☆☆ とする。

なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。
また、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
ただし、一般社団法人公共建築協会編集・発行の「建築材料・設備等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿 (最新版) 」及び「同設備機材等評価名簿 (最新版) 」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

③ 環境への配慮

④ 契約種別等

○ 業務用電力 変圧器容量 電灯 30 K V A
動力 225 K V A
計 255 K V A

・ 低圧電力
・ 従量電灯 A ・ 従量電灯 B ・ 定額電灯

⑤ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

章項目特記事項

6 電気工士

7 現場事務所

⑧ 工事用電力、水

⑨ 発生材の処理

最大電力 5 0 0 k W 以上の場合においても、第一種電気工士により施工を行う。

* 設置できる
(・ 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所 :))

構内既存の施設
工事用水 ○ 利用できる (有償) ・ 利用できない
工事用電力 ○ 利用できる (有償) ・ 利用できない

・ 引き渡しを要するもの
()

・ 現場において再利用を図るもの
()

産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。

項目	品目	搬出場所	距離 (K m)	D I D 区間 (有 ・ 無)	処分費 (有 ・ 無)	備考 (再資源化の有無等)
特定建設資材	・ コンクリート塊					有
	・ アスファルト塊					有
	・ コンクリート及び鉄から成る建設資材					有
	・ 木材					有
特別管理産業廃棄物	・ P C B 使用機器					
	・ アスベスト含有設備資機材					
	・ 六フッ化硫黄 (S F 6)					
	・ 蛍光管等					
その他	○ 金属くず	I Ⅱ ・ Ⅲ ・ I Ⅱ	22.1	無	有	無
	○ 蛍光管等	I Ⅱ ・ Ⅲ ・ I Ⅱ	22.1	無	有	無

○ P C B 使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。
・ 撤去品の変圧器等は製造年、品番等を確認し微量 P C B 分析の要否を判定する。
・ 撤去品の微量 P C B 分析を行う。 ()
・ アスベスト含有設備資機材は関係法令等に従い適切に処理する。
・ 撤去するアスベスト含有設備資機材は機器の製造年、品番等を確認しアスベスト含有分析の要否を判定する。
・ ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等受電機器に含まれる六フッ化硫黄 (S F 6) ガスは、製造者又はガス回収業者に回収を委託し、再使用又は再資源化する。

以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。配置する位置は別に図示する。

名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員 A		
交通誘導員 B		
交通整理員		

(注) 交通誘導員 A、B は警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。
取り扱いは「建築工事における交通誘導員等の取扱い基準」 (営繕課 HP 掲載) による

章項目特記事項

① 工事写真

② 完成図

③ 保全に関する資料

1 4 情報共有システム

⑤ 提出書類

下記のものを提出する。
仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。

区分	分類	サイズ (mm)	提出部数
工事中写真 (着工前含)	* カラー	* 8 0 × 1 2 0 程度	0 部
完成写真	* カラー	外部全景 * 1 2 0 × 1 7 0 程度 その他 * 8 0 × 1 2 0 程度	2 部
電子データ (C D - R 等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録した C D - R 等を提出する。		1 部

(注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。

下記のものを、竣工後 1 5 日以内に提出する。
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品名・仕様		提出部数
複写図	* 竣工図 製本サイズ (* A 3 縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))	2 部
	* 施工図 (構造躯体図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面) 製本サイズ (* A 3 縮小版 ・ 原図サイズ) 白焼 表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上))	1 部
* 電子データ (P D F データ、C A D データ、施工図) (C D - R 等)		1 部

製本の取りまとめについては監督職員の指示による。
設計に関する C A D データを貸与するが、著作権者は、島根県にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。
○ 竣工図と施工図を 1 冊にまとめる。

書類名提出部数
建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)
機器取扱い説明書
機器性能試験成績書
官公署届出書類一覧

その他監督職員が指示するもの
建築物等の利用に関する説明書 (電子データ共 (C D - R 等)) * 1 部

「島根県営繕工事等情報共有システム実施要領」に基づき、情報共有システムを利用した場合は、情報共有システムで処理を行った書式一式を、工事完成時に電子媒体 (C D - R 等) で納品することを基本として受発注者間協議により決定する。

として受発注者間協議により決定する。
○ 絶縁抵抗測定結果
○ 接地抵抗測定結果
○ 機器試験成績表
・ テレビ端子出力レベル測定結果
・ L A N ケーブル伝送品質測定結果
○ 一般用照明显度測定結果 (各室について 3 カ所程度)
測定高さは (事務室 F L + 8 0 0、廊下等 F L + 0) とする
・ 非常用照明显度測定結果 (各室について 2 カ所程度)
測定高さは床面とする

project name

令和8年度津和野中学校屋内運動場
LED化及び空調設備等設置工事

signature

sheet name

特記仕様書 1

scale

sheet no

E — 1

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																																																																					
16	耐 震 措 置	設備機器の固定は次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針（独立法人建築研究所監修）2014年版」による。 1）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量〔KN〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 <table><tr><th>設置場所</th><th>機器種別</th><th colspan="2">・ 特定の施設</th><th colspan="2">・ 一般の施設</th></tr><tr><th></th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td>上層階</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>屋上及び塔屋</td><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td></td><td>水槽類（オイルタンク）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>中間階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td></td><td>水槽類（オイルタンク）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>地階及び1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td></td><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>水槽類（オイルタンク）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> （注）上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階 重要機器は次のものを示す。 ・ 配電盤 ・ 直流電源装置 ・ 中央監視制御装置 ・ 自家発電装置 ・ UPS装置 ・ 通信総合盤 ・ 交換機 ・ 火災報知受信機 一般機器は重要機器以外で重量が1KNを超えるものを示す。 なお、1KN以下の機器の取付は上記によるほか、機器製造者指定の方法により行う。 2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3）あと施工アンカーの引き抜き試験 対象機器は重要機器及び一般機器とする。 試験本数は対象機器1台につき、3本とする。 試験箇所は監督員の指示による。 試験方法は引張試験機による引張試験とする。 確認強度は対象機器ごとのあと施工アンカー1本に対する引き抜き力以上とする。 （注）機器重量が1kn以下の機器は使用するアンカーメーカーの強度試験資料を監督職員に提出して承諾をうけること。	設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5		水槽類（オイルタンク）	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6		防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0		水槽類（オイルタンク）	1.5	1.0	1.0	0.6	地階及び1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4		防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水槽類（オイルタンク）	1.5	1.0	1.0	0.6	20	フラッシュプレート	○ 金属製（適用範囲：スイッチ） ○ 合成樹脂製（適用範囲：フラッシュプレート） 用途を表示したシール等を貼付すること。 接地極は下記による。（EBはL＝1,500mmとする） <table><tr><th>種 類</th><th>記 号</th><th>接地抵抗値</th><th>接 地 極</th></tr><tr><td>共同接地</td><td>E A・D</td><td>10Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組</td></tr><tr><td>共同接地</td><td>E A・C・D</td><td>10Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊2連－2組</td></tr><tr><td>A種</td><td>E A</td><td>10Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組</td></tr><tr><td>B種</td><td>E B</td><td>Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊2連－2組</td></tr><tr><td>C種</td><td>E C</td><td>10Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組</td></tr><tr><td>D種</td><td>E D</td><td>100Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40）＊1</td></tr><tr><td>高圧避雷器</td><td>E L H</td><td>10Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組</td></tr><tr><td>交換機用</td><td>E t</td><td>10Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－1組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E A t</td><td>10Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組</td></tr><tr><td>通信用</td><td>E D t</td><td>100Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40）＊1</td></tr><tr><td>電話引込口</td><td>E L t</td><td>100Ω以下</td><td>EB（D＝14又はW＝40）＊1</td></tr><tr><td>測定用</td><td>E 0</td><td>－</td><td>EB（D＝10又はW＝30）＊1</td></tr></table> （但し、測定用の場合、EBはL＝1,500mm）	種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極	共同接地	E A・D	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組	共同接地	E A・C・D	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊2連－2組	A種	E A	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組	B種	E B	Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊2連－2組	C種	E C	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組	D種	E D	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）＊1	高圧避雷器	E L H	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組	交換機用	E t	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－1組	通信用	E A t	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組	通信用	E D t	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）＊1	電話引込口	E L t	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）＊1	測定用	E 0	－	EB（D＝10又はW＝30）＊1	31	電 線 類	1）EM電線類で規格等記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 2）通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」による。 ・ 本工事で設置する 外部足場 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種 内部足場 ○ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ 建築工事設置の足場を利用	43	施工計画調査	分析調査 ・ 塗膜塗料に含まれる有害物質 現場にてサンプルを採取し、分析を行う。 有害物質の種類 ・ PCB ・ 鉛 ・ クロム 採取場所（ 採取箇所数（
		設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設																																																																																																																										
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																																										
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																											
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																																																											
	水槽類（オイルタンク）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																											
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																											
	水槽類（オイルタンク）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
地階及び1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																																																											
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
	水槽類（オイルタンク）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																											
種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極																																																																																																																													
共同接地	E A・D	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組																																																																																																																													
共同接地	E A・C・D	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊2連－2組																																																																																																																													
A種	E A	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組																																																																																																																													
B種	E B	Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊2連－2組																																																																																																																													
C種	E C	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組																																																																																																																													
D種	E D	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）＊1																																																																																																																													
高圧避雷器	E L H	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組																																																																																																																													
交換機用	E t	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－1組																																																																																																																													
通信用	E A t	10Ω以下	EB（D＝14又はW＝40） ＊3連－2組																																																																																																																													
通信用	E D t	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）＊1																																																																																																																													
電話引込口	E L t	100Ω以下	EB（D＝14又はW＝40）＊1																																																																																																																													
測定用	E 0	－	EB（D＝10又はW＝30）＊1																																																																																																																													
21	カバープレート		32	足 場	44	施 工 調 査	1）本工事の施工計画に先立ち事前調査を行う。 2）事前調査後速やかに調査結果をまとめ監督職員に報告書を提出する。 3）調査結果を考慮し施工計画書、施工図を作成する。																																																																																																																									
22	接 地 極		33	土 工 事 建設発生土の処分	45	木製安全施設製品 （県産木材製品）	・ 工事用標示板 （表示板1,400mm×1,100mm用） 台 ＊ 工事用看板 （表示板1,400mm×500mm用） 2台 ＊ 工事用バリアード 5台 （注）取り扱いは平静25年3月8日付営第945号による																																																																																																																									
17	耐 震 施 工	横引き配管等は、地震時の設計用水平震度及び設計用鉛直震度に応じた地震力に耐えるよう標準図によるSA種、A種又はB種耐震支持を行う。ただし、次の場合を除く。 （a）呼び径が82mm以下の単独配管 （b）周長800mm以下の金属ダクト、幅400mm未満のケーブルラック及び幅400mm以下の集合配管 （c）定格電流600A以下のバスダクト （d）吊り材の長さが平均0.2m以下の配管配線等		23		分電盤・端子盤	・ 標準仕様書による ・ 製造者標準とする	2	①電 気 方 式	○ 高圧 三相3線式 6.6KV ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 200V／100V ・ 低圧 単相2線式 100V																																																																																																																						
		24				鋼製電線管	図示なきは、ねじなし電線管とする。			2	高圧負荷開閉器	引込柱取付け、閉鎖型、過電流蓄勢トリップ形、モールドコーンブッシング付 ・ 気中 ・ 真空 ・ 耐塩形（ ・ 亜鉛メッキ ・ ステンレス ） ・ 地絡継電器付 ・ 方向性地絡継電器付 ・ VT内蔵 ・ LA内蔵																																																																																																																				
		25	露出配管の塗装		居室、廊下、外壁面で露出となる鋼製電線管（位置ボックスを含む）及び支持金物には塗装を施す。	3	キュービクル					・ 屋内形 ○ 屋外形 ○ 鋼板製（屋根：ステンレス製） 塗装はJ S I A（受配電設備のガイドライン）の基準による。																																																																																																																				
18	他 工 事 と の 取 合	梁・壁・床貫通部の補強及びスリーブ 補強 ・ 本工事 ・ 別途工事 スリーブ ・ 本工事 ・ 別途工事 照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート インサート ・ 本工事 ・ 別途工事 埋込分電盤、端子盤等の仮枠及び埋込部分の補強 ・ 本工事 ・ 別途工事 天井埋込形器具の天井切込加工（下地を含む）及び補強 ・ 本工事 ・ 別途工事 二重床の配線器具取付箇所の切込及び補強 ・ 本工事 ・ 別途工事 シャッター等の2次側配線配管工事 ・ 本工事 ・ 別途工事	26	ブルボックスの塗装	ステンレス製ブルボックスの塗装 ・ 有（メーカー指定色又は指定色仕上） ・ 無（素地仕上）			4	④変 圧 器			○ 油入 ・ モールド モールド変圧器の表面は充電部とみなし注意標識を取り付ける。 モールド変圧器はダイヤル温度計を附属させる。																																																																																																																				
		27	結 露 防 止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には断熱材等を取り付ける。	5					⑤進相コンデンサ	○ 低圧側 ・ 高圧側 ・ 油入 ○ 乾式（ ・ モールド ・ ガス ○ オイルレス（一体型））																																																																																																																					
		28	再使用機器	取外し再使用する機器は清掃及び絶縁抵抗測定の上取付ける。		6	⑥直列リアクトル				・ 油入 ○ 乾式（ ・ モールド ○ オイルレス（一体型））																																																																																																																					
29	予 備 配 管	壁内に埋込みとなる分電盤、端子盤等には予備配管として、E25×2又はPF22×2を設置する。 天井スラブの場合 天井又は梁下20cmまで立上げ、ボックス止めとする 二重天井の場合 配管を天井内まで立上げる	4	事前調査等				受注者は以下の規定に基づき、特定建築材料等の有無を事前に調査し、発注者へ書面により説明すること。併せて調査結果の揭示及び所管基準監督署長並びに都道府県知事等への報告を行うこと。 （大気汚染防止法第18条の15、石綿障害予防規則第3条及び第4条の2） ・ 分析調査（定性分析）を行い、結果を報告する。 ・ 試料採取箇所（ ） 試料数（ ） ・ 図示による	7		引込開閉器盤 （低圧の場合）	・ 電柱取付形（防水） ・ 屋側取付形（防水） ・ 鋼板製 ・ ステンレス製（SUS304）（着色） 塗装はJ S I A（受配電設備のガイドライン）の基準による。																																																																																																																				
19	位 置 ボ ッ ク ス	・ 鋼製 ・ 樹脂製 鋼製ボックスを使用する場合は、ボックスに接地を施すこと。 防火隔壁等に埋込む場合は、鋼製とする。			30			支持金物等		屋外及び湿気の多い場所で使用する支持金物は下記による。 ただし、装柱金物は除く。 ○ ステンレス製（SUS304） ・ 溶融亜鉛メッキ（2種35） ・		8	キュービクル基礎及びボルト	基礎 ○ 本工事 ・ 別途工事 ボルト ○ 本工事 ・ 別途工事																																																																																																																		

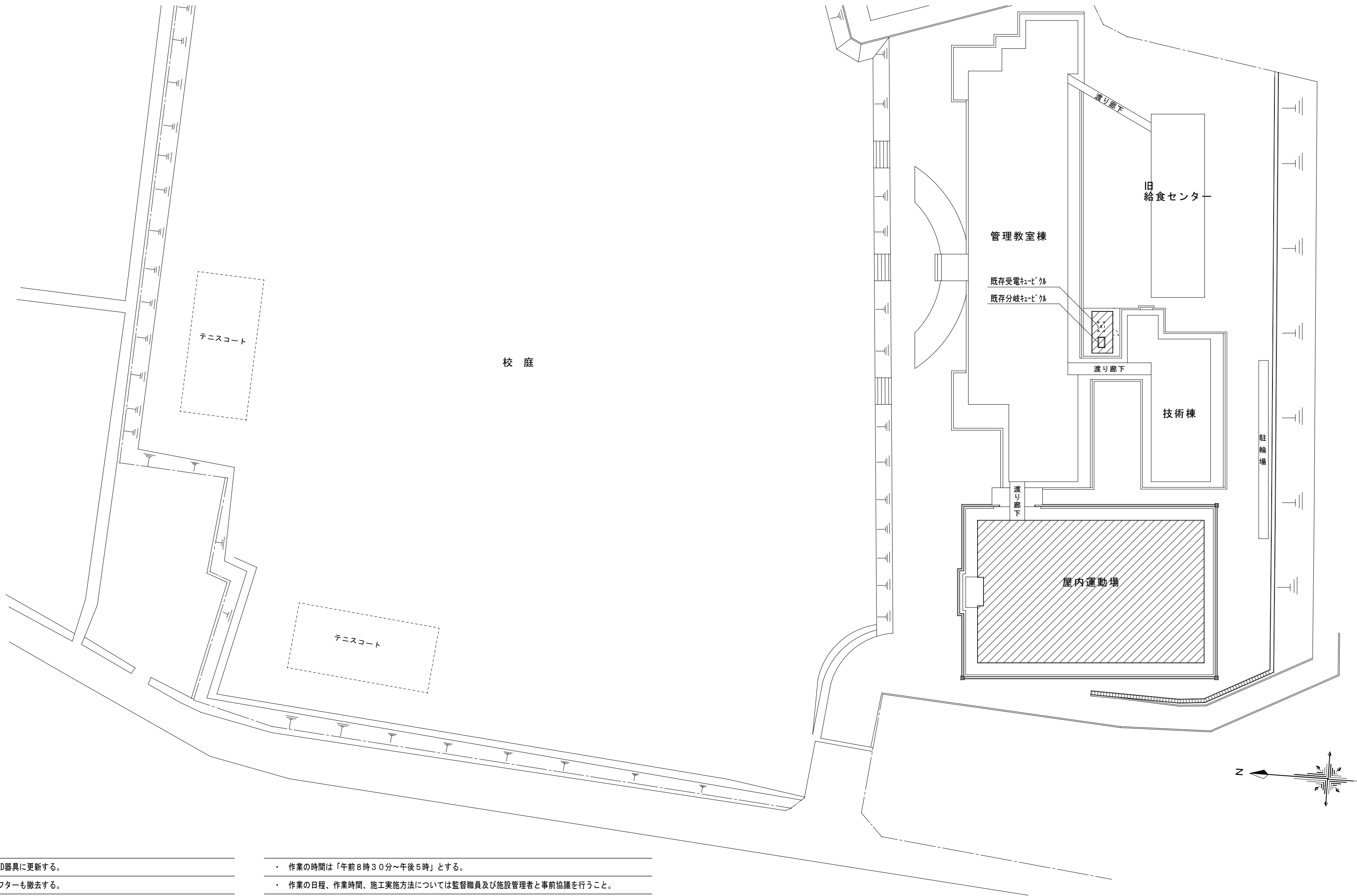
章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項							
	⑨ 感熱表示ラベル	導電部の接続端子近辺には不可逆性の感熱表示ラベルを貼付する。 （変圧器の２次側端子、低圧盤１次側母線）	6 原 動 機	（ ）kW以上 ・ ディーゼル ・ ガスエンジン ・ ガスタービン		⑤ 光 源	光源色の図示なき場合は下記による L E D ⊙ 昼白色 ⊙ 電球色	9 情 報 表 示 装 置	A マルチサイン設備	・ L E D 式（ ・ ４色 ・ フルカラー ） ・ 液晶式					
	⑩ 高調波計算書	機器承諾図提出前に高調波流出電流を計算し、監督職員に提出する。	7 連続運転時間	（ ）時間以上		6 コンセントプレート	・ シール等により商用系、自家発系を明示すること。 ・ O A タップについては回路番号を明示すること。		B 出退表示設備		・ L E D 式（ ・ ２モード ・ ４モード ） ・ 液晶式				
	⑪ 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による。 ヒューズ類（種別ごとに下記の数量とする） ⊙ 現用数 ・ 現用数の２０％（１個以上） A B C １０型消火器（屋外は樹脂製の箱入りとする） 主回路接続図（透明ケース入り）	8 運 転 音	機器、排気管及び排風ダクトより１mの位置での運転音 ・ １０５dB（A） ・ ８５dB（A） ・ ７５dB（A）		動力設備	① 電 気 方 式		三相３線式			C 時刻表示設備	水晶式（週差0. ７秒以下）		
3 電力貯蔵設備	A 直流電源装置		9 保守運転	自動	6 動力設備		② 電源を必要とする機器	⊙ 空調設備 ・ 換気設備 ・ 給排水設備 ・ 浄化設備 ・ 消火設備 ・ 厨房設備 ・ 給湯設備 ・ 排煙設備 ・ エレベータ設備 ・ コンセント ・ 建築関係設備 ・ 備品関係設備	1 親 時 計	電池はリチウム電池とする。					
	1 用 途		・ 非常用照明（建築基準法） ・ 受変電設備用	3 監視			・ 警報盤 ・ 中央監視盤（別途工事）に接続	2 子 時 計	・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式						
	2 蓄 電 池		・ H S 型鉛蓄電池 ・ M S E 型鉛蓄電池 ・ 長寿命M S E 型鉛蓄電池 ・ リチウム二次電池 ・ ニッケル・カドミウムアルカリ電池	④ 空調電気設備		⊙ 本工事 ・ 別途工事	10 映像・音響設備	1 工 事 範 囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器取付						
	3 予 備 品 等		標準仕様書によるほか下記による。 主回路接続図（透明ケース入り）	⑤ 機器への接続	⊙ 本工事 ・ 別途工事	2 対 象 室 名				・ ・					
	B 交流無停電電源装置（UPS）			7 構内情報通信網設備	1 工 事 範 囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 端子盤等取付 ・ 機器収納ラック等取付 ・ 情報通信機器取付				3 増 幅 器	L o 形増幅器とする。				
	1 方 式			・ 常時インバータ給電方式（ ・ 簡易型） ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式	構内交換設備			4 プロジェクター	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 広角型（ワイド型） ・ 標準型 投写方式 ・ 前面投写式 ・ 背面投写式						
	2 定 格 出 力			（ ）KVA				5 スクリーン	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 広角型（ワイド型） ・ 標準型 ・ 手動巻上式 ・ 電動巻上式（ ・ 無線 ・ 有線 ）						
	3 停電補償時間		（ ）分（定格出力運転時）	6 映像・音響設備				・ C D プレーヤー ・ オーディオレコーダ ・ ブルーレイ／DVD ・							
	4 予 備 品 等		標準仕様書によるほか下記による。 主回路接続図（透明ケース入り）但し、簡易形は除く	B 太陽光発電	1 公称最大出力	（ ）/KW以上 （日射強度 １KW／㎡、 2 5℃、 AM 1. ５）	7 構内情報通信網設備								
	4 発電設備			2 耐 風 速	建築基準法施行令第 8 7 条の規定による風圧力に耐えるものとし、強度計算書を監督職員に提出する。	8 構内交換設備									
3 系 統 連 系		・ 行う ・ 行わない 系統連系を行う場合は、「系統連系技術要件ガイドライン」を満足すること。													
4 パワーコンディショナー		出力 相 線式 V 定格容量 kW 自立運転機能 ・ 有り ・ 無し													
5 売 電	・ 行う ・ 行わない														
6 太陽電池モジュール出力保証	保証期間開始日は引渡し日とする。														
5 電 灯 コ ン セ ン ト 設 備	① 電 気 方 式						⊙ 幹線 単相３線式 200／100V ⊙ 分岐 単相２線式（ ⊙ 100V ⊙ 200V ） ・ 分岐 直流２線式 100V								
		② 配 線 器 具	スイッチ、コンセントは大角形とする。 2 連以上スイッチは、ネーム付とする。 床コンセント ・ アップ式 ・ フロア形 コンセント容量 20A 以上、3 P 以上、防水形はプラグを付ける。 接地極付コンセント（2 P 1 5 A（E））及び防雨形コンセントのプラグは不要とする。												
		3 非常用照明器具	・ 電池内蔵型 ・ 電源別置形												
		4 照 明 制 御	・ 人感センサー制御 ・ 外光（昼光）利用 ・ 初期照度補正 ・ 段階調光 ・ 連続調光 設計照度は J I S による。												

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
11 拡 声 設 備	1 放 送 設 備	・ 一般用 ・ 非常一般兼用	14 テ レ ビ 電 波 障 害 調 査	1 調 査 仕 様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。	16 防 犯 設 備	1 工 事 範 囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器取付
	2 増 幅 器	Hi形増幅器（ W 局）		2 調 査 機 関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。		2 警 戒 方 式	・ 監視カメラ ・ センサー ・ 別途機械警備
	3 形 式	・ ラック形 ・ 卓上型 ・ 壁掛形		3 調 査 内 容	・ 事前調査 ・ 中間調査 ・ 事後調査		3 監視カメラ	・ 旋回装置 ・ モニタ装置 ・ 録画装置 伝送方式 ・ デジタル同軸伝送方式 ・ ネットワーク ・ アナログ
	4 ス ピ ー カ	一般放送のスピーカは図面に特記なき場合は下記による。 壁掛け形 SW1Hi-3V0 天井埋込形 SC6Hi-1（3）V3M 非常放送の場合は消防法適合品とし、形状は一般放送と同様とする。						
	5 放 送 回 路	時報及び自動放送（体操放送等）は音量調節器を経由した回路とする。（一斉放送回路は使用しない）						
	6 接 続	卓上型増幅器の場合、増幅器と外部配線（壁ボックス等）の接続は、コネクタによる。						
12 誘 導 支 援 装 置	1 音声誘導装置	検出部 案内表示部 ・ 磁気式 ・ 音声 ・ 無線式 ・ 音響 ・ 画像認識	15 防 災 設 備	A 火災報知設備等		17 雷 保 護 設 備	1 受雷部システム	・ 突針 ・ 水平導体 ・ メッシュ導体 ・ 棟上げ導体
	2 トイレ等呼出装置	呼出ボタンは呼出確認ができるものとし、引き紐付とする。		1 種 別	・ 自動火災報知設備 ・ 非常警報設備 ・ 漏電火災警報器 ・ 火災通報装置 ・ 自動閉鎖装置		2 引下導線システム	・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用
	3 インターホン種別	・ インターホン ・ テレビインターホン		2 受 信 機	・ P型1級 ・ 単独形 ・ P型2級 ・ 複合形（ ）回線 ・ R形		3 接地システム	・ 板状接地極 ・ 垂直接地極 ・ 放射状接地極（水平接地極） ・ 環状接地極 ・ 網状接地極 ・ 構造体利用接地極
	4 形 式	親機 子機 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 ・ 卓上形 ・ 点字説明付 ・ 確認灯付		3 副 受 信 機	（ ）窓		4 保護レベル	・ I ・ II ・ III ・ IV
	5 用 途	・ 庁内連絡 ・ 外部受付 ・ 身体障がい者用兼用		4 発信器、ベル、ランプ	・ 単独設置 ・ 総合盤 ・ 消火栓ボックスに組込		5 大地抵抗率の測定	工事着手時に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。
	5 消火ポンプ起動	・ 発信器連動 ・ 起動押しボタン方式 ・ 消火栓開閉レバー連動（リミットスイッチ）						
13 テ レ ビ 共 同 受 信 設 備	1 アンテナ	・ UHF ・ 標準図による ・ BS/110°CS ・ 一般品 ・ CS ・ FM	16 屋 外 設 備	6 非常警報装置	・ 複合装置 ・ 一体形 ・ 単独設置	18 屋 外 設 備	A 構内線路	
	2 機 器	分岐器、分配器及び直列ユニットは、CS、BS、UHF・FM共用型とする。		7 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による 警戒区域図（透明ケースに収納）		1 施 工 方 式	・ 地中配線 ・ 架空配線
	3 増 幅 器	・ 標準図による ・ 一般品（金属ケース）		B 誘 導 灯 等			2 埋 設 標	標準図（電力75）により設置する。
	4 アンテナマスト	・ 標準図による ・ 自立型 ・ 設計図による ・ 壁面取付形		1 誘導灯の種別	・ 避難口 ・ 通路 ・ 客席		3 ハンドホール	ブロックハンドホールとする。
	5 アンテナ基礎及びボルト	基 礎 ボルト ・ 本工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 別途工事		2 誘 導 標 識	・ 避難口 ・ 通路 誘導標識は所轄の消防署と協議の上、取付とする。		4 地中埋設深さ	・ GL-600mm（ ） ・ GL-300mm（ ）
	6 受 像 端 子	・ 単独 ・ コンセントと同一プレート		C ガス漏れ警報設備			5 支 線	ただし、舗装のある場合は、上記によらず舗装下面から300mm以上とする。 埋設深さは、地表面又は路盤下より配管上端までとする。 支線のある場合は支線ガードを設置する。
7 ブ ラ グ	・ 受像端子に付属させる	1 警 報 対 象	・ LPGガス ・ 都市ガス	6 埋 戻 し 土	地中配管の上下50mmを砂又は良質土にて保護を行う。 良質土は、根切り土中の良質土を使用する。			
14 テ レ ビ 共 同 受 信 設 備			17 雷 保 護 設 備	2 警 報 方 式	・ 現地警報 ・ 現地警報及び中央警報 ・ 遮断弁連動	18 屋 外 設 備	B 屋外機器	
				3 警報器電源	・ AC100V ・ DC 24V		1 機 器	・ 分電盤 ・ 端子盤 ・ コンセント ・ スピーカ ・ 時計
				4 受 信 機	・ 単独 ・ 火報受信機等と一体		2 外灯区分開閉器	配線用遮断器（トリップ機構無し）をポール内部に設置する。
				5 ガス遮断弁	・ 本工事 ・ 別途工事		3 ポール基礎	・ 設計図による ・ 埋込式 ・ 標準図による ・ ベースプレート式
				6 予 備 品 等	標準仕様書によるほか下記による 警戒区域図（透明ケースに収納）			

機 器 取 付 高			
機器の取付高は、下表を標準とする。ただし、監督職員の指示により変更することがある。			
	名 称	測 点	取 付 高（mm）
電 力	取引用計器	地 上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器盤	床 上～中 心	1,800～2,200
電	分電盤、OA盤、実験盤	〃	（上端1,900以下）1,500
	スイッチ	〃	1,300
	スイッチ（宿舍）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（宿舍居室内）	〃	150
	〃（台上）	台 上～中 心	150
	〃（土間）	床 上～中 心	800～1,300
灯	ブラケット（一般）	〃	2,100～2,300
	〃（踊場）	〃	2,000～2,500
	〃（鏡上）	鏡上端～中 心	150
	多機能トイレスイッチ	床 上～中 心	900
動 力	壁掛形制御盤	〃	（上端1,900以下）1,500
	手元開閉器	〃	1,500
力	操作スイッチ	〃	1,300
	端子盤	床 上～下 端	300
構 内 交 換	保安器箱（一般）	天井下～上 端	200
	壁付位置ボックス（和室）	床 上～中 心	150
換	〃（壁掛）	〃	1,300
	壁掛形観時計	〃	（上端1,900以下）1,500
拡 声 時 計	子時計	天井下～上 端	200
	壁掛形スピーカ	〃	200
計	壁付アッテネータ	床 上～中 心	1,300
	壁付位置ボックス（一般）	〃	1,300
誘 導 支 援	〃（和室）	〃	150
	壁付インターホン（一般）	〃	1,300
	〃（身障者用）	〃	1,000～1,100
表 示	押しボタン（多機能トイレ）	〃	900（300）
	壁付発信器	〃	1,300
テレビ 共 同 受 信	機器収納箱	天井下～上 端	200
火 災 報 知	直列ユニット（一般）	床 上～中 心	300
	直列ユニット（和室）	〃	150
	受信機、副受信機	床 上～中 心	1,500
	総合盤	〃	1,200～1,500
ガ ス 検 知	発信器	〃	800～1,500
	ベル	〃	2,300
	表示灯	〃	2,100
ガ ス 検 知	検知器（都市ガス）	天井下～下 端	300
	検知器（LPGガス）	床 上～上 端	300
	ガス漏れ中継器	天井下～中 心	300

（注）誘導支援設備の押しボタン（多機能トイレ）の取付高さ（300）は床に転倒した時を考慮した高さ

（注）誘導支援設備の押しボタン（多機能トイレ）の取付高さ（300）は床に転倒した時を考慮した高さ



【 工事概要及び特記 】

- ・ 既設蛍光灯、白熱灯、HID照明器具をLED器具に更新する。
- ・ アリーナの高天井照明器具はオートリフターも撤去する。
- ・ オートリフター制御盤及び操作スイッチを撤去する。
- ・ 配線は既設を再利用し、一部配線器具を更新する。
- ・ アリーナ高天井照明器具用の無線調光用コントローラ及びライトマネージャーを増設する。
- ・ アリーナの空冷ヒートポンプエアコンの新設に伴い、既存高圧受変電設備（受電キュービクル）を更新する。
- ・ 受電キュービクル基礎を増し打ち、フェンスを拡張する。
- ・ 高圧ケーブル（受電・分枝）を更新する。
- ・ アリーナの空冷ヒートポンプエアコンの電源及び個別リモコン配管、集中リモコンの配線を新設する。
- ・ アリーナの空冷ヒートポンプエアコンの電源及び操作線を新設する。

- ・ 作業の時間は「午前8時30分～午後5時」とする。
- ・ 作業の日程、作業時間、施工実施方法については監督職員及び施設管理者と事前協議を行うこと。
- ・ 施工実施時、第三者が施工箇所に立ち入らないよう適切な処置を講ずること。
- ・ 騒音を伴う作業は監督職員及び瀬節管理者と事前協議を行うこと。
- ・ 撤去時、PCB使用と疑わしい照明器具は調査し、監督職員に報告すること。
- ・ 配管用貫通孔はダイヤモンドカッターで行い、事前に鉄筋探査を行うこと。

配置図 1:500



：今回工事範囲

project name

令和8年度津和野中学校屋内運動場
LED化及び空調設備等設置工事

signature

sheet name

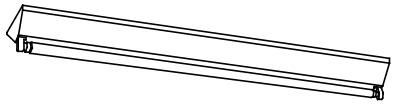
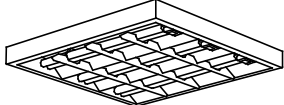
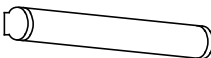
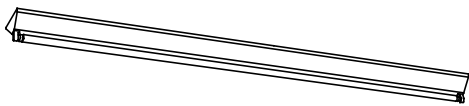
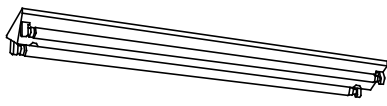
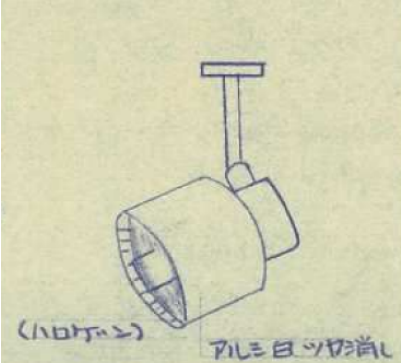
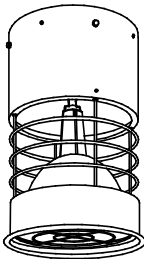
配置図

scale

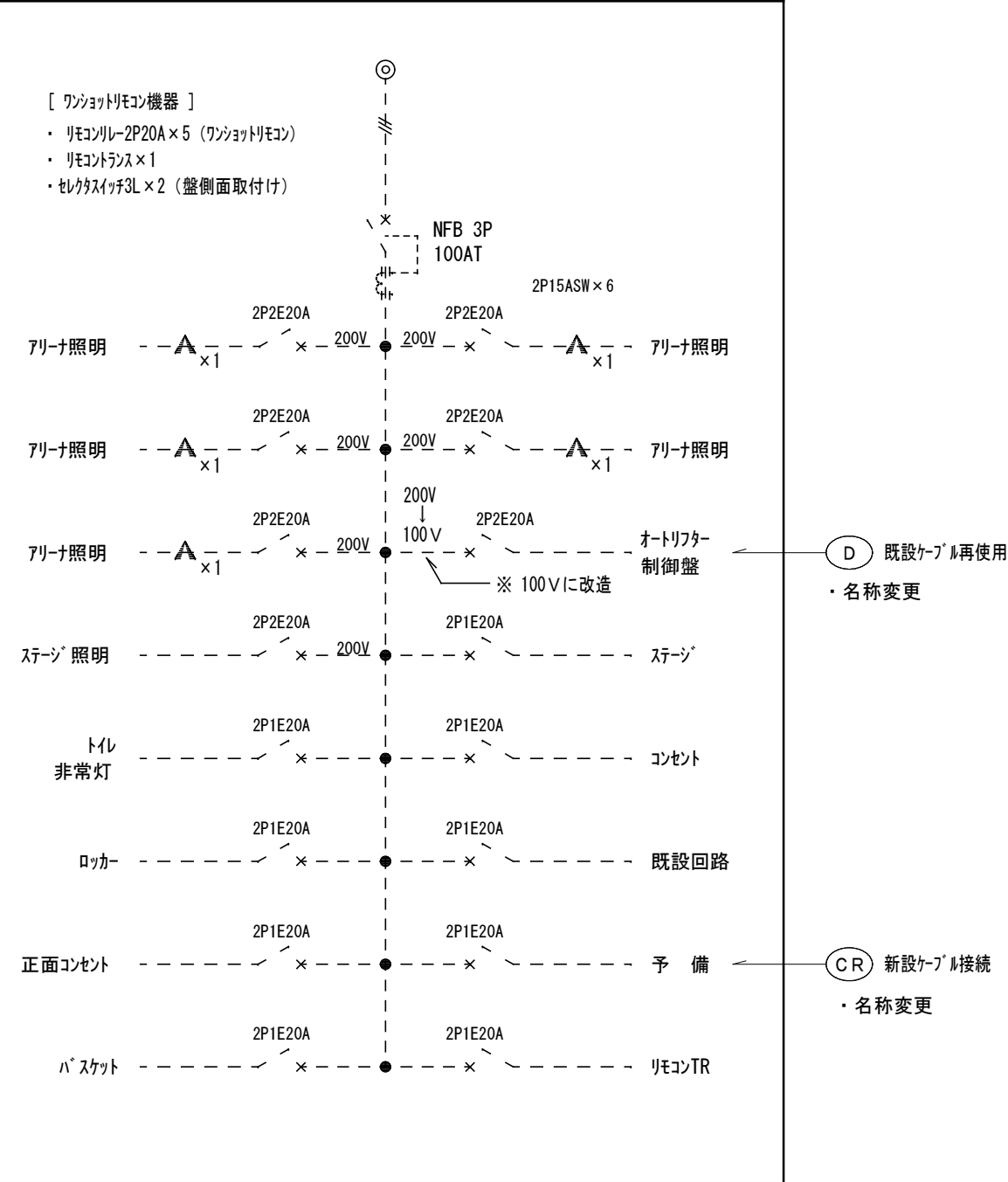
sheet no

E 5

【 照明器具姿図（既設） 】

A 3 2 1	F H F 3 2 W × 1 逆富士	B 2 3 3	F H P 3 2 W − 3 直付け	C 2 1	F L 2 0 W − 1 ブラケット 昼白色	D 2 1 c	F L 2 0 W − 1 ウオールライト 天井付
幅120・長1250・高88		幅470・長470・高40		幅89・長628・高100		(防雨型) 幅101・長700・高95	
							
F S A 4 1 0 3 8 F V P H 9		N H U 3 3 5 6 5 A M S 9		H W 2 6 2 0 C E L		O G 0 4 1 5 3 0 N	
E 4 0	I L 4 0 W シーリングライト（防湿・防雨型）	a 1 1 0	F L 1 1 0 W × 1 逆富士 AC200V	b 4 0 2	F L 4 0 W × 2 逆富士	e 2 1	F L 2 0 W × 1 ブラケット（防雨型）
幅φ104・高195							
L W 5 6 2 0 3 T							
f 1 0 0	I L 1 0 0 W （ハロゲン） × 1 スポットライト	g 6 0	I L 6 0 W × 1 笠付シーリングライト				
							
X 2 9 0	セラメタH 290W 高天井用						
幅φ433・高660							
							
ランプ光束：33,500LM							
X 4 1 Y G 4 4 S							

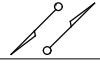
【 盤結線図（既設） 】

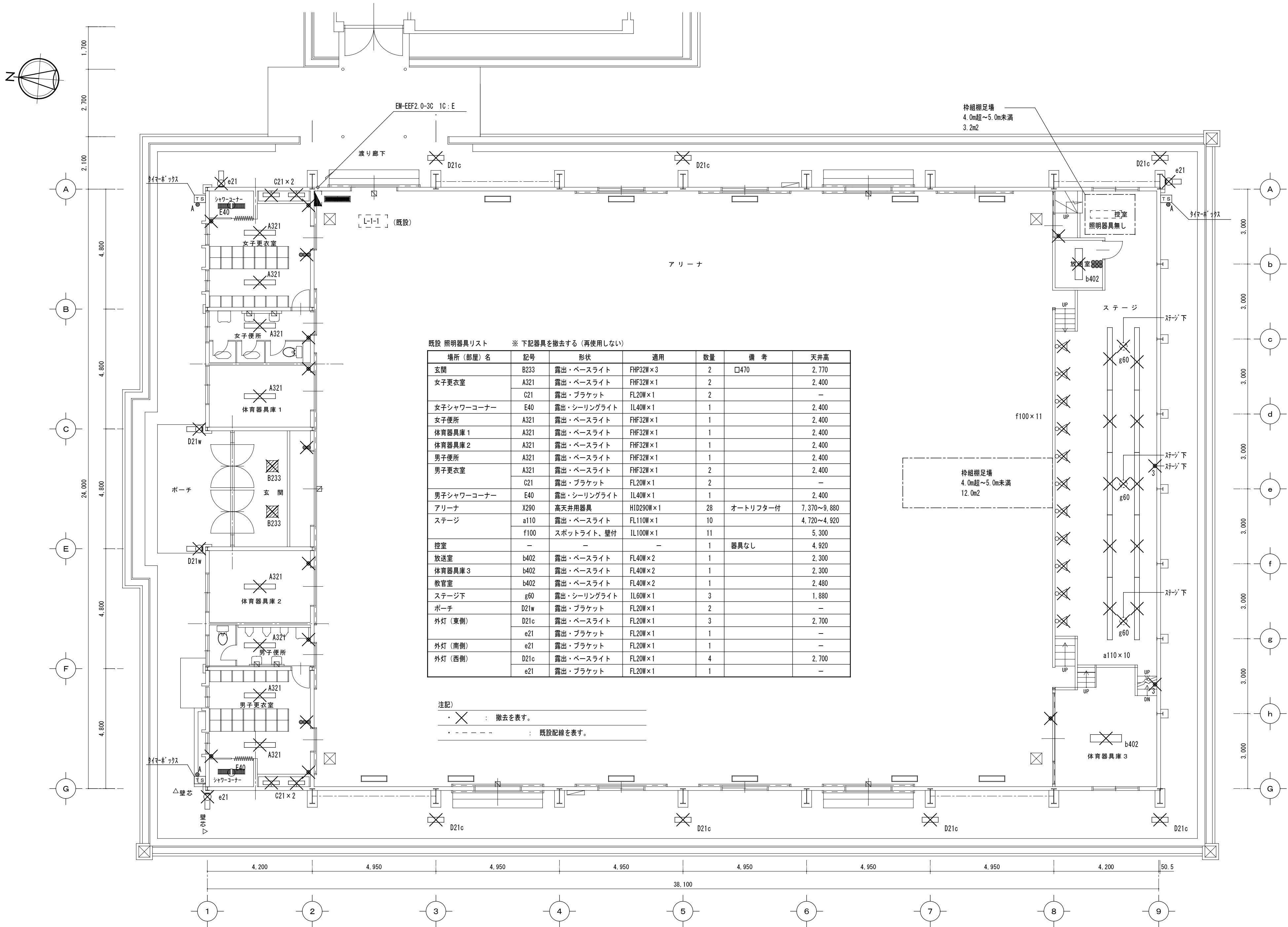


【 既設盤改造内容 】

- ・ オートリフター電源回路を200Vから100Vに変更及び名称を「アリーナ調光制御」に変更。
- ・ 予備回路に集中リモコン電源を接続及び名称を「空調集中リモコン」に変更。

【 凡例 】

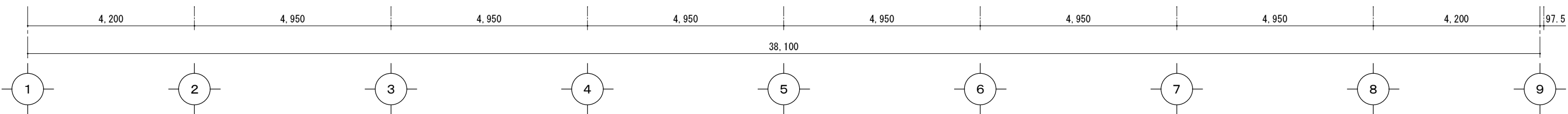
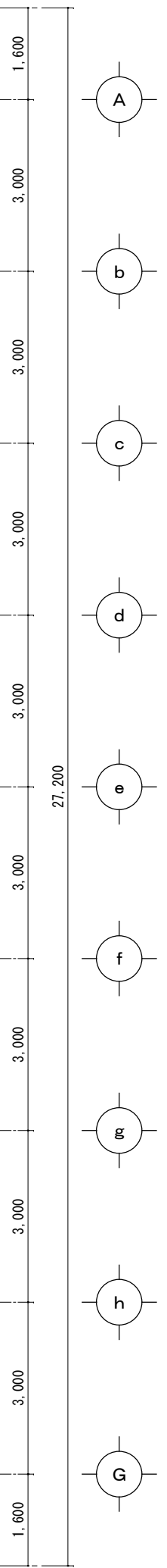
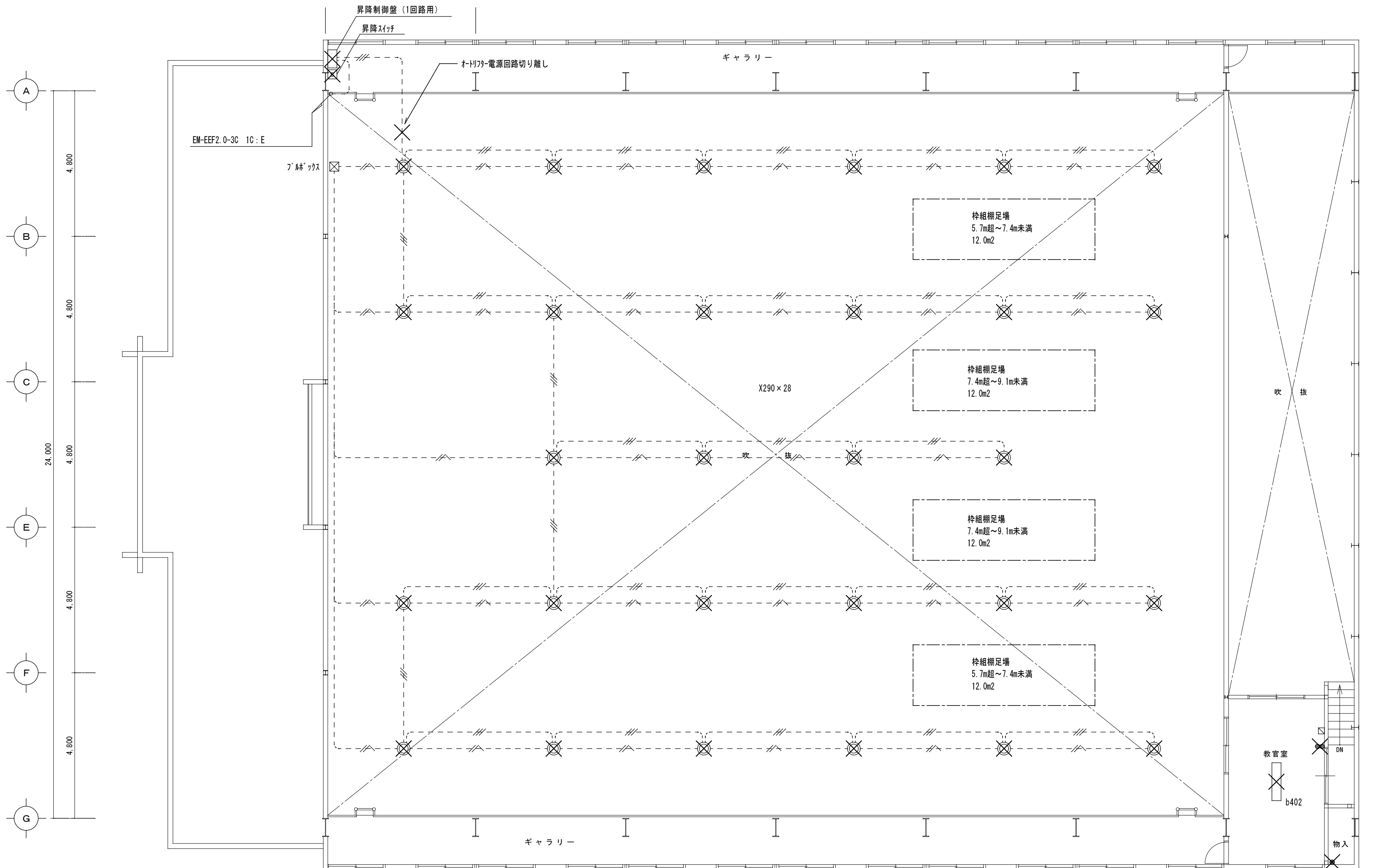
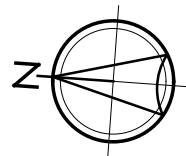
記 号	名 称	仕 様
	電灯分電盤（L1-1）	詳細は盤結線図を参照
	埋込スイッチ	1P15A×1 既設撤去
	埋込スイッチ	3W15A×1 既設撤去
	カバープレート	1連
	立上り、立下げ	



既存 照明器具リスト ※ 下記器具を撤去する（再使用しない）						
場所（部屋）名	記号	形状	適用	数量	備 考	天井高
玄関	B233	露出・ベースライト	FHP32W×3	2	□470	2.770
女子更衣室	A321	露出・ベースライト	FHF32W×1	2		2.400
	C21	露出・ブラケット	FL20W×1	2		—
女子シャワーコーナー	E40	露出・シーリングライト	IL40W×1	1		2.400
女子便所	A321	露出・ベースライト	FHF32W×1	1		2.400
体育器具庫1	A321	露出・ベースライト	FHF32W×1	1		2.400
体育器具庫2	A321	露出・ベースライト	FHF32W×1	1		2.400
男子便所	A321	露出・ベースライト	FHF32W×1	1		2.400
男子更衣室	A321	露出・ベースライト	FHF32W×1	2		2.400
	C21	露出・ブラケット	FL20W×1	2		—
男子シャワーコーナー	E40	露出・シーリングライト	IL40W×1	1		2.400
アリーナ	X290	高天井用器具	HID290W×1	28	オートリフター付	7.370～9.880
ステージ	a110	露出・ベースライト	FL110W×1	10		4.720～4.920
	f100	スポットライト、壁付	IL100W×1	11		5.300
控室	—	—	—	1	器具なし	4.920
放送室	b402	露出・ベースライト	FL40W×2	1		2.300
体育器具庫3	b402	露出・ベースライト	FL40W×2	1		2.300
教官室	b402	露出・ベースライト	FL40W×2	1		2.480
ステージ下	g60	露出・シーリングライト	IL60W×1	3		1.880
ポーチ	D21w	露出・ブラケット	FL20W×1	2		—
外灯（東側）	D21c	露出・ベースライト	FL20W×1	3		2.700
	e21	露出・ブラケット	FL20W×1	1		—
外灯（南側）	e21	露出・ブラケット	FL20W×1	1		—
外灯（西側）	D21c	露出・ベースライト	FL20W×1	4		2.700
	e21	露出・ブラケット	FL20W×1	1		—

注記）
・×：撤去を表す。
・---：既設配線を表す。

1 階平面図 1:100



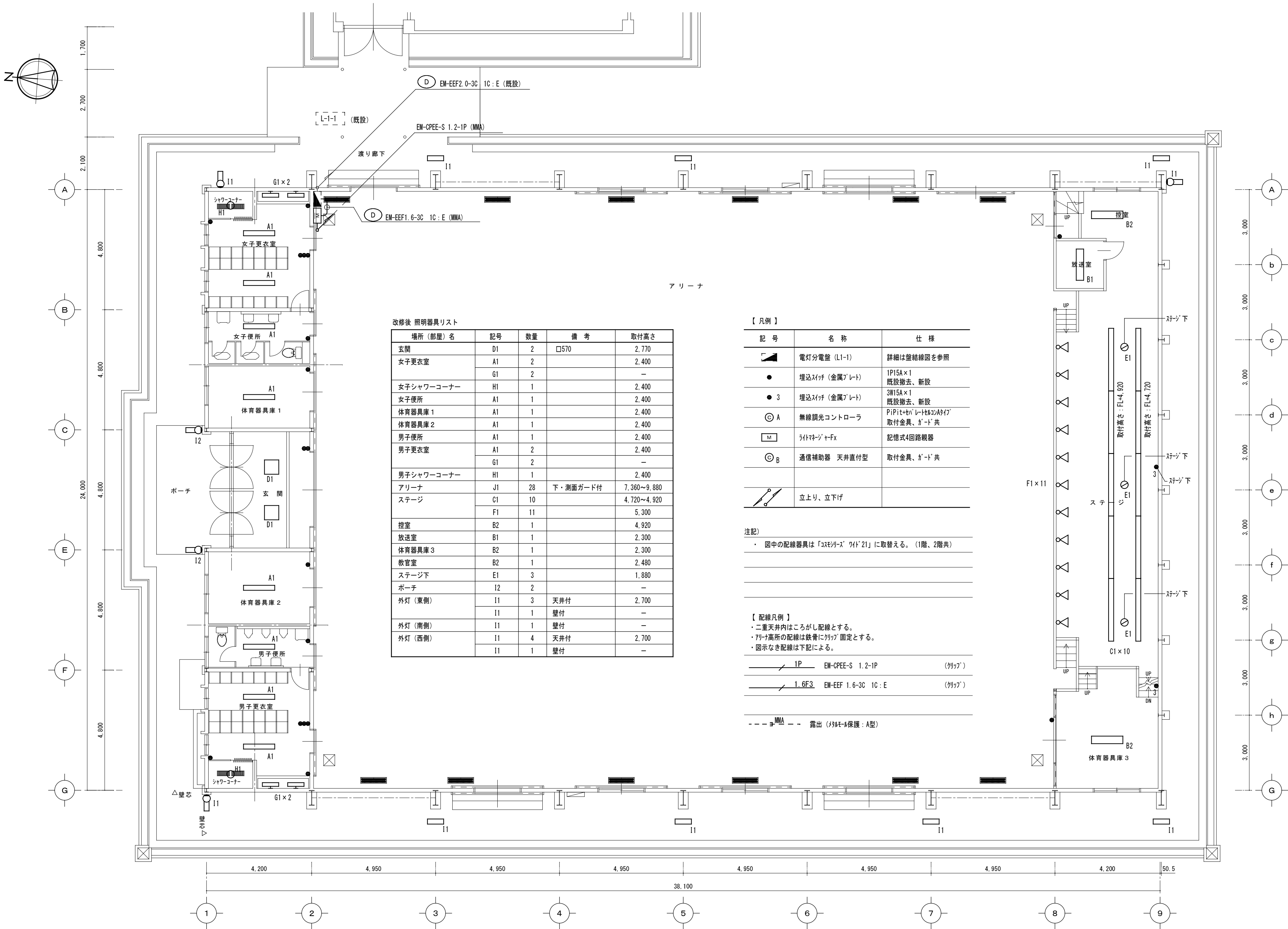
注記)

- ・ : 撤去を表す。
- ・ 高天井用照明器具 (X290) はオートリフターも撤去する。
- ・ - - - : 既設配線を表す。

2 階平面図 1:100

【 照明器具姿図（改修後） 】

A 1	直付型 4000LM 25.1W LED（昼白色） LSS9-4-37	B 1	直付型 4000LM 25.1W LED（昼白色） LSS10-4-37	C 1	直付型 3200LM 20.3W LED（昼白色） 参考品番：XLX860DENJ LE9 相当品	D 1	直付型 6660LM 44.0W LED（昼白色） 参考品番：XL473CBV LA9 相当品	E 1	直付型 850LM 9.6W LED（昼白色） 参考品番：LGB51570K LE1 相当品	F 1	スポットライト 1000LM 9.3W LED（昼白色） 参考品番：XAS5020N CC1 相当品	G 1	ブラケット 1100LM 12.0W LED（昼白色） 参考品番：LGB85030 LE1 相当品
	 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 電源装置はライトバー側に内蔵		 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 電源装置はライトバー側に内蔵		 定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 電源装置はライトバー側に内蔵		 □570、調光可能タイプ（約10～100%） 電圧：100～242V 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） 枠：銅板（高反射白色粉体塗装） 格子ルーバ：亜鉛銅板（高反射白色粉体塗装） 点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白）		 電圧100V 天井直付型、拡散タイプ カバー：アクリル（乳白） 引掛シーリング方式		 LEDフラットランプφ70 集光タイプ、電圧100V セード：プラスチック（ホワイト） 可動範囲上下92度、回転方向360度 位相制御式（2線式）		 電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） スイッチ付、両面化粧タイプ W=580 H=65 出しろ64
H 1	直付型 410LM 6.2W LED（電球色） 参考品番：LGVW85067 LE1 相当品	I 1	ウォールライト 990LM 10.0W LED（昼白色） LBF3MP/RP-2-06	J 1	高天井用 21300LM 113.0W LED（昼白色） 参考品番：NYW20252 RZ9 相当品	J 1	下面ガード 参考品番：NYK00116 相当品	J 1	側面ガード 参考品番：NYK00114 相当品				
	防湿・防雨型 電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型、ネジ込み方式 カバー：アクリル（乳白）		ウォールライト 1480LM 14.9W LED（昼白色） LBF3MP/RP-2-13 防湿・防雨型 LED内蔵、電源ユニット内蔵 電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23		 電圧100～242V Pipit調光、広角タイプ、直付型、電源内蔵型 本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明）、アーム：亜鉛銅板 約5～100%連続調光、落下防止ワイヤー付 器具本体（2.8kg）		 フレーム：銅材（亜鉛メッキ仕上）		 フレーム：銅材（亜鉛メッキ仕上）				
Ⓒ A	コントローラ Pipit+セバレートセルコンタイプ 参考品番：NQ23185K 相当品	A	Pipitプラス セバレートセルコン用防球ガード 参考品番：NK23062 相当品	M	Pipitプラス ハンディライコン 参考品番：NK25091 相当品	M	ライトマネージャーフx 記憶式4回路親器 参考品番：NQ28841K 相当品	Ⓒ B	通信補助器 天井 参考品番：NK23081 相当品	B	Pipitプラス セバレートセルコン用防球ガード 参考品番：NK23062 相当品	B	通信補助器 壁 参考品番：NK23010 相当品
	 セバレートセルコン用防球ガード、 セバレートセルコン用取付金具 共 定格電圧：AC100V～242V		 Pipitプラス セバレートセルコン用取付金具 参考品番：NK23060 相当品 		 リモコンホルダ同梱		 定格電圧：AC100V 調光回路数：4回路 操作シーン数：4シーン+OFF 適合スイッチボックス：JIS 4コ用金属製（カバー付）		 セバレートセルコン用防球ガード、 セバレートセルコン用取付金具 共 定格電圧：AC100V～242V		 Pipitプラス セバレートセルコン用取付金具 参考品番：NK23060 相当品 		 定格電圧：AC100V～242V



改修後 照明器具リスト				
場所（部屋）名	記号	数量	備 考	取付高さ
玄関	D1	2	□570	2,770
女子更衣室	A1	2		2,400
	G1	2		—
女子シャワーコーナー	H1	1		2,400
女子便所	A1	1		2,400
体育器具庫 1	A1	1		2,400
体育器具庫 2	A1	1		2,400
男子便所	A1	1		2,400
男子更衣室	A1	2		2,400
	G1	2		—
男子シャワーコーナー	H1	1		2,400
アリーナ	J1	28	下・測面ガード付	7,360～9,880
ステージ	C1	10		4,720～4,920
	F1	11		5,300
控室	B2	1		4,920
放送室	B1	1		2,300
体育器具庫 3	B2	1		2,300
教室	B2	1		2,480
ステージ下	E1	3		1,880
ポーチ	I2	2		—
外灯（東側）	I1	3	天井付	2,700
	I1	1	壁付	—
外灯（南側）	I1	1	壁付	—
外灯（西側）	I1	4	天井付	2,700
	I1	1	壁付	—

【 凡例 】

記 号	名 称	仕 様
■	電灯分電盤 (L1-1)	詳細は盤結線図を参照
●	埋込スイッチ (金属プレート)	1P15A×1 既設撤去、新設
● 3	埋込スイッチ (金属プレート)	3W15A×1 既設撤去、新設
⊙ A	無線調光コントローラ	PIPit+seプレートタイプ 取付金具、ガード 共
□ M	ライトセンサー-Fx	記憶式4回路検器
⊙ B	通信補助器 天井直付型	取付金具、ガード 共
↕	立上り、立下げ	

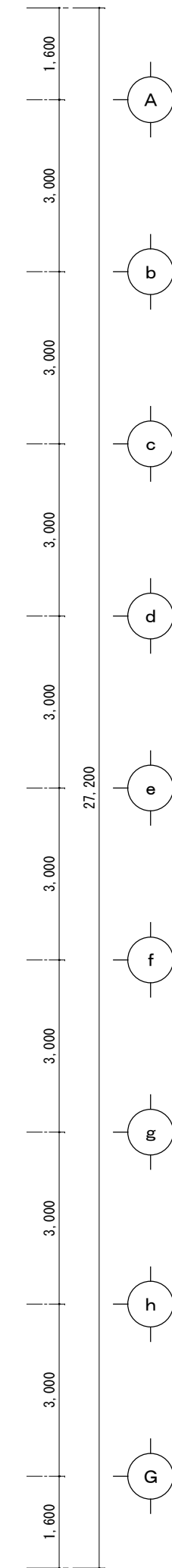
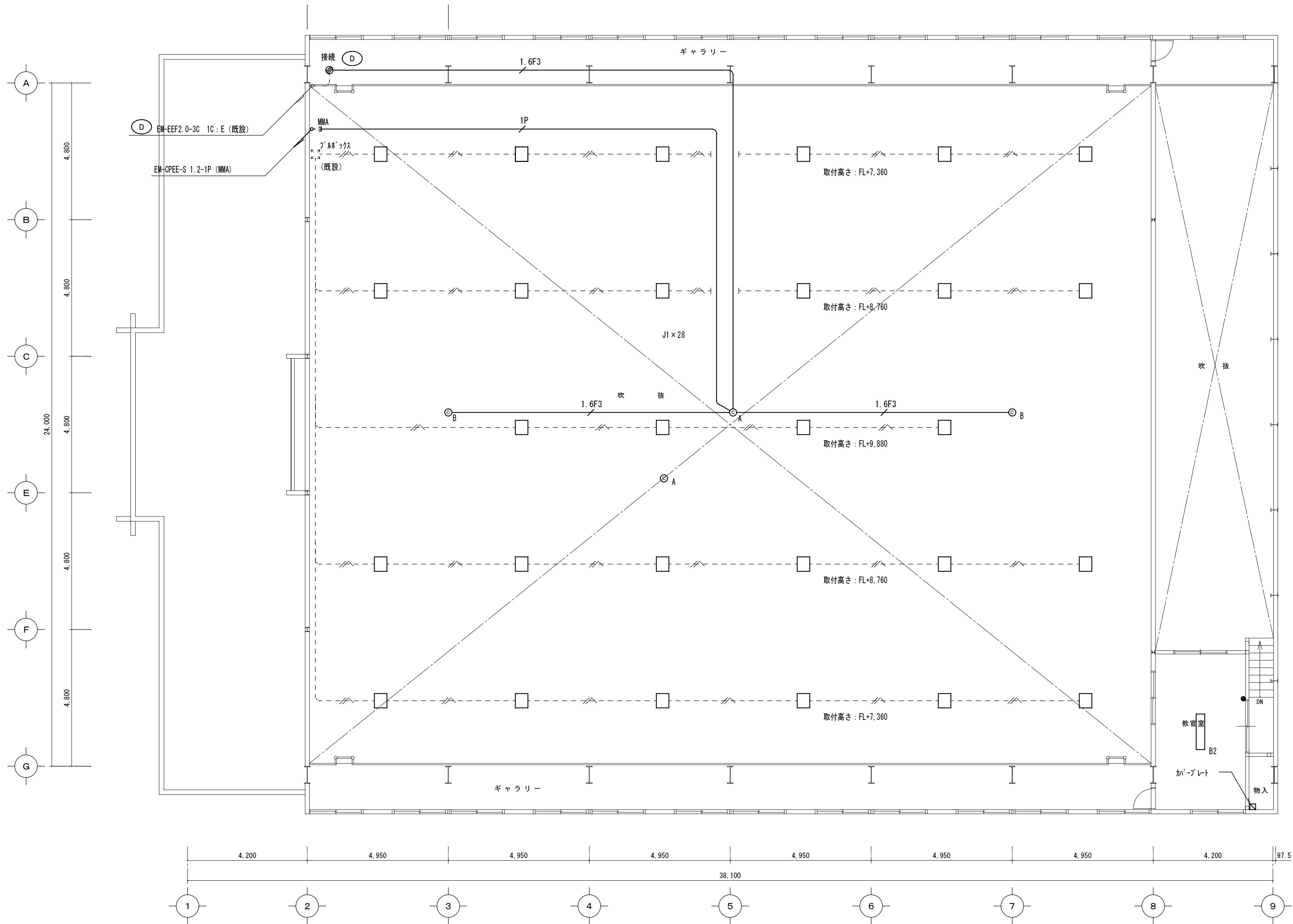
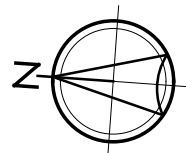
注記)

- 図中の配線器具は「コネクト」タイプ21」に取替える。(1階、2階共)

【 配線凡例 】

- 二重天井内はこしがし配線とする。
- アリーナ高所の配線は鉄骨にクリップ 固定とする。
- 図示なき配線は下記による。

1P	EM-CPEE-S 1.2-1P	(クリップ)
1.6F3	EM-EEF 1.6-3C 1C : E	(クリップ)
MMA	露出 (メルト-保護 : A型)	

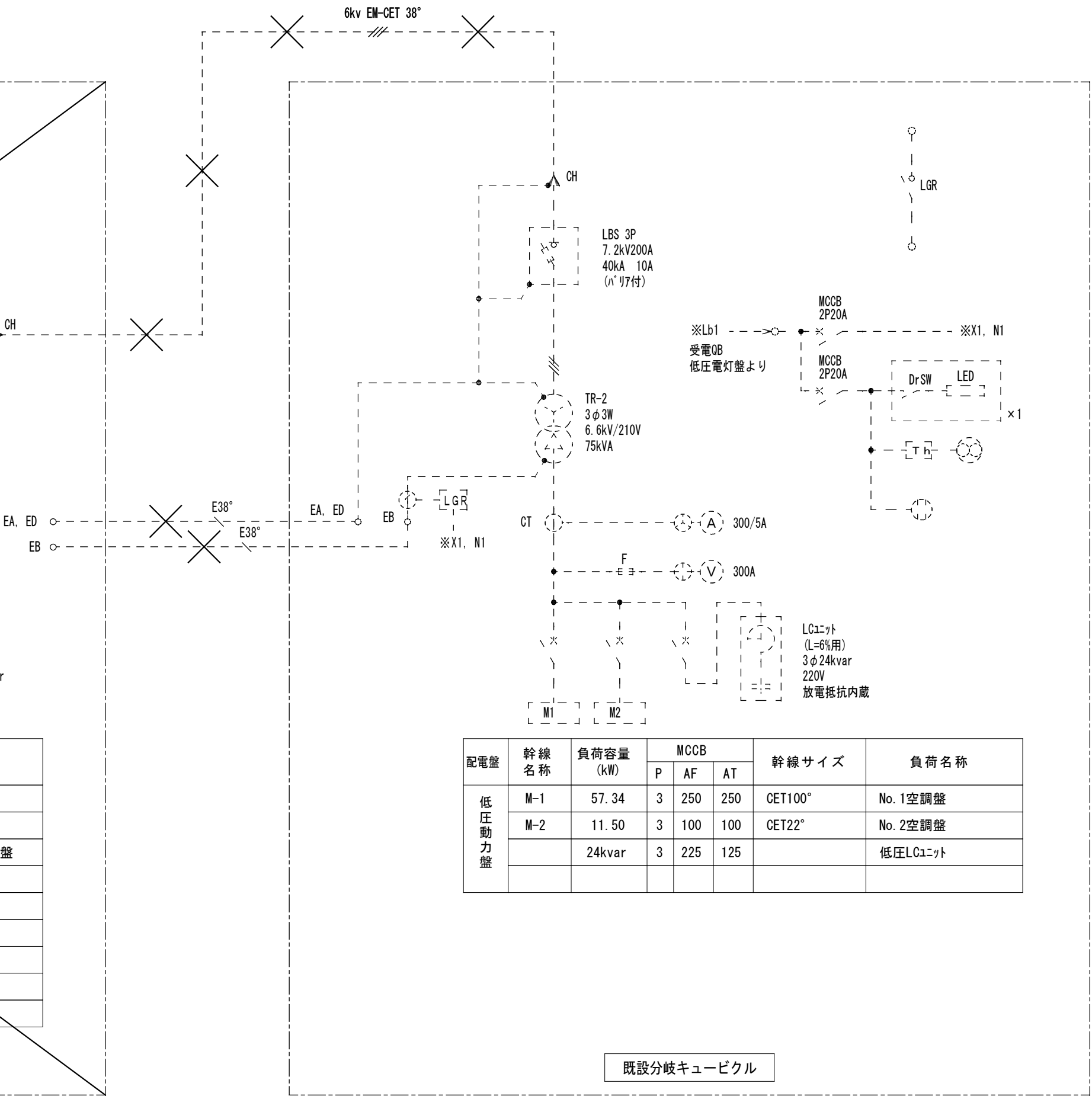
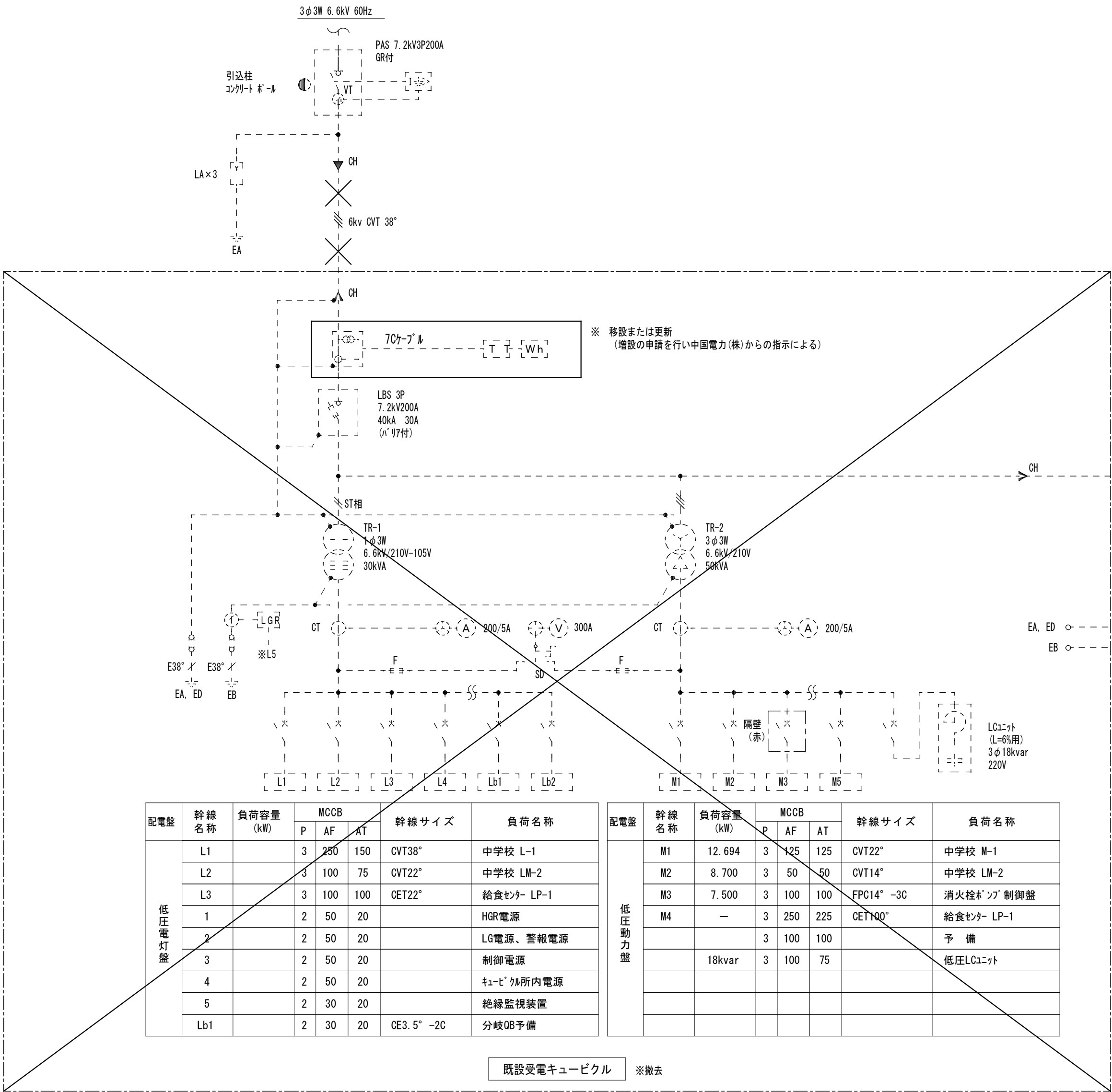


2 階平面図 1:100

キュービクル 高圧単結線図

【 凡 例 】

記 号	名 称	仕 様
✕	撤去を表す	



project name

令和8年度津和野中学校屋内運動場
LED化及び空調設備等設置工事

signature

sheet name

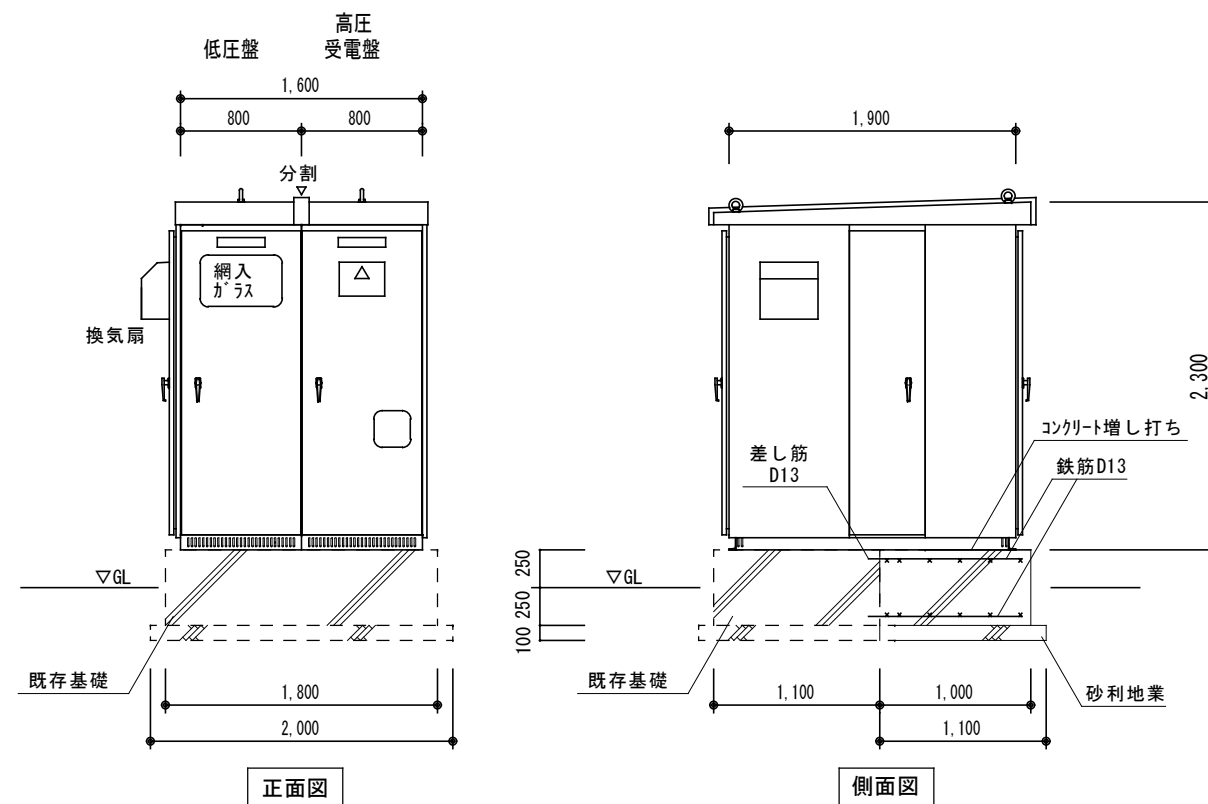
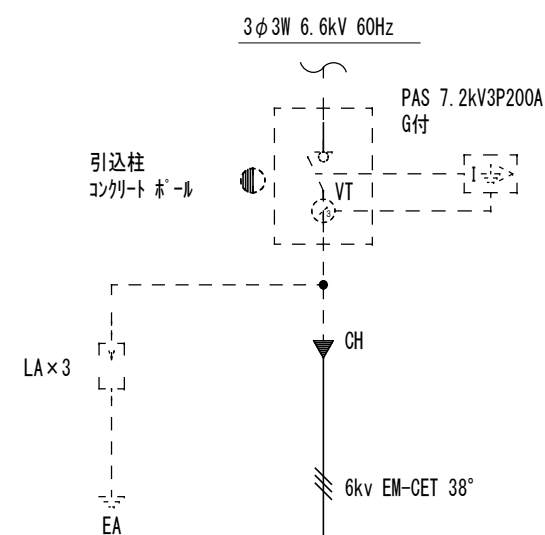
高圧単線結線図（既設）

scale

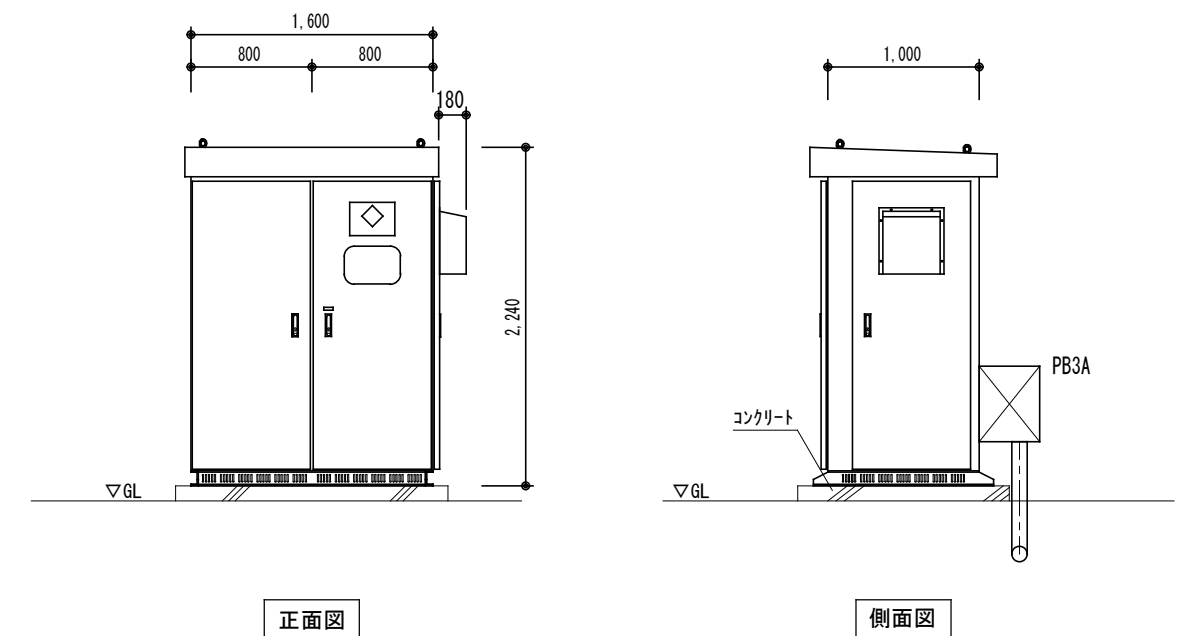
sheet no

E - 12

キュービクル 高圧単結線図

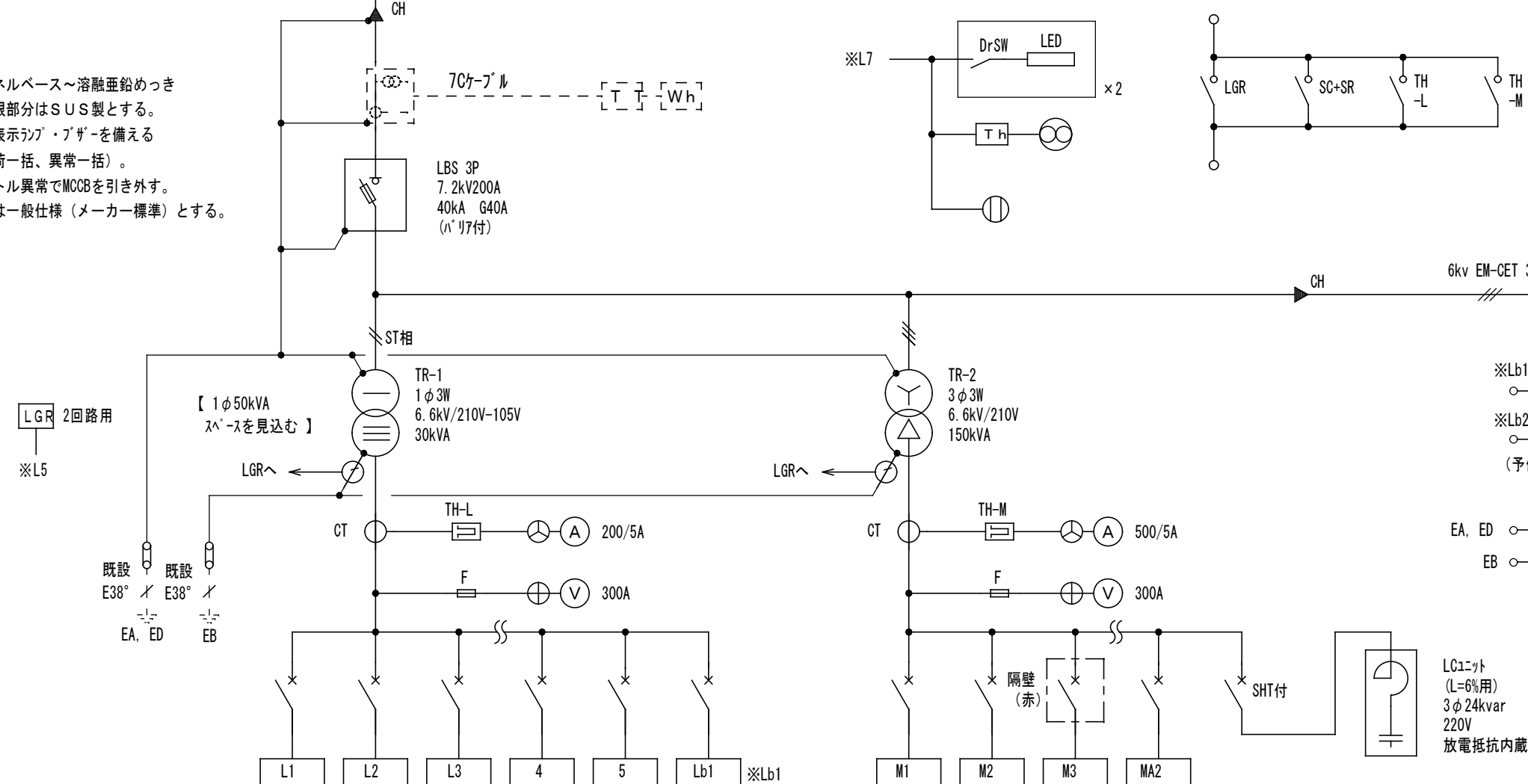


新設受電キュービクル参考姿図



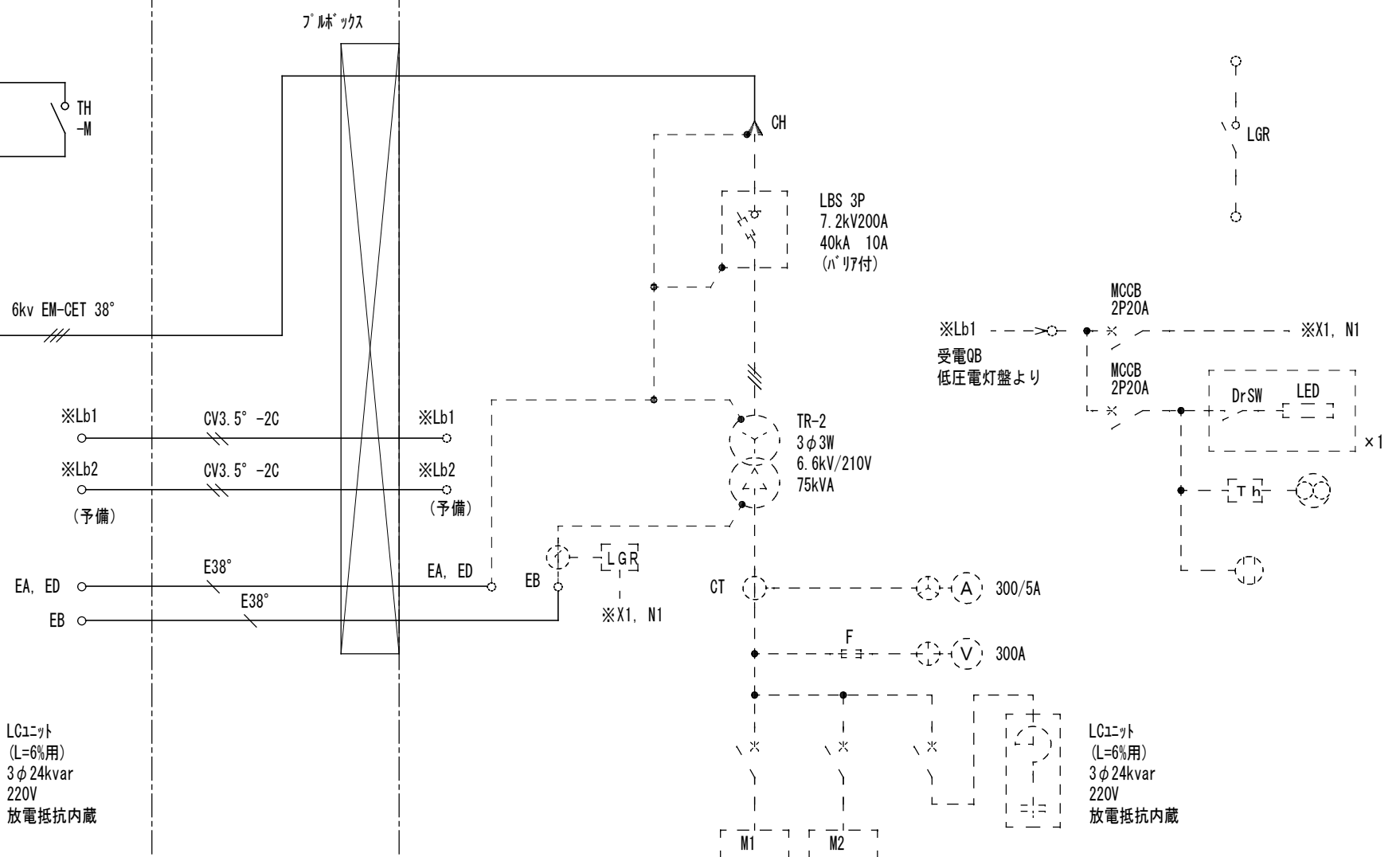
既設分岐キュービクル参考姿図 S=1/50

- 【特 記】
- ・ チャンネルベース→溶融亜鉛めっき
 - ・ 函体屋根部分はSUS製とする。
 - ・ 盤面に表示ラジエーターを備える
(過負荷一括、異常一括)。
 - ・ リアクトル異常でMCCBを引き外す。
 - ・ その他は一般仕様(メーカー標準)とする。



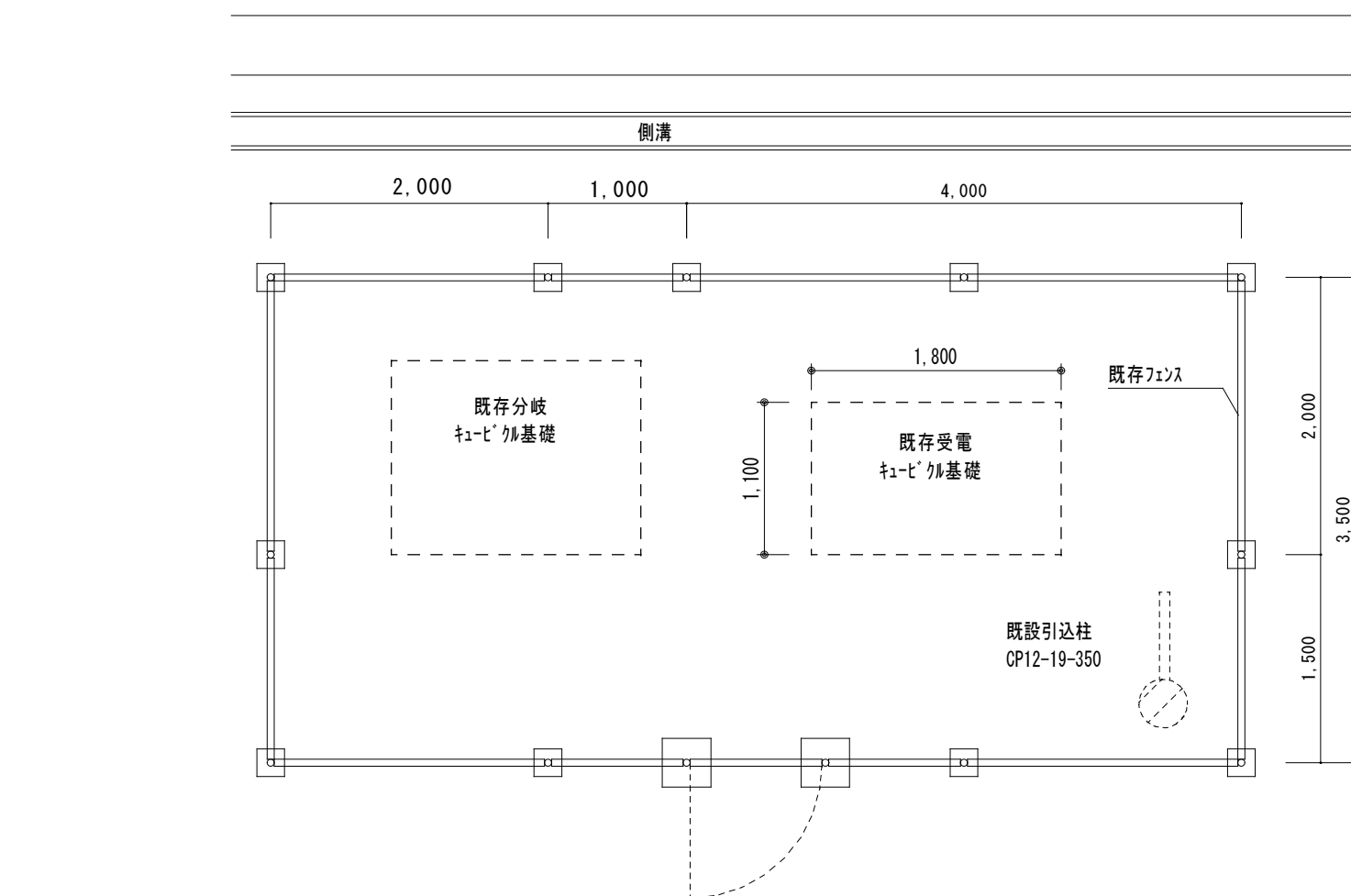
配電盤	幹線 名称	負荷容量 (kW)	MCCB			幹線サイズ	負荷名称
			P	AF	AT		
低圧電灯盤	L1		3	250	150	既設CVT38°	中学校 L-1
	L2		3	100	75	既設CVT22°	中学校 LM-2
	L3		3	100	100	既設CET22°	給食センター LP-1
	1		2	50	20		HGR電源
	2		2	50	20		LG電源、警報電源
	3		2	50	20		制御電源
	4		2	50	20		キュービクル所内電源
	5		2	50	20		絶縁監視装置
Lb1		2	50	20	既設CE3.5°-2C	分岐QB電源	

新設受電キュービクル

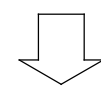


配電盤	幹線名称	負荷容量 (kW)	MCCB			幹線サイズ	負荷名称
			P	AF	AT		
低圧動力盤	M-1	57.34	3	250	250	CET100°	No.1空調盤
	M-2	11.50	3	100	100	CET22°	No.2空調盤
		24kvar	3	225	125		低圧LCユニット

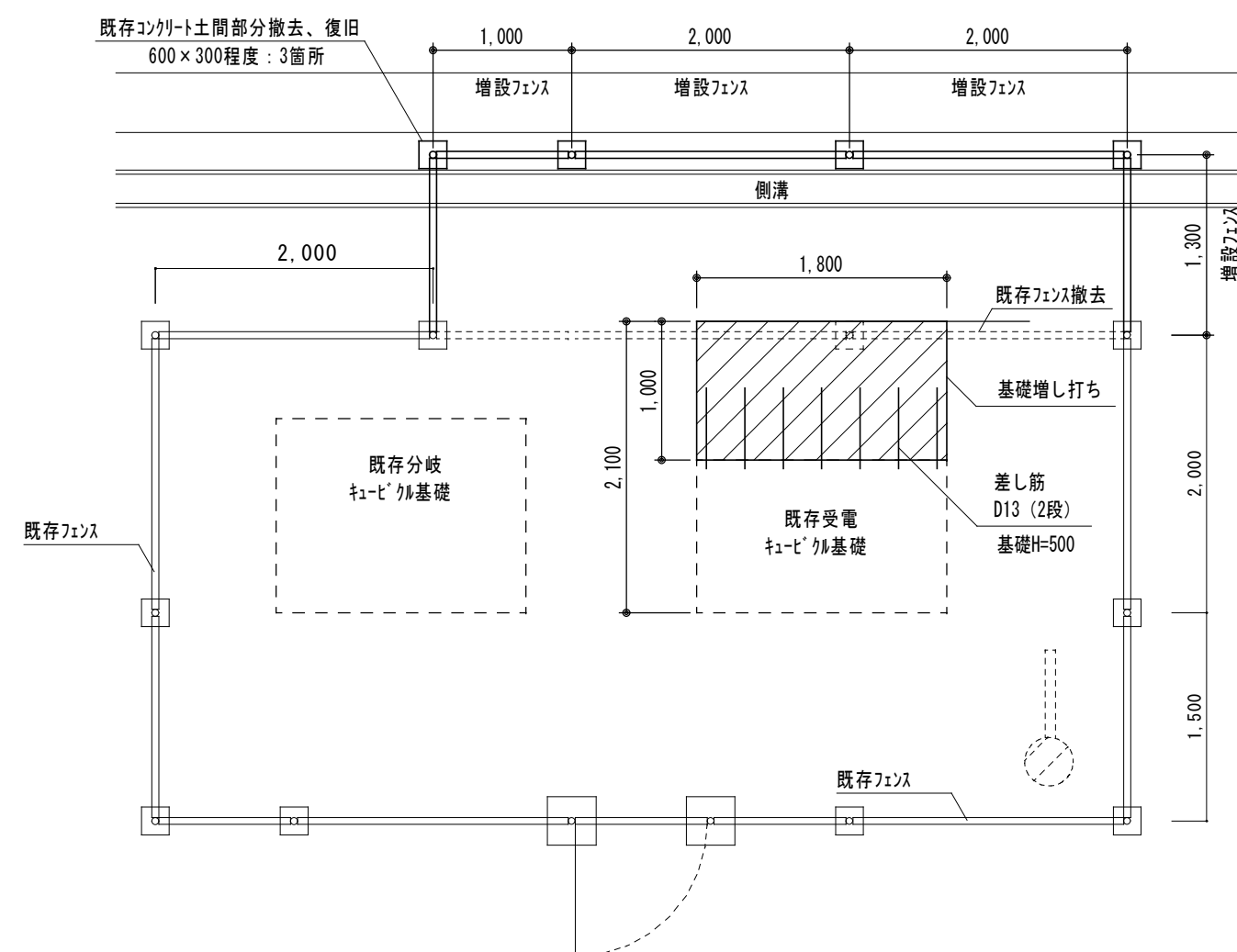
既設分岐キュービクル



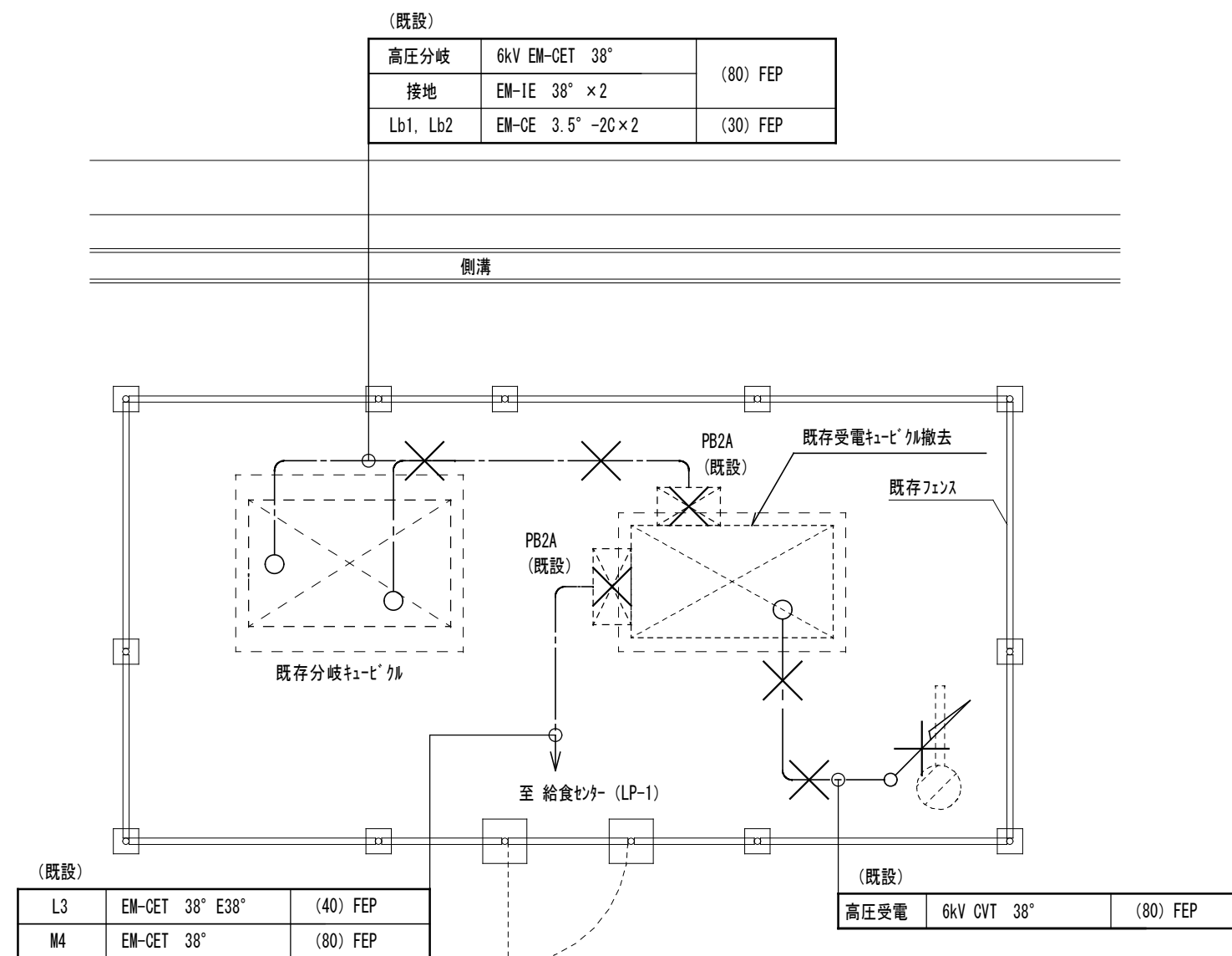
平面図 (既存)



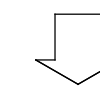
増設フェンス	
名 称	仕 様
PCフェンス	PC-A1800 H1,800
金 網	300g 亜鉛メッキ鉄線 3.2φ×56mm
コンクリート基礎	200×200×450



平面図 (改修後)



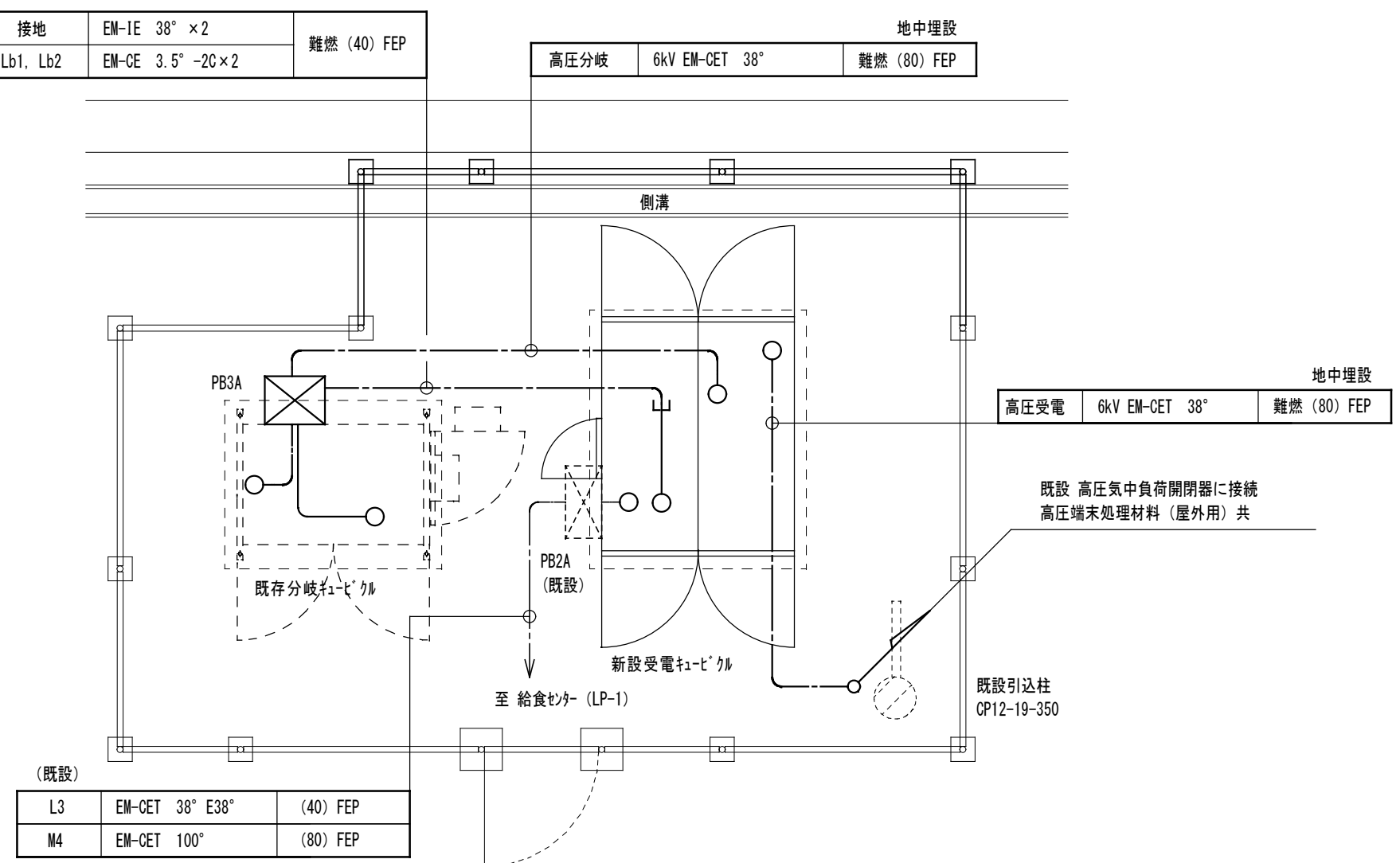
平面図 (既存)



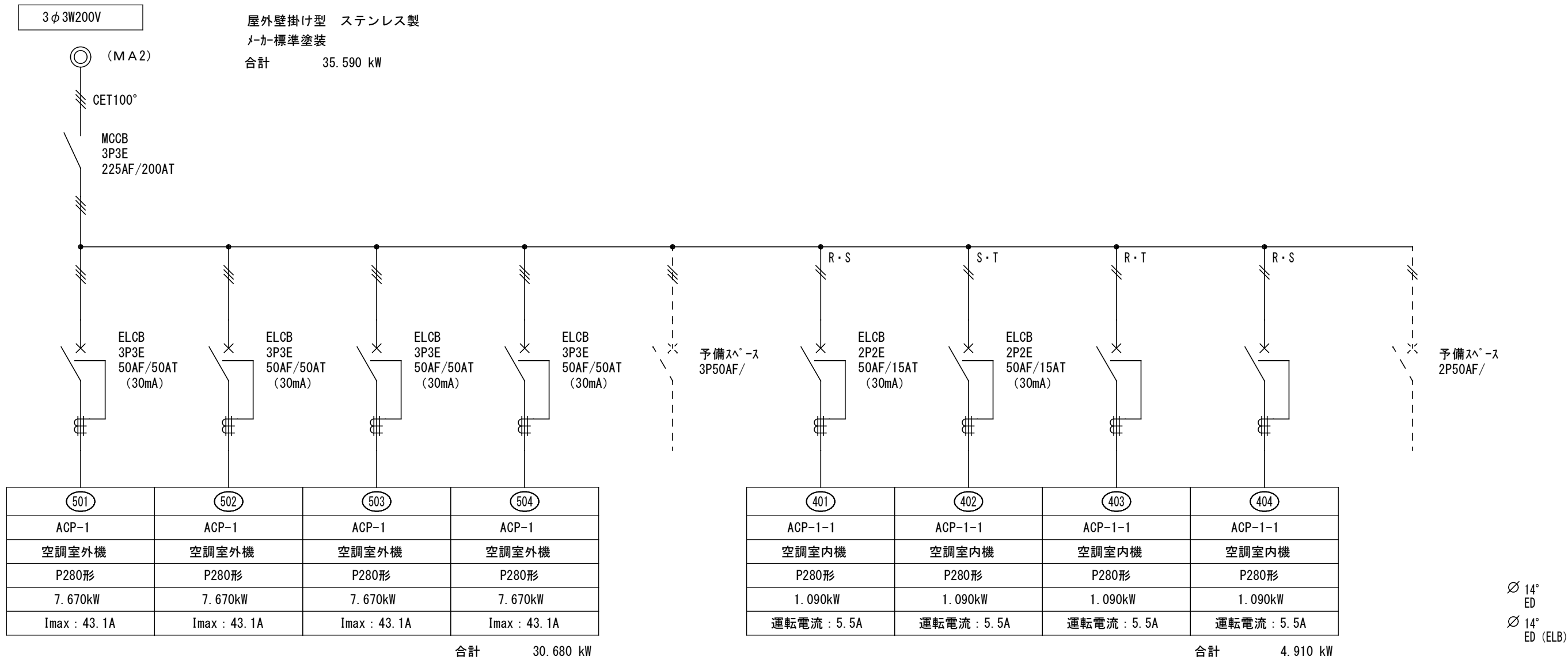
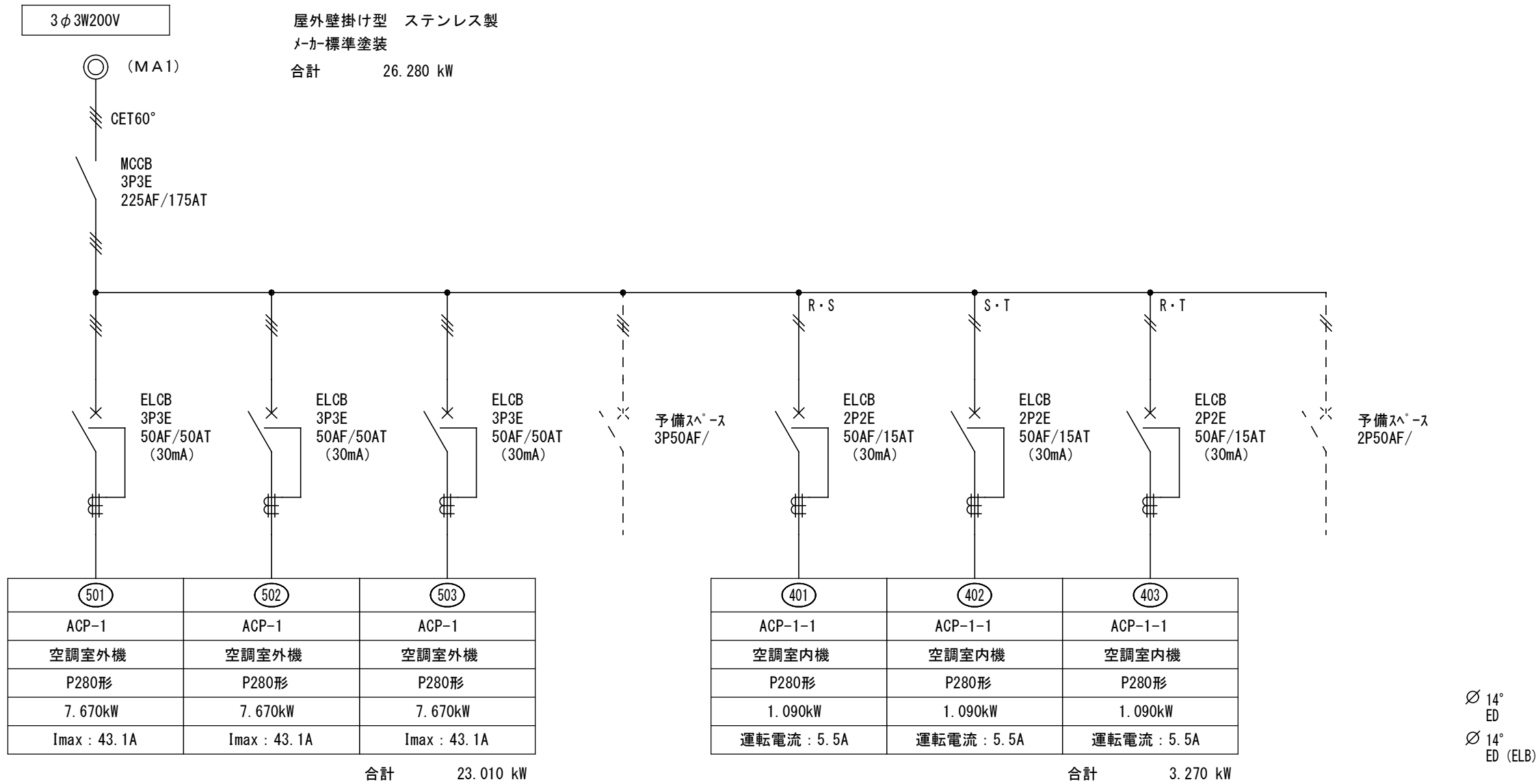
記 号	名 称	仕 様
×	撤去を表す	

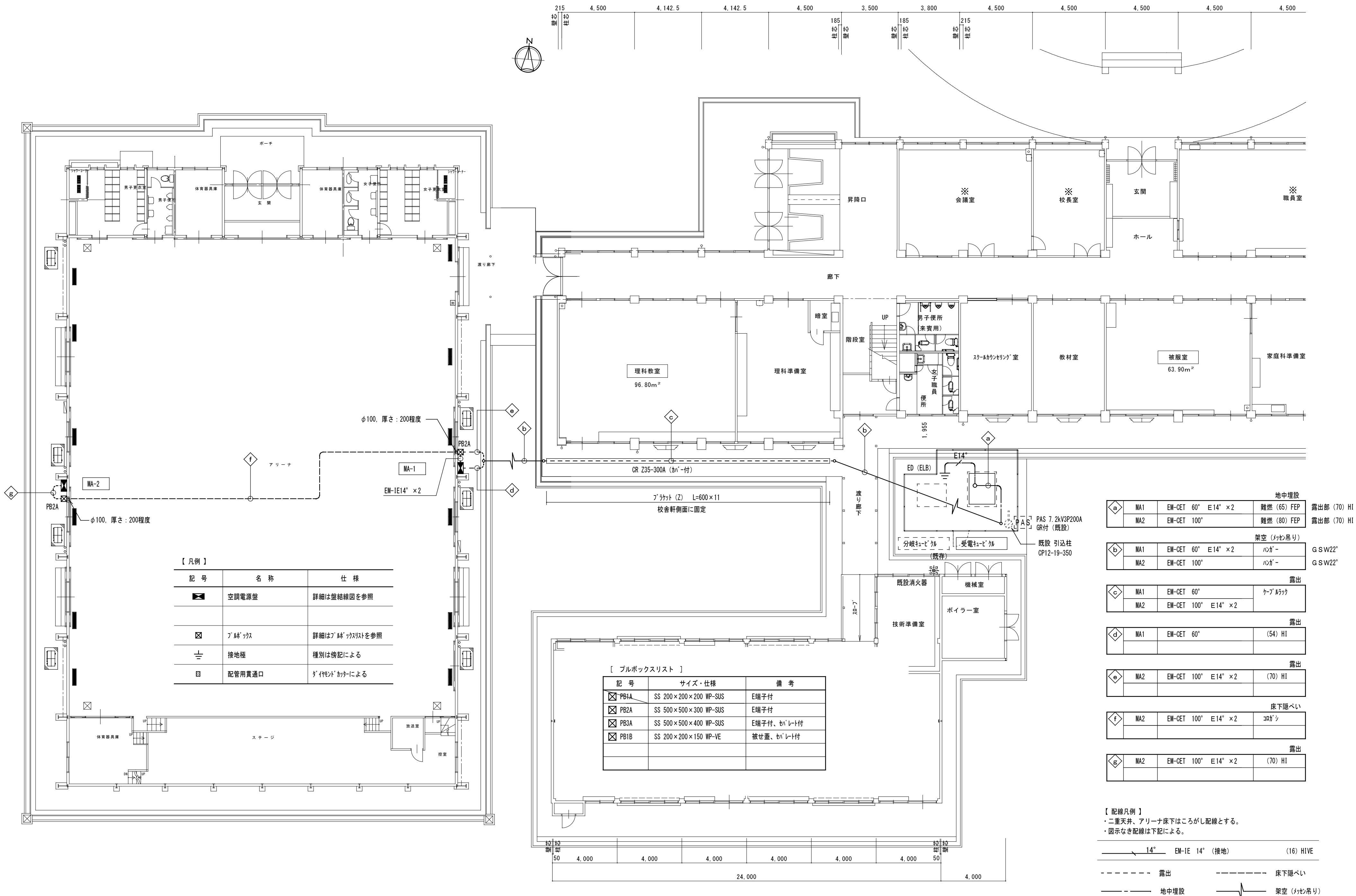
接地	EM-IE 38° × 2	難燃 (40) FEP
Lb1, Lb2	EM-CE 3.5° -2C × 2	

地中埋設		
高压分歧	6kV EM-CET 38°	難燃 (80) FEP



平面図 (改修後)





【 凡例 】		
記 号	名 称	仕 様
☐	空調電源盤	詳細は盤結線図を参照
☑	ﾌﾞﾚｯｸｽ	詳細はﾌﾞﾚｯｸｽリストを参照
⌚	接地極	種別は傍記による
⌚	配管用貫通口	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰによる

〔 ブルボックスリスト 〕

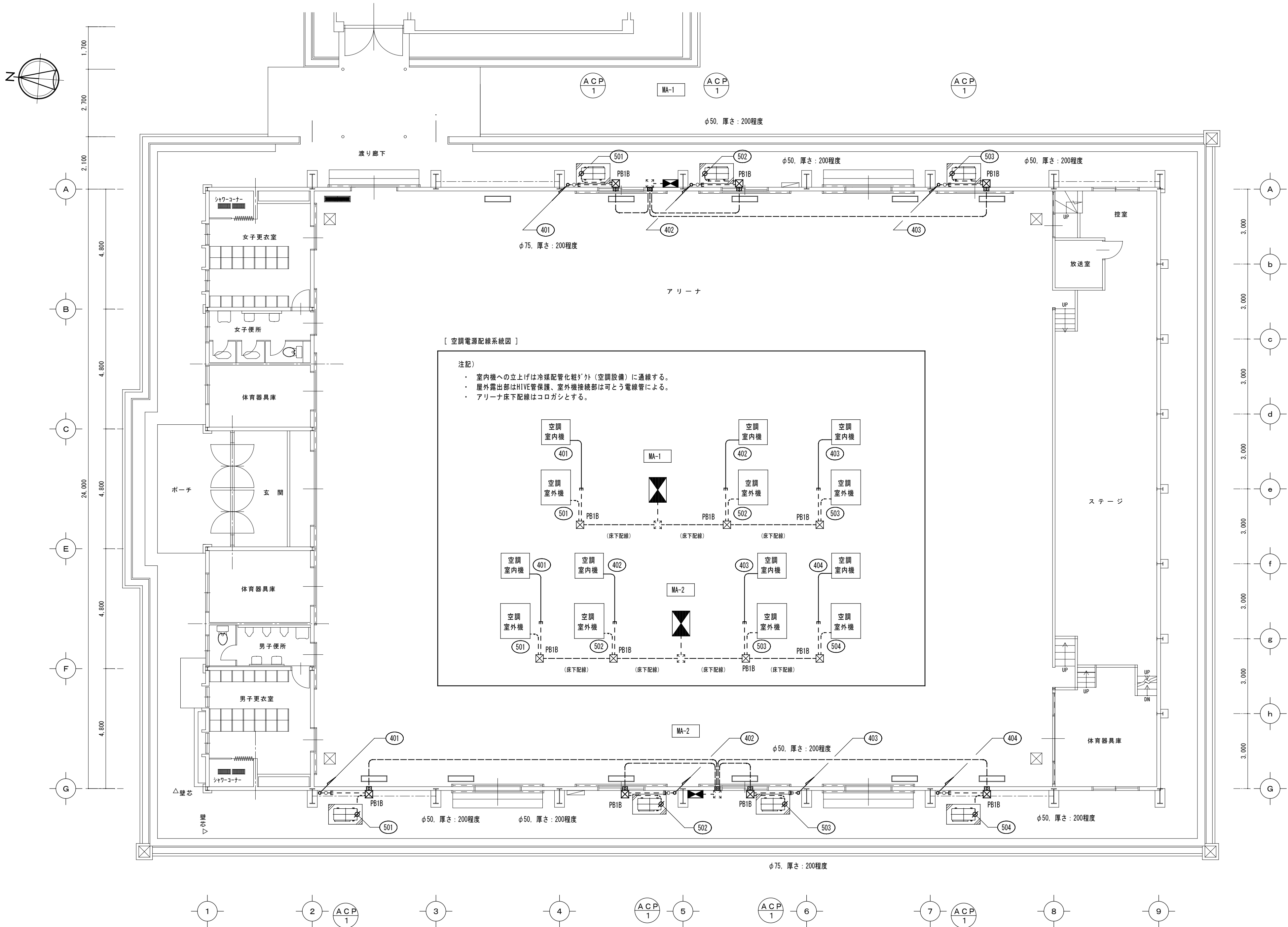
記 号	サイズ・仕様	備 考
☑ PB1A	SS 200×200×200 WP-SUS	E端子付
☑ PB2A	SS 500×500×300 WP-SUS	E端子付
☑ PB3A	SS 500×500×400 WP-SUS	E端子付、ｵｰﾚｰﾄ付
☑ PB1B	SS 200×200×150 WP-VE	被せ蓋、ｵｰﾚｰﾄ付

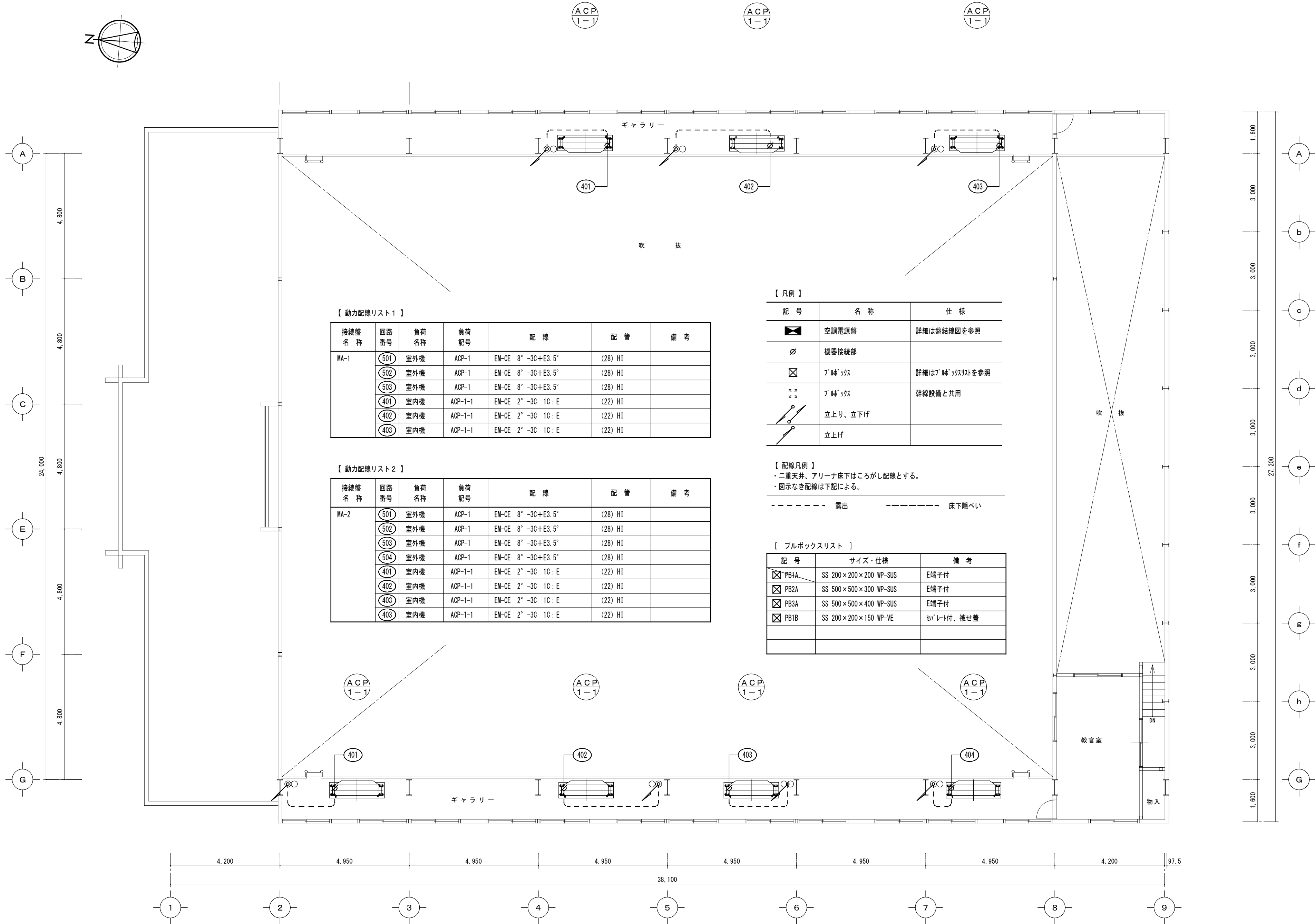
地中埋設				
a	MA1	EM-CET 60° E14° ×2	難燃 (65) FEP	露出部 (70) HI
	MA2	EM-CET 100°	難燃 (80) FEP	露出部 (70) HI
架空 (マゼン吊り)				
b	MA1	EM-CET 60° E14° ×2	ハンガー	G SW22°
	MA2	EM-CET 100°	ハンガー	G SW22°
露出				
c	MA1	EM-CET 60°	クーブラック	
	MA2	EM-CET 100° E14° ×2		
露出				
d	MA1	EM-CET 60°	(54) HI	
露出				
e	MA2	EM-CET 100° E14° ×2	(70) HI	
床下隠べい				
f	MA2	EM-CET 100° E14° ×2	コガシ	
露出				
g	MA2	EM-CET 100° E14° ×2	(70) HI	

【 配線凡例 】

- ・二重天井、アリーナ床下はころがし配線とする。
- ・図示なき配線は下記による。

14°	EM-1E 14° (接地)	(16) HIVE
-----	露出	----- 床下隠べい
-----	地中埋設	----- 架空 (ﾏﾈﾝ吊り)





【 動力配線リスト1 】

接続壁 名 称	回路 番号	負荷 名称	負荷 記号	配 線	配 管	備 考
MA-1	501	室外機	ACP-1	EM-CE 8" -3C+E3.5"	(28) HI	
	502	室外機	ACP-1	EM-CE 8" -3C+E3.5"	(28) HI	
	503	室外機	ACP-1	EM-CE 8" -3C+E3.5"	(28) HI	
	401	室内機	ACP-1-1	EM-CE 2" -3C 1C : E	(22) HI	
	402	室内機	ACP-1-1	EM-CE 2" -3C 1C : E	(22) HI	
	403	室内機	ACP-1-1	EM-CE 2" -3C 1C : E	(22) HI	

【 動力配線リスト2 】

接続壁 名 称	回路 番号	負荷 名称	負荷 記号	配 線	配 管	備 考
MA-2	501	室外機	ACP-1	EM-CE 8" -3C+E3.5"	(28) HI	
	502	室外機	ACP-1	EM-CE 8" -3C+E3.5"	(28) HI	
	503	室外機	ACP-1	EM-CE 8" -3C+E3.5"	(28) HI	
	504	室外機	ACP-1	EM-CE 8" -3C+E3.5"	(28) HI	
	401	室内機	ACP-1-1	EM-CE 2" -3C 1C : E	(22) HI	
	402	室内機	ACP-1-1	EM-CE 2" -3C 1C : E	(22) HI	
	403	室内機	ACP-1-1	EM-CE 2" -3C 1C : E	(22) HI	
	403	室内機	ACP-1-1	EM-CE 2" -3C 1C : E	(22) HI	

【 凡例 】

記 号	名 称	仕 様
◀▶	空調電源盤	詳細は盤結線図を参照
∅	機器接続部	
⊠	ブルボックス	詳細はブルボックスリストを参照
⚡	ブルボックス	幹線設備と共用
↕	立上り、立下げ	
↗	立上げ	

【 配線凡例 】

- ・二重天井、アリーナ床下はこがし配線とする。
- ・図示なき配線は下記による。

----- 露出 ----- 床下隠ぺい

【 ブルボックスリスト 】

記 号	サイズ・仕様	備 考
⊠ PB1A	SS 200×200×200 WP-SUS	E端子付
⊠ PB2A	SS 500×500×300 WP-SUS	E端子付
⊠ PB3A	SS 500×500×400 WP-SUS	E端子付
⊠ PB1B	SS 200×200×150 WP-VE	カバー付、被せ蓋

2 階平面図 1:100

proj ect name

令和8年度津和野中学校屋内運動場
LED化及び空調設備等設置工事

signature

sheet name

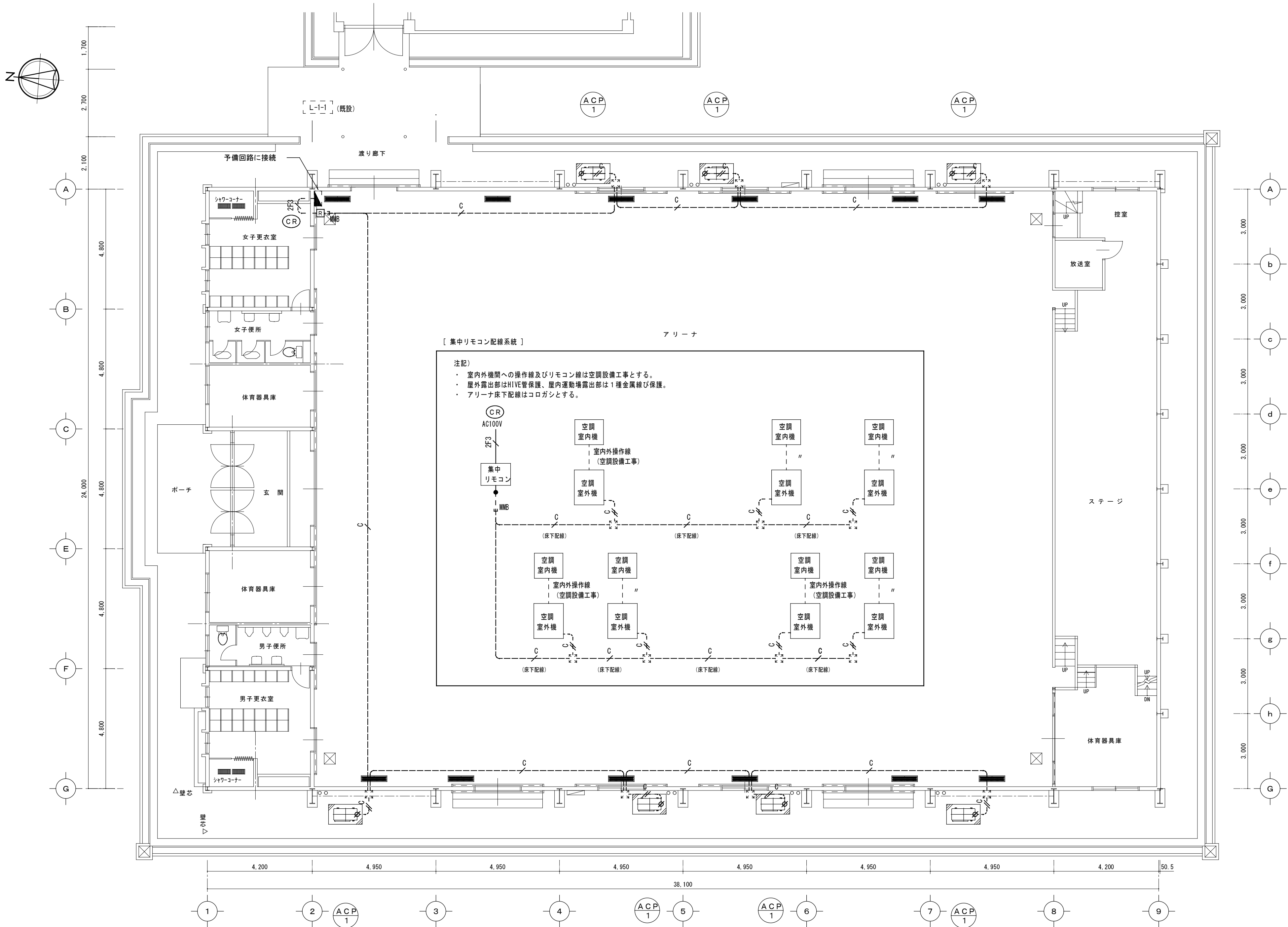
動力設備 2 階平面図

scale

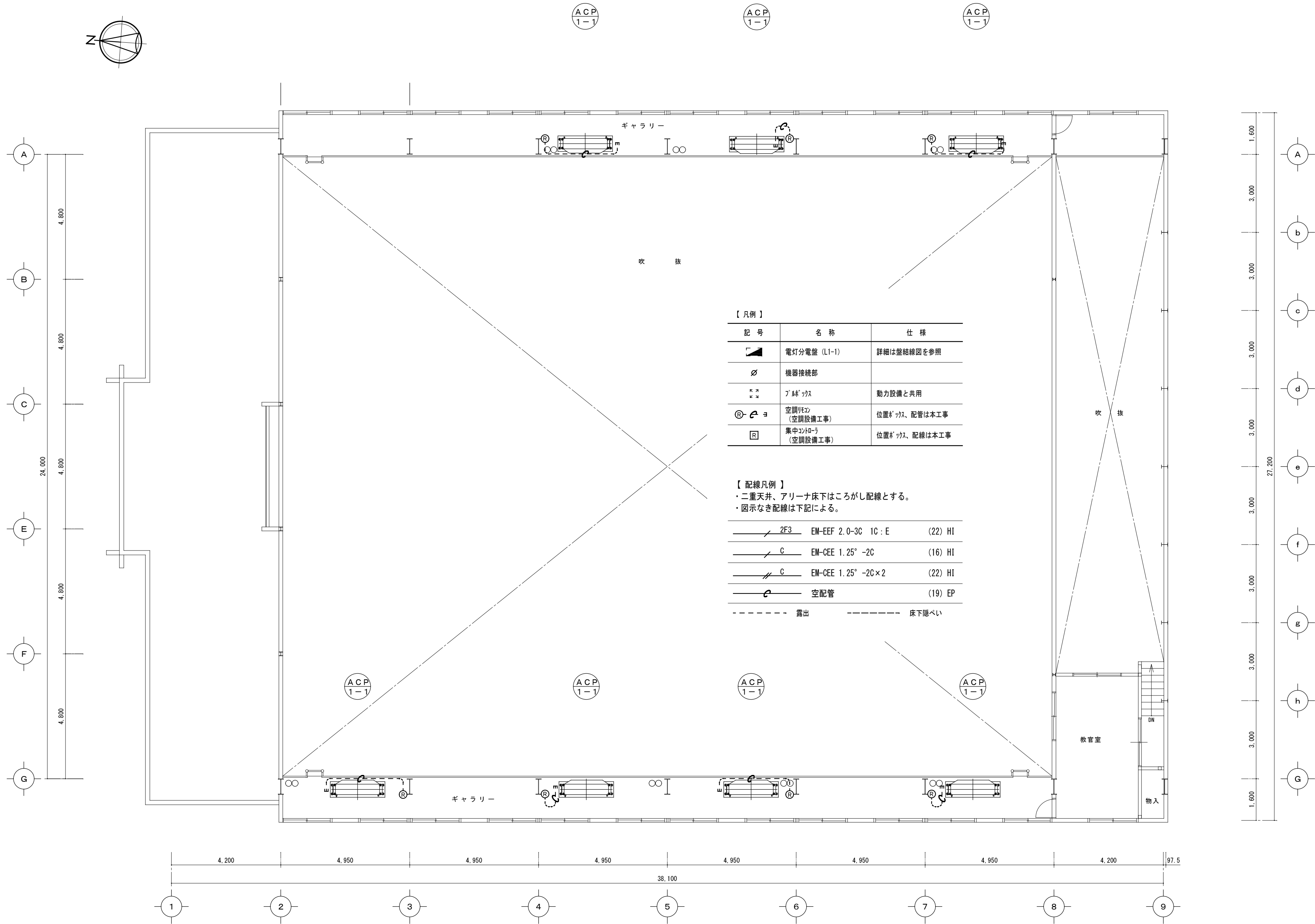
1:100

sheet no

E - 18



1 階平面図 1:100



2 階平面図 1:100

機 械 設 備 工 事 仕 様 書

I 工 事 概 要

1. 工 事 場 所

島根県鹿足郡津和野町町田イ26番地

2. 地 域 地 区

(都市計画区域内 (区域区分未設定))

3. 敷 地 面 積

m2

4. 建 物 用 途

中学校

5. 棟 別 概 要

No.	建 物 名 称	工 事 種 別	構 造	階 数	耐 火 区 分	消 防 法 の 区 分	建 築 面 積 (m2)	延 面 積 (m2)
1	屋内運動場	改 修	S	2		(7)	1,037.16	1,088.55
2								
3								
4								
5								
6								
7								
合 計							1,037.16	1,088.55

6. 工 事 種 目

(○印を付したものが該当)

	1	2	3	4	5	6	7
空 気 調 和 設 備	○						
換 気 設 備							
自 動 制 御 設 備							
衛 生 器 具 設 備							
給 水 設 備							
排 水 設 備	○						
給 湯 設 備							
消 火 設 備							
ガ ス 設 備							
浄 化 槽 設 備							
エ レ ベ ー タ ー 設 備							
建 築 工 事							
電 気 設 備 工 事							

7. 設備概要 (改修の場合は工事対象を示す。)(○印を付したものが該当)

空 調 設 備	空調調和方式等	○ 空気調和 (○ パッケージ方式 ・ ファンコイリユニット ・ 外併用方式 ・ 単一外方式 ・ 各階ユニット方式)
	主要熱源機器	・ 空気熱源ヒートポンプユニット ○ マルチパッケージ 形空調調和機 ○ パッケージ 形空調調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ 式空調調和機 ・ リンクユニット ・ 吸収冷温水機 ・ 吸収冷温水機ユニット ・ 鋼製パイプ ・ 鋳鉄製パイプ ・ 温水発生機 (・ 真空式 ・ 無圧式)
	換 気 設 備	・ 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気
	排 煙 設 備	・ 機械排煙 (・ 有 ・ 無) ・ 適用法規 (・ 建基法 ・ 消防法)
	自 動 制 御 設 備	・ 自動制御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式)
衛 生 設 備	給水方式	・ 水道直結 ・ 高置タンク ・ ポンプ直送 ・ 水道直結増圧
	排水方式	建物内の汚水と雑排水 (・ 合流 ・ 分流) ポンプ排水 ・ 有 (・ 汚水 ・ 雑排水 ・ 湧水) ・ 無
	放流先	汚 水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 雑排水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途排水槽 排水槽 ・ 有 (計画容量: m3) ・ 無
	給湯設備	・ 有 (・ 局所式 ・ 中央式) ・ 無 ・ 熱源 (・ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)
	消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連結散水装置 ・ フード等用簡易自動消火装置 ・ 粉末消火装置 ・ 不活性ガス消火 (・ 窒素 ・) ・ ハロゲン化物消火 ・ 消火器 ・ 無
ガス設備	・ 都市ガス 種別 (MJ/m3N) ・ 液化石油ガス	
浄化槽設備	・ 有 (・ 合併処理 ・ 小規模合併処理 ・) ・ 無	

II 工 事 仕 様

1 共 通 事 項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和7年版」(以下「標準図」という)による。
ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」(以下「改修標準仕様書」という)による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2 特 記 事 項

(1) 章及び項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印を適用する。
○印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。
○印と○印のある場合はともに適用する。

章 項 目 特 記 事 項

1 適用基準等

・ 消防設備等の技術基準 (第9次改訂版) (全国消防長会中国支部編)
* 営繕工事写真撮影要領による
工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 令和5年版
一般社団法人公共建築協会 編集
国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修

2 機材の品質等

本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JISマーク表示のない機材及びその製造者等は、次の1)～6)の事項を満たすものとする。
ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)～6)を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。
1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。
6) 材料及び接着剤等の材料の放散量はF☆☆☆☆とする。
なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。
また、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
ただし、一般社団法人公共建築協会編集・発行の「建築材料・設備等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿 (最新版)」及び「同設備機材等評価名簿 (最新版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

章 項 目 特 記 事 項

3 環境への配慮

本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく、現行の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。

4 官公署その他への届出手続等

5 電気保安技術者

電気保安技術者を工事現場におき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・ 設置できる
・ 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所:)
○ 設置できない

6 現場事務所

7 工事用電力、水

構内既存の施設
工事用水 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない
工事用電力 ・ 利用できる (有償) ○ 利用できない

8 発生材の処理等

・ 引き渡しを要するもの
・ ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物 ()
・ 現場において再利用を図るもの ()
・ 有価物 ()
産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。

項 目	品 目	搬 出 場 所	距離 (Km)	D/D 区間 (有・無)	処 分 費 (有・無)	備 考 (再資源化の有無等)
特定建設資材	○コンクリート塊	エル・アイ・エス	18.2	無		有
	・ アスファルト塊					
	・ コンクリート及び鉄から成る建設資材					
	・ 木材					
特別管理産業廃棄物	・ 廃石綿等 ()					
その他	・ 金属くず					
	・ 廃プラ					
	・ ガスくず					

家電リサイクル法の対象機器及びフロ排出抑制法に該当する廃棄物は適切に処理を行うこと。

以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。
配置する位置は別に図示する。

名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

(注) 取扱いは「営繕工事における交通誘導員等の取扱基準」(営繕課HP掲載)による

* 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。

下記のものを提出する。
仕様は、島根県営繕工事写真取扱要領による。

品 名 ・ 仕 様	提出部数
* 電子データ (CD-R等) (写真管理ファイル、工事写真、完成写真、完成写真帳、参考図等)	1 部

下記のものを提出する。

品 名 ・ 仕 様	提出部数
* 情報共有システムで処理を行った営繕工事帳票の電子データ (CD-R等) (情報共有システムを使用した場合のみ) 電子媒体での納品が困難な場合は受発注者間協議により決定する。	1 部

下記のものを、竣工後15日以内に提出する。
仕様は、島根県営繕工事完成図取扱要領による。

品 名 ・ 仕 様	提出部数
複 写 図 * 竣工図 製本サイズ (・ A3縮小版) 白焼 表装 (・ レザラ表紙 (ラミネート仕上げ))	1 部
* 電子データ (竣工図、施工図) (CD-R等) 製本の取りまとめについては監督職員の指示による。 設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、津和野町にある。 なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。	1 部

14 保全に関する資料

建築物等の利用に関する説明書
(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)
機器取扱い説明書
機器性能試験成績書
官公署届出等書類
総合試運転調整報告書
その他監督職員が指示するもの
建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)

* 1 部
・ 部
* 1 部

15 総合試運転調整

装置全体の施工完了時に、下記の総合試運転調整を行う。
○ 風量調整
・ 水量調整
・ 室内外空気の湿湿度の測定
・ 室内気流及びじんあいの測定
・ 騒音の測定
・ 飲料水の水質検査
・ 一般飲料水適否検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく16項目)
対象工事 飲料水に関する水槽及び埋設配管更新工事
・ 一般飲料水適否簡易検査 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく11項目)
対象工事 上記一般飲料水適否検査以外の工事
・ 水道法施行規則による水質検査
・ 雑用水の水質検査
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数は監督職員の指示による。

16 図形表示

17 電気容量及び機器能力表示

18 監視システムのサイバセキリティ

「自家用電気工作物に係るサイバセキリティの確保に関するガイドライン」(経済産業省令和5年3月改正)による。
外部ネットワークと接続するシステム
・ 有 (対象設備:) ・ 無
外部ネットワークとの接続する箇所の不正アクセス防止対策
・ ファイアウォール ・ 統合脅威管理(UTM)
盤及びケーブルの錠の鍵
・ 製造者標準鍵
・ 鍵の指定有:対策機器 (・ ・)

19 足場

「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省令和5年12月改正)」による。
・ 本工事で設置する (図参照)
○ 建築工事設置の足場を利用

20 保温

1) 給水管、給湯管、排水管の保温は下記の部分を除きグラスウール保温材とし、施工順序は標準仕様書による。
①暗渠内及び屋内外露出給水管の保温はポリスチレンフォーム保温材とする。
②多湿箇所及び屋内露出排水管の保温はポリスチレンフォーム保温材とする。
③準耐火構造の防火区画を貫通する給水管、排水管及び給湯管の保温はロックウール保温材とする。
2) スラブ上転がし排水管(耐火二層管を除く)はグラスウール保温材とし、保温厚が確保できない場合はグラスウール保温材同等の性能を有する製品を監督職員の承諾のうえ使用できる。
ただし、ユニット付属部は耐火二層管とする。
3) 一般パイプの保温はグラスウール保温材とする。
4) 機器の保温はグラスウール保温材とする。
5) 冷媒管に断熱被覆銅管を使用した場合の外装材は下記による。
屋内露出 ○ 保温化被覆ケース ○ 樹脂製 (・ 合成樹脂パイプ (・ シートパイプ ・ ジャケットパイプ))
屋外露出 ○ 保温化被覆ケース
○ 樹脂製 ・ 溶融亜鉛めっき製
・ ステンレス鋼板製 ・ ステンレスラックン (JIS G 4305))
6) 機器から外壁までの排気パイプ保温
・ 有 ・ 無
7) 合成樹脂パイプ (冷媒管以外の管)
○ 1 (シートパイプ) ・ 2 (ジャケットパイプ)

21 塗装

塗装は標準仕様書第2編3.2及び図示による。
残りねじ部及びパイプのファック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。
下記の場所は塗装しない。
* 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場

22 再使用機器

取外し再使用する機器は清掃及び絶縁抵抗測定の上取付ける。

project name

令和8年度津和野中学校屋内運動場LED化及び空調設備等設置工事

signature

sheet name

特記仕様書 1

sheet no

M - 1

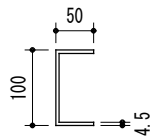
[illegible]

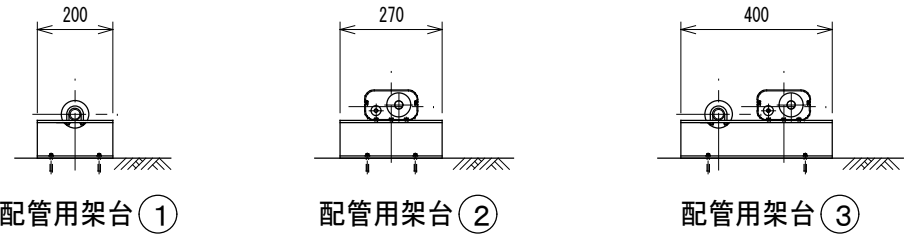
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		参 考 要 領 図		参 考 要 領 図	
給 水 設 備	5	1 配管材料	1)一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）（JWWA K 116） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（JWWA K 144） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VB）（JWWA K 116） 2)中水配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－VA）（JWWA K 116） ・ 3)土間配管用 ・ 水道用硬質ポリエチレン管（・ HIVP ・ VP ）（JIS K 6742） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（JWWA K 144） ・ 4)屋外埋設用 ・ 水道用硬質ポリエチレン管（・ HIVP ・ VP ）（JIS K 6742） ・ 給水用高密度ポリエチレン管（JWWA K 144） ・ ※中水配管と上水配管が混在する建物では中水配管用にSGP-VAを用い、上水配管用にSGP-VBを用いる。 2 管の接合等 1)鋼管と塩化ビニル管の接合は50A以下をユニオンで接合とし、ライニング鋼管と塩化ビニル管の接合は異種管接続用管端防食管継手を使用する。65A以上の接合はフランジ接合とする。 2)架橋ポリエチレン管及びポリエチレン管の接合方法 ・ さや管ツグ－工法 ・ ヘッド－工法（保温付管） ・ 分岐工法（・ 融着接合 ・ 機械接合） 3)塩ビ管の接合方法 ・ 接着接合 ・ ゴム輪接合 塩ビ管の接合方法をゴム輪接合とする場合、継手部には離脱防止金具を使用する。 4)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 機械接合 ・ 電気融着接合 75A以上 ・ 電気融着接合 水道用ポリエチレン二層管は50A以下とする。 3 弁 図示なき弁の耐圧は10kとする。 土中配管に使用する弁は埋設用とする。 給水引き込み部は水道事業者の指定品とする。 ・ 定流量弁（・ 流量固定式 ・ 流量調整式） 4 タンク 1)マンホールカバーは施設する。 2)電極棒取付材及び電極棒の取付は本工事とする。 3)屋外に設置するタンクの積雪耐荷重は2KPa以上とする。 4)マンホールは、気密性を有する構造とし、断熱性を有するタンクの場合には保温形（二重蓋構造等）とする。 5)タンクから排水バルブまでの配管は給水設備に準ずる。 6)ドレ配管はタンク本体から支持する。	2 小口径汚水樹	VP管を接続する場合はVP－VU変換ソケットを使用する。 （建物から屋外第1樹までのVP管の接続は除く） 3 通気口 ・ ベントキャップ（・ 鋳鉄製 ・ ） ・ 排水用通気弁（・ 樹脂製 ・ ） 4 マンホール蓋 1)マンホール蓋は鎖付とする。 2)塗装はSHASE-S 209による。 3)マンホール用手かぎを1組納品する。	給用水タンク周り配管支持等要領図 タンク～フレ間の支持は水槽からとする タンク～フレ間の支持は水槽からとする フレ1次側配管の支持は基礎または地盤面からとする タンク～バルブ間の管種・保温は給水設備仕様に準ずる タンク排水配管の支持は水槽からとする フレ以降の配管支持は基礎または地盤面からとする		耐火二層管と塩化ビニル管の管種変更部の保温施工要領 保温主材は耐火被覆端部より50mm程度重ねる GW保温筒 耐火二層管被覆層 保温副資材は耐火被覆端部より100mm程度重ねる			
				7 給湯設備	1 配管材料	1)給湯配管 ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP－HVA）（JIS K 140） ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管（JIS G 3448） ・ ポリブテン管（JIS K 6778） ・ 架橋ポリエチレン管（JIS K 6769） 2)油配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）（JIS G 3452） ・ 2 弁の耐圧 図示なき弁の耐圧は5kとする。 ただし、水道直結部分及び図示により示す部分は10kとする。	受水槽基礎部分詳細図 埋戻し基準断面図 ※入念に埋め戻すこと ※図によるほか、労働安全衛生規則に従うこと		室外機の転倒防止措置要領① メーカーの耐震試験が特記事項を満たさない場合に取付ける。 材質は溶融亜鉛メッキ仕上げ品 またはステンレス製とする。 注)転倒防止金具を外装材にビス固定しないこと。		
				8 消火設備	1 消火機器	仕様は図示による。 2 配管材料 1)隠べい、露出部分 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） 2)土中埋設 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP－VS）（WSP 041） ・ 消火設備配管用高性能ポリエチレン管（消防認定品） （注）性能認定品以外を使用する場合は消防法施行令第32条による申請を行う。 3 消火器ボックス 1)屋外 ・ 樹脂製 ・ 2)屋内 ・ 図示 ・ 4 保温 消火配管の保温仕様は、給水管を準用する。 （施工場所：） 5 弁の耐圧 図示なき弁の耐圧は10kとする。	埋戻し基準断面図 ※入念に埋め戻すこと ※図によるほか、労働安全衛生規則に従うこと		室外機の転倒防止措置要領② メーカーの耐震試験が特記事項を満たさない場合に取付ける。 材質は溶融亜鉛メッキ仕上げ品 またはステンレス製とする。		
				9 ガス設備	1 配管材料	1)屋内一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 2)コンクリート埋込 ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 3)土中埋設 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS K 6774） ・ ポリエチレン被覆鋼管（JIS G 3469） 2 ガスメーター ・ ガス事業者貸与（配管はメーターユニットまで本工事） ・ 買取 3 ガスコック 1)過流出安全装置付とする。 2)エムキャップ付とする。 3)ガスコックは押回しがチットタイプとする。 4 その他 1)配管には必要に応じ水抜装置を取付ける。 2)都市ガス工事はガス事業者の指定業者の施工とする。 3)実験用高压ガスは請負者の責任施工とする。 4)ガス器具はガス事業者認定品（都市ガス）とする。 5)ガス器具は検定合格品（液化石油ガス）とする。 6)都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。	埋戻し基準断面図 ※入念に埋め戻すこと ※図によるほか、労働安全衛生規則に従うこと		室外機の転倒防止措置要領③ メーカーの耐震試験が特記事項を満たさない場合に取付ける。 材質は溶融亜鉛メッキ仕上げ品 またはステンレス製とする。 注)転倒防止金具を外装材にビス固定しないこと。		
排 水 設 備	6	① 配管材料	1)屋内汚水管 ・ 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 042） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） ・ 耐火性硬質ポリエチレン塩化ビニル管（NETIS登録品） 2)屋内雑排水管 ① 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 042） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ 耐火性硬質ポリエチレン塩化ビニル管（NETIS登録品） ・ リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 3)屋内通気管 ・ 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ 耐火二層管（国土交通大臣認定品） ・ 耐火性硬質ポリエチレン塩化ビニル管（NETIS登録品） ・ リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 4)屋外露出汚水管 ・ 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 042） ・ リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 5)屋外露出雑排水管 ① 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（D－VA）（WSP 042） ・ リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 6)屋外露出通気管 ・ 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（VP）（JIS K 6741） ・ 配管用炭素鋼鋼管（SGP白）（JIS G 3452） ・ リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル発泡三層管（RF－VP）（JIS K 9798） 7)屋外埋設汚水管 ・ 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（・ VP ・ VU ）（JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル管（REP－VU）（AS 58） ・ リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル発泡三層管（RS－VU）（JIS K 9797） 8)屋外埋設雑排水管 ① 硬質ポリエチレン塩化ビニル管（① VP ・ VU ）（JIS K 6741） ・ 排水用リサイクル硬質ポリエチレン塩化ビニル管（REP－VU）（AS 58） 注）建物から屋外第一樹まではVP管とする。	10 浄化槽設備	1 処理種別及び方式 ・ 小規模合併処理（・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触ろ床方式） ・ 合併処理（） ・ その他（） 2 人槽算定式	掘削基準断面図 H<1.0の場合：A=d+0.4 1.0≦H≦1.5の場合：A=d+0.8 1.5≦Hの場合：A'=(d+0.6+0.3H)/2 ※図によるほか、労働安全衛生規則に従うこと		室外機の転倒防止措置要領③ メーカーの耐震試験が特記事項を満たさない場合に取付ける。 材質は溶融亜鉛メッキ仕上げ品 またはステンレス製とする。 注)転倒防止金具を外装材にビス固定しないこと。			

空調機器リスト表

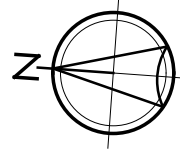
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	容 量			台 数	備 考
			φ	V	KW		
ACP-1	空冷式 パッケージエアコン (室外機)	冷房能力 25.0 (最大28.0) kW	3	200	COMP6.61	7	9.52, 22.2
		暖房能力 28.0 (最大31.5) kW			FAN0.26×2		
		冷房消費電力 7.67KW					
		暖房消費電力 7.18KW					
		冷媒ガス：R32					
		室外機平置き架台本工事 (H=500)					
		転倒防止金具、高調波対策付					
		《参考品番》RXTA280A					
ACP-1-I	空冷式 パッケージエアコン (室内機)	冷房能力 28.0kW	1	200	FAN0.22×2	7	9.52, 22.2
		暖房能力 31.5kW					
		冷房消費電力 1.09KW					
		暖房消費電力 1.09KW					
		マルチジェットタイプ (床置設置)					
		架台 (木台) 建築工事					
		《付属品》 ワイヤードリモコン、吊り用置台					
		《参考品番》FSXYZA280A					
		BRC1G5, KKSZA280					
	集中リモコン	ON/OFFコントローラー	—	—	—	1	電気設備工事へ支給
		《参考品番》DCS301B1					

注記：1. パッケージエアコンの冷暖房能力及び消費電力は「JIS B 8616」に規定された条件による。

配管用架台 (溶融亜鉛メッキ)			
	①	L = 200mm	2
	②	L = 270mm	14
	③	L = 400mm	17

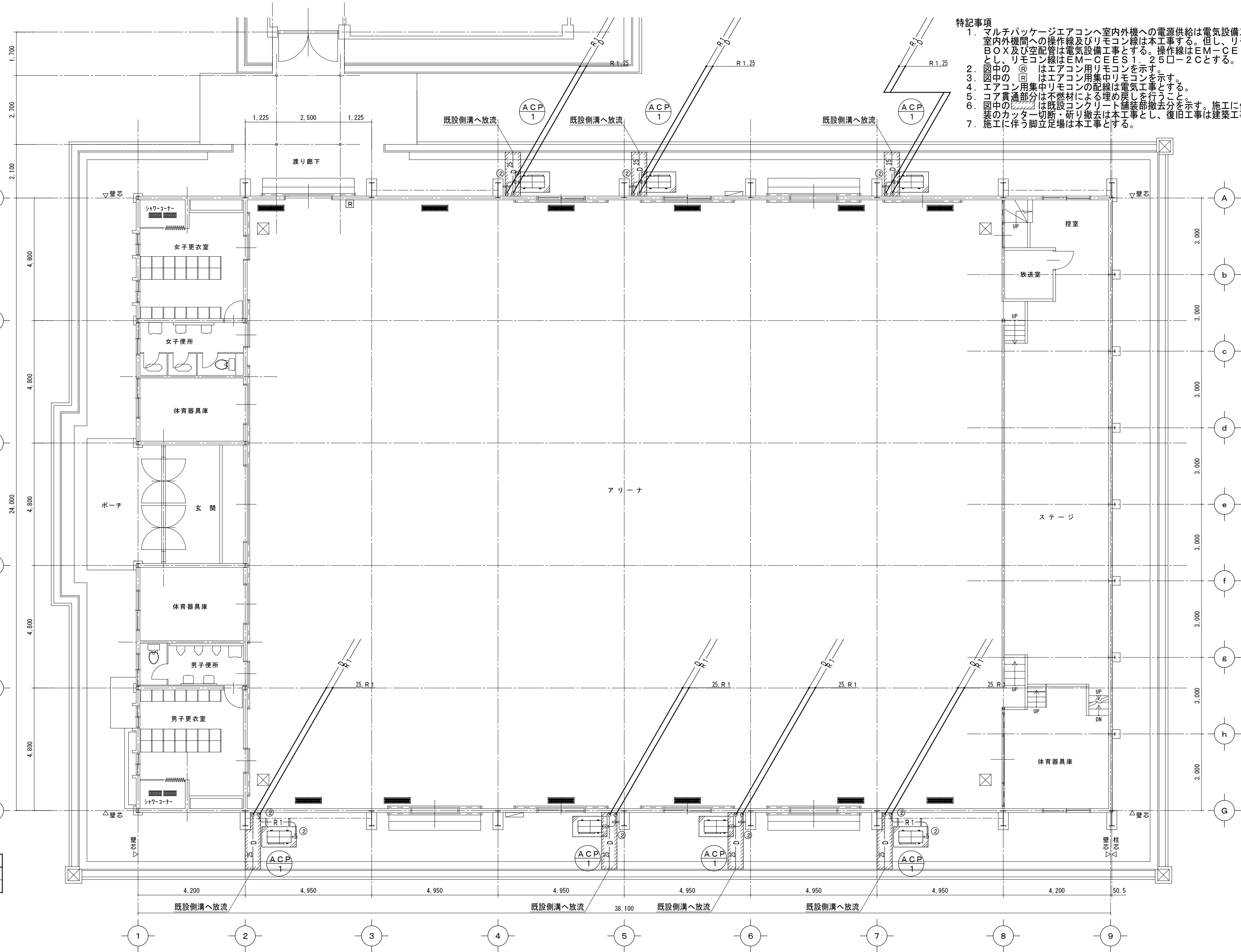


【配管架台参考図 (NO SCALE)】

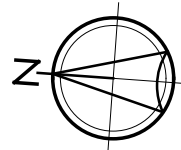


- 特記事項
- マルチパッケージエアコンへ室内外機への電源供給は電気設備工事とする。室内外機間への操作線及びリモコン線は本工事とする。但し、リモコン用のBOX及び空配管は電気設備工事とする。操作線はEM-CES1.25□-2Cとし、リモコン線はEM-CES1.25□-2Cとする。
 - 図中の②はエアコン用集中リモコンを示す。
 - 図中の③はエアコン用集中リモコンを示す。
 - エアコン用集中リモコンの配線は電気工事とする。
 - コア貫通部分は不燃材による埋め戻しを行うこととする。
 - 図中の斜線部分は既設コンクリート舗装部撤去分を示す。施工に伴うコンクリート舗装のカッター切断・研り撤去は本工事とし、復旧工事は建築工事とする。
 - 施工に伴う脚立足場は本工事とする。

保温筒付冷媒用銅管管径表		
記号	液管	ガス管
R 1	9.52	22.2



1 階平面図 1:100



- 特記事項
- マルチパッケージエアコンへ室内外機への電源供給は電気設備工事とする。
室内外機間への操作線及びリモコン線は本工事とする。但し、リモコン用のBOX及び配管は電気設備工事とする。操作線はEM-CES1.25□-2Cとし、リモコン線はEM-CES1.25□-2Cとする。
 - 図中の⑧はエアコン用集配リモコンを示す。
 - 図中の⑨はエアコン用集配リモコンを示す。
 - エアコン用集配リモコンの配線は電気工事とする。
 - コア貫通部分は不燃材による埋め戻しを行うこと。
 - 施工に伴う脚立足場は本工事とする。

保温筒付冷媒用銅管管径表		
記号	液管	ガス管
R 1	9.52	22.2

